

見積り参考設計書

令和 8～10 年度 三尺山高架水槽築造工事

日出町 上下水道課

大分県速見郡日出町全図



道路表	
国 道	
10号	
213号	
500号	
主要地方道	
日出山香線	
一岐県道	
別府山香線	
八坂真田井線	
日出港線	
豊成豊岡停車場線	
日出真善井幹線	
藤原杵築線	



凡 例	
自動車専用道路	
国 道	
主要地方道	
一般 県 道	
都市計画区域	
都市計画用途地域	

1 : 50,000



リサイクル計画書【積算段階】

工事発注時に積算担当者が作成し、設計図書に添付する

1. 事業（工事）概要

※着色セル以外に記入する

発注機関名	日出町役場	工事名	令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事
工事施工場所	日出町 大字 大神	工事概要等	RC構造物築造、他付帯工事一式

2. 建設資材利用計画

建設資材	①利用量	②現場内利用	③再生材利用可能量（又は流用土）	④新材利用量	⑤再生資源利用率 (②+③) / ①×100	備考 (⑤100%未満の理由)
土 砂	1,329 m ³	1,329 m ³	m ³	m ³	100.0 %	
砕 石	6 m ³	m ³	m ³	6 m ³	0.0 %	その他（左記に記入） M-30
土 砂	99 m ³	m ³	m ³	99 m ³	0.0 %	再生材の規格等が不適合 真砂土
	m ³	m ³	m ³	m ³	— %	
アスファルト混合	120 t	t	120 t	t	100.0 %	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥発生量	⑦現場内利用量	⑧他工事（仮置含む）排出量	⑨再資源化施設排出量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率⑦/⑥*100	⑫再資源化率 (⑦+⑧+⑨)/⑥*100	目標	備考 (目標未達成理由)
建設発生土	2,084 m ³	1,329 m ³	m ³	m ³	755 m ³	64 %	64 %	—	
第1種 建設発生土	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	— %	— %	—	
第2種 建設発生土	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	— %	— %	—	
第3種 建設発生土	m ³	m ³	m ³	m ³	0 m ³	— %	— %	—	
第4種 建設発生土	m ³	m ³	m ³	m ³	0 m ³	— %	— %	—	
泥土（浚渫土）	m ³	m ³	m ³	m ³	0 m ³	— %	— %	—	
合計	2,084 m ³	m ³	m ³	m ³	755 m ³	0 %	0 %	×	—
コンクリート塊（有筋）	34 t	t	t	34 t	0 t	0 %	100 %	○	—
コンクリート塊（有筋）	2 t	t	t	2 t	0 t	0 %	100 %	○	—
アスファルト 殻	48 t	t	t	48 t	0 t	0 %	100 %	○	—
建設発生木材（根）	t	t	t	t	0 t	— %	— %	—	—

※ 建設発生土の区分（既存資料等から判断するものとする）

- ①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。
②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。
③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。
④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）
⑤泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

※ 利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。

※ 建設発生土の排出について、民地等の受入れがある場合は⑧他工事排出量とする。

※積算とリンクさせる。
※地山土量とする。

	上表備考(目標未達成理由)が「その他」の理由
①	—
②	—
③	—
④	—
⑤	—

※ ⑩は最終処分場へ排出する場合のみに発生する。

※ 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。

特記仕様書

第 1 条 土木工事共通仕様書の適用

本工事の施工に当たっては、この特記仕様書によるほか、下記の各項に基づき実施しなければならない。

- 1 土木工事共通仕様書(令和7年10月)
- 2 土木工事の施工管理基準及び規格値(令和8年4月)
- 3 その他様式(現地踏査、設計図書の照査結果、工事履行報告書等は、大分県の様式を参考とする)
- 4 区画線設置工事共通仕様書(平成23年10月) ※必要に応じて使用
- 5 植栽工事共通仕様書(平成23年10月) ※必要に応じて使用

※ 土木工事共通仕様書等は、大分県ホームページ内(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/18720/>)に掲載されている。

※ その他様式は、大分県ホームページ内(<https://www.pref.oita.jp/soshiki/18700/syoruikansoka.html>)に掲載されている。

第 2 条 指示・承諾・協議等

本工事で作成する工事書類は、原則、別紙様式を使用するものとする。ただし、受注者において、別紙様式の内容を満たす様式を既に使用している場合は、この限りでない。

第 3 条 下請負人の選定

受注者は、指名停止期間中の者を下請人とすることはできない。

第 4 条 再生資材等の利用

本工事においては、原則として再生資材等を利用することとする。

第 5 条 材料及び製品の使用承諾

本工事で使用する材料については、監督員の承諾を得ること。

※ 生コンクリート、コンクリート二次製品及び鋼材等の使用承諾は、大分県ホームページ内(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/18700/tokki-syorui.html>)に掲載されている資料を参考とすること。

第 6 条 現場代理人の工事現場への常駐

現場代理人は、この契約の履行に関し、工事現場に常駐しなければならない。

ただし、発注者との連絡体制が確保され、かつ、次の1～4のいずれかに該当する期間において、発注者が認めた場合には工事現場への常駐を要しない。

- 1 工事現場が稼働していない期間
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。
 - ② 約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間。
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。
 - ④ 上記のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 次の道路維持管理等業務を日出町より依頼され、それを履行するにあたり、当該業務の責任者として配置され現場業務に従事する期間。
 - ・業務内容:草刈り、樹木の伐採、穴埋め等の舗装修繕、排水路の修繕、交通規制解除の為の作業、公共施設の修繕
- 3 日出町が発出した「現場代理人の常駐義務緩和措置の見直しについて(お知らせ)」(更新日:2022年03月31日)による届出のあった期間。
- 4 技術研鑽のための研修、講習、試験等への参加、休暇の取得、その他の合理的な理由のある期間。

第 7 条 現場代理人の兼任を認める要件

次に掲げる要件をすべて満たす場合に2件(3件)の工事(それぞれの工事の請負代金額(消費税及び地方消費税を含む。以下同じ。))まで、現場代理人の兼任を認める。兼任を行うためには、受注者は、本工事並びに兼任する工事の監督員から承諾を得た上で「現場代理人兼任届」により発注者に届け出なければならない。

- 1 それぞれの工事が、いずれも日出町の発注(発注者が日出町長であるもの)で、発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応が可能であること。
- 2 それぞれの工事の請負代金額の合計が、4,500万円未満(建築一式工事のみの組合せについては、9,000万円未満)であること。
- 3 兼任にあたり現場代理人は、本工事現場と現場代理人を兼任する工事現場のいずれかに常駐すること。
- 4 作業期間中に現場代理人が兼任することができる工事現場の業務に従事するため不在となる間については、連絡員を当該工事現場に常駐させること。
- 5 工事の難易度及び施工内容により、安全管理、工程管理等の工事現場の運営等が困難にならないことが確認できる災害復旧工事、緊急工事、その他発注者が認める場合においては、3件まで兼任することができるものとする。

第 8 条 主任(監理)技術者の要件及び専任を要する期間等

- 1 本工事の落札者は、建設業法第26条に定める主任(監理)技術者として、直接的な雇用関係を有する者を配置しなければならない。なお、配置期間は工期の始期日から目的物引渡の日までとする。

また、落札価格(税込み)が4,500万円以上(建築一式は9,000万円以上)の場合においては、入札の申込みがあった日(指名競争入札に付す場合であって入札の申込みを伴わないものにあつては入札の執行日、随意契約による場合にあっては見積書の提出のあった日)(以下、「入札の申込みがあった日等」という。)以前3箇月以上前に雇用された者を本工事に専任で配置しなければならない。

ただし、配置技術者の専任期間については、契約工期を原則とし、次のとおり取り扱う。

 - ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、配置技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との協議において定める。
 - ② 配置技術者は、原則として完成期限まで工事現場への専任を要するものとするが、完成期限までに検査が終了した場合(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)については、その後の事務手続、後片付け等の期間における工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日とは、発注者が工事の完成を確認した日(検査結果通知書における検査年月日)とする。

- ③ 専任で配置する主任技術者は、本工事と近接工事(諸経費調整を行う工事に限る)が密接な関係にある場合に限り、兼任を認める場合がある。ただし、発注者が兼任を認めた場合は、この限りではない。
- 2 本工事の落札者は、「現場代理人及び主任(監理)技術者等選任(変更)通知書」を落札決定から7日以内に発注者に提出すること。提出については、当該配置技術者と直接的な雇用関係を有すること又は、入札の申込みがあった日等以前3箇月以上前に雇用された者であることを証する客観的資料として、健康保険被保険者証等の写しを添付しなければならない。
- 3 本工事の落札者が、上記要件を満たす主任(監理)技術者を配置できない場合は、契約を締結しないこととなるため、契約辞退届を発注者へ提出すること。
また、落札決定後に上記要件を満たす主任(監理)技術者を配置できずに契約の締結ができないときは、「日出町が発注する建設工事等の契約に係る指名競争入札参加者の資格を有する者に対する指名停止等の基準」に基づき、指名停止措置となることがある。

第 9 条 ワンデーレスポンスの実施

- 1 発注者は、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「1日以内」に回答するよう対応する。ただし、重要事項など1日以内の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「1日以内」にする。
- 2 受注者は、計画工程表の提出にあたり、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。
- 3 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施工程を比較照査して差異が生じた場合は、速やかに的確な状況の資料等を作成し文書にて監督員へ報告すること。
- 4 受注者は、発注者からの「指示」等に対する対応もワンデーレスポンスの主旨により対応すること。

第 10 条 受注者と発注者による合同現地踏査

- 1 本工事では、受注者と発注者による合同現地踏査を行う。
- 2 「合同現地踏査」とは、工事の着手前に受注者と発注者が合同で現地踏査を行う事により、施工にあたっての問題点や条件などの情報を共有し、公共工事の品質確保を図るものである。
- 3 本工事の第1回打合せを合同現地踏査とすることを原則とするが、やむを得ない場合は、工事に着手するまでに合同現地踏査を行うこと。なお、協議記録は受注者が作成し、指示・承諾・協議書として、監督員の確認を得ること。また、その協議書は成果品として納品すること。

第 11 条 確認、段階確認及び立会

受注者は、下記の工種の段階においては確認、段階確認及び立会を受けなければならない。この際、受注者は種別、細別、確認の予定時期を監督員に書面により報告しなければならない。ただし、確認、段階確認及び立会の実施時期及び実施箇所は監督員が定めるものとする。
なお、段階確認は受注者が事前に確認した後に行うことを原則とする。

種 別	工 種	細 別	確 認 時 期
別表の「確認、段階確認及び立会(大分県工事監督基準表抜粋)」及び三尺山高架水槽築造工事特記仕様書による。			

第 12 条 設計図書の変更

専任の現場配置技術者を必要とする建設工事(建設業法第26条第3項に該当する工事)については、大分県「土木工事設計変更ガイドライン(案)」を参照して事務手続きを行うものとする。

※ 土木工事設計変更ガイドライン(案)は、大分県ホームページ内(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/18700/dobokukougiguide.html>)に掲載されている。

第 13 条 縮小図面の添付

本設計図書には、A-3サイズに縮小した図面を添付している。受注者には、契約後すみやかに原図等を貸し与える。
また、本設計図書に添付している図面に「縮小版」と明記されている図面については、記載されている縮尺値が実際と異なるため、注意すること。

第 14 条 工事における監理技術者等の途中交代

- 1 監理技術者等の途中交代は、監理技術者制度運用マニュアルの二二の(4)の規定に基づき、監理技術者等の死亡、傷病または退職等、真にやむを得ない場合などに認めるものとする。
- 2 監理技術者等を途中で交代する場合は、発注者と受注者で協議をおこなうものとし、「施工計画書」及び「指示・協議・承諾書」等にて行うものとする。なお、取り扱いに定めがない事項については、監理技術者制度運用マニュアルの規定によるものとする。

第 15 条 建設副産物の処理

- 1 受注者は、土砂、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成して施工計画書等を含め監督職員に提出し、その内容を説明しなければならない。
- 2 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成して施工計画書等を含め監督職員に提出し、その内容を説明しなければならない。
- 3 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成する際には、「建設副産物適正処理推進要綱の改正について(国土交通事務次官通達、平成14年5月30日)」、「公共建設工事における再生資源活用の当面の運用について(令和3年5月24日)」を遵守し、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図るものとする。なお、収集、運搬、処分がいずれか又は全部を他に委託する場合は、知事の許可を受けた処理業者に限るものとする。
- 4 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」第10条に基づく「建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断基準となるべき事項を定める省令」及び「建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(以下、「判断基準省令」という。)で定める責任者を工事現場に置くものとする。

- 5 受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 6 受注者は、作成した「再生資源利用計画」及び「再生資源利用促進計画」の内容に変更が生じた場合は判断基準省令等に基づき、これらの変更内容が確認できる書類を作成し、指示・承諾・協議書や変更施工計画書に添付する等、監督員に提出することにより、その変更内容を報告すること。
- 7 受注者は、工事施工中に「再生資源利用計画書(様式1・イ)」及び「再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)」に記載されている、再生特定建設資材及び再資源化予定の建設副産物を再生利用ができなくなる場合は、「理由書」を作成し監督員に協議しなければならない。
- 8 受注者は、工事完了後には速やかに「再生資源利用実施書(様式1)」及び「再生資源利用促進実施書(様式2)」を作成し、監督員に提出することにより、その実施状況を報告すること。また、その他の報告方法として、コプリス・プラスを利用した場合は、コプリス・プラス登録済確認書(コプリス・プラスにより出力)を監督員に提出すること。受注者は、「再生資源利用実施書(様式1)」及び「再生資源利用促進実施書(様式2)」を、工事完了後5年間保存するものとする。

※「コプリス・プラス」は、建設副産物情報センターの下記ホームページ内から利用できる。
なお、同システムに登録した内容については、現場掲示用の様式で印刷することができる。
(<https://fkplus.jacic.or.jp/service>)
※現場掲示用の様式については、国土交通省の下記ホームページ内にも掲示されている。
(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

第 16 条 建設発生土の処理

建設発生土の処理は前条(建設副産物の処理)によるほか、下記のとおりとする。

- 1 本工事において発生する建設残土については、原則、現場説明書に記載する発注者が指定した場所に搬出するものとする。なお、現場条件等により他の場所に搬出する場合は、下記の事項によるものとする。
- 2 受注者は、「大分県土砂等の堆積行為の規制に関する条例(令和7年5月1日施行)並びに日出町土砂等の小規模堆積行為の規制に関する条例(平成19年3月20日条例第10号)以下「土砂条例」という)」の主旨を尊重し、公共工事において発生する建設発生土の適切な処理を行うことにより、生活環境の保全に努めるものとする。
なお、「建設発生土等の有効利用に関する行動計画(国土交通省平成15年10月)」に沿って、建設発生土の工事間利用を促進することを原則とする。
- 3 大分県の土砂条例における「特定事業」とは土砂等の堆積行為に供する区域以外の場所から採取された土砂等を使用し、堆積行為を行う事業であって、土砂等の堆積行為に供する区域の面積が3,000㎡以上であるものをいう。
- 4 日出町の土砂条例における「小規模堆積」とは土砂等の堆積行為に供する区域以外の場所から採取された土砂等を使用し、堆積行為を行う事業であって、土砂等の堆積行為に供する区域の面積が700㎡以上3,000㎡未満であるものをいう。
- 5 受注者は、建設発生土の搬出を伴う工事の施工に際しては、前条(建設副産物の処理)により、発注者が指定する場所以外の搬出先については、密に発注者と協議を行い、土砂条例に違反することのないよう建設残土の処理を行うものとする。
- 6 受注者は、工事中に建設発生土を「再生資源利用促進計画書」に記載した搬出先以外の場所に搬出する必要があるが生じた場合、速やかに「理由書」を作成し発注者に協議を行うものとする。
- 7 受注者は、再生資源利用促進計画を作成する際に、あらかじめ「再生資源利用促進計画の作成に関する確認結果票(以下、「確認結果票」という。))」を作成し、再生資源利用促進計画の一部として、発注者へ提出するとともにその内容を説明し、内容変更時には報告するものとし、現場掲示により公衆の閲覧に供するほか、本工事の完成から5年を経過する日まで保存するものとする。
また、土砂を運搬する者に対し、確認結果票の内容のほか、搬出先の名称・所在地及び搬出量を通知するものとし、その写しを適時監督員に提示することで、その実施状況を確認するものとする。これらの内容に変更があった場合も同様とする。
- 8 受注者は、発注者が指定した場所(町有地)以外への土砂の搬出完了後、当該搬出先の管理者(当該搬出先が工事現場の場合は、当該工事の元請業者等)に、「土砂受領書(以下、「受領書」という。))」の交付を求めること。
受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載された内容と一致することを確認し、その受領書または写しを工事書類として発注者に提示することで、その実施状況を確認するものとする。搬出先より受領書の交付が得られない場合は、搬出先の所在地や搬出量、搬出完了日を記録し、運搬車両の運行記録など搬出を証する書類を整理し保存するものとする。また、当該受領書又はその写しを、本工事の完成から5年を経過する日まで保存するものとする。
なお、搬出先と搬出元が同一で本工事の受注者である場合は、別紙の「土砂搬出及び受領証明書」を作成し受領書と見なすものとする。
- 9 受注者は、下記のいずれかに該当する場合は、建設発生土の搬入完了後、当該搬出元の管理者(当該搬出元が工事現場の場合は、当該工事の元請業者等)に対し、「土砂受領書(以下、「受領書」という。))」を交付するものとする。
また、交付した受領書の写しを完成検査の際等に監督員及び検査員へ提示するものとする。なお、搬出先と搬出元が同一である場合は、「土砂搬出及び受領証明書」を作成し受領書と見なすものとする。
 - ・500m³以上の建設発生土を搬入した場合。
 - ・500t 以上の砕石を搬入する工事で、土砂を搬入した場合。
 - ・200t 以上の加熱アスファルトを搬入する工事で、土砂を搬入した場合
 - ・その他、土砂の搬入元の管理者(搬入元が工事現場の場合は、当該工事の元請業者等)から受領書の交付を求められた場合

※ 「確認結果票」「土砂受領書」「土砂搬出及び受領証明書」などの様式の電子データは、大分県ホームページ内(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/18700/tokki-syorui.html>)に掲載されているものを参考にして作成すること。

第 17 条 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(リサイクル法)の適用

本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)」を順守すること。また、同法第9条第1項に規定する対象建設工事の場合は、法律に基づき、特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート)にかかる分別解体・再資源化等を順守するとともに、工事着手にあたってはあらかじめ届出書、説明書及び分別解体等の計画書面を作成し、監督員への説明及び確認を受けてから提出すること。また、特定建設資材の廃棄物の再資源化が完了したときは、発注者に書面で報告すること。

対象建設工事の受注者は、当該工事の全部又は一部を他の建設業者に請け負わせようとするときは、他の建設業者に説明書及び分別解体等の計画書面に記載した事項を告げなければならない。

第 18 条 路上工事縮減対策

町道の安全・円滑・快適な交通の確保等に寄与するため、路上工事の不満緩和、道路利用者への路上工事の影響軽減・理解を得るための取り組みとして、下記の期間中については、道路の規制及び道路の規制を伴う工事は行わないこと。

- | | |
|----------|---------------------------|
| ① G.W.期間 | ③ 年末年始期間 |
| ② お盆期間 | ④ 近隣地区の祭り等で交通への影響が想定される期間 |

ただし、上記①～③の期間は若干の変動が生じることもあるので、その場合は監督員の指示に従うこと。

また、災害復旧その他緊急やむを得ない理由により工事を行うもの、または、規制解除が困難なものとして監督員が認めるものは、この限りではない。

第 19 条 当初施工計画書提出

受注者は、当初施工計画書に別紙様式「当初施工計画書チェックリスト」を添付して提出するとともに、提出の際に監督員に内容を説明し、確認を受けるものとする。

※ 別紙様式については、大分県の様式を参照する。
(大分県ホームページ内(<https://www.pref.oita.jp/soshiki/18700/syoriukansoka.html>))に掲載されている)

第 20 条 デジタル工事写真の黒板情報電子化

デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、監督員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事とすることができる。

対象工事は、大分県の「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」に基づき実施するものとする。

※ 「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」は、大分県ホームページ内(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/18700/gijyutujyoushoussystem.html>)に掲載されている。

第 21 条 法定福利費を明示した請負代金内訳書の提出

「建設工事従事者の安全及び健康の推進に関する大分県計画」における法定福利費等経費の適切な確保並びに法定福利費を適切に負担する事業者による公平で健全な競争環境を確保する観点から、工事価格の内数として法定福利費を明示した請負代金内訳書を提出すること。

なお、法定福利費とは、現場労働者に関する健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の法定の事業主負担額のことをいう。

第 22 条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第 23 条 債務負担行為に係る特則について

本契約は債務負担行為に係る契約であり、日出町公共工事請負契約約款第40条から第42条までが適用となる。下記事項に留意すること。

1. 約款第40条の各会計年度における支払い限度額及び出来高予定額は、次のとおりとする。

(1) 各会計年度における支払限度額

令和 8年度	2億円
令和 9年度	2億円
令和10年度	契約額の残額

(2) 支払限度額に対応する各会計年度の出来高予定額

令和 8年度	2億2千万円
令和 9年度	2億2千万円
令和10年度	契約額の残額

(3) 契約担当者は、予算上の都合その他の必要があるときは、上記の支払限度額及び出来高予定額を変更することができる。

確認、段階確認及び立会(大分県工事監督基準表抜粋)

種別	工種	細別	仕様書等の番号	監督のポイント	確認方法	確認時期
総則	工事測量	仮BMの水 準高	第1編 1-1-37	1. BMの確認 2. 仮BMの水準高、個所数・設置状況 3. 本BMから仮BMへの閉合差	確認	着工前
		中心線法線	〃	1. 中心線・法線の位置の確認 2. 基準点、トラバー杭の確認(閉合差) 3. 控杭の設置状況、在来地盤との整合性	確認	〃
		丁張	〃	1. 中心線からの距離、設置位置 2. 高さ、法勾配 3. 在来地盤との整合性、土質の変化への対応	確認	設置時
	用地境界	位置	第6編 1-12-2	1. 境界杭の位置、適切な配置、表示の方向	確認	設置後
材料	材料	品質	第2編	1. 品質・規格、寸法の適否 2. 品質証明書の確認 (コンクリート二次製品を含む主要材料は施工計画協議時に十分打合せを行い臨場をもって品質確認を行うよう努める)	確認	使用前
建設副産物	建設リサイクル法 <位置付け>	土木工事500万円以上で特定建設資材(コン、鉄コン、As、木材)を使用	法第12条 13条 11条 18条 39条	1. 受注者→(リサイクル計画を説明)→発注者へ 2. 受注者→(契約書に添付)→発注者へ 3. 発注者→(通知)→県(知事)又は市長へ 4. 受注者→(完了後、報告書)→発注者へ 5. 受注者(元請業者)→(指導をチェック)→下請業者	確認	施工前
		現場内利用	通知	1. 小割の最大粒径、チップ化、混合状況	確認	施工後 施工中
		産業廃棄物	〃	1. マニフェスト原本との照合 2. 一時保管…元請が保健所へ報告、看板掲示の有無	確認	施工中 施工後 施工中
	<具体・行動> 大分県建設リサイクルガイドライン	リサイクル推進計画書	ガイドライン別紙3	1. 担当が作成し、設計審査担当者(課長等)がチェック	確認	契約前
		再生資源利用促進計画書	〃 様式1,2	2. 業者が作成(100万円以上) 3. 計画書を監督者がチェック 4. 工事後、受注者がコブリスに入力(監督員は内容を確認し、受注者から提出される工事登録証明書を保管)	確認	施工前 施工後
	建設発生土	残土処理場	通知	1. 残土処理場の土地所有者、権利関係 2. 運搬距離、運搬経路等	確認	着手前
			〃	1. 過積載の有無、異物(産廃)混入の有無 2. 処理の条件、流れ出し等周囲への影響 3. 残土敷き均しの状況	確認	施工中
一般施工	基礎工	施工状況(共通事項)	第3編 2-4-4	1. 沈下量(打止め管理)、支持地盤の確認、先端処理 2. 配列の確認、偏心量、鉛直度 3. 杭長、矢板長、掘削長、基準高	段階確認	打込時 打込完了時 掘削完了時 施工完了時
		既製杭	〃	1. 試験杭の施工(杭径、杭の肉厚) 2. 杭頭処理状況 3. 杭のカットオフ、現場継ぎ手(溶接欄を参照)	段階確認 確認	試験杭施工時 杭頭処理完了時 施工中
		場所打杭	第3編 2-4-5	1. 杭頭処理状況 2. 材料及び配筋等 3. コンクリート打設量、打設方法、汚濁処理	段階確認 確認	杭頭処理完了時 鉄筋組立て完了時 施工前、施工中
		深礎工	第3編 2-4-6	1. 土質の状況、変化位置 2. 使用材料及び配筋等 3. 使用材料及び使用量 4. 余掘と隙間のグラウト等の充填量、裏込注入圧の管理	段階確認	土(岩)質の変化した時 鉄筋組立て完了時 グラウト等注入時 グラウト等注入時
		鋼管矢板工	第3編 2-4-9	1. 試験杭の施工による杭長決定の管理方法 2. 杭頭処理状況 3. 建て込み位置のズレや傾斜、頂部の処理、管内の土砂取り除き 4. 杭の継ぎ手方法(溶接欄参照)	段階確認 確認	施工時 杭頭処理完了時 施工中
		オープンケーソン ニューマチックケーソン	第3編 2-4-7 2-4-8	1. 使用材料、施工位置 2. 支持層 3. 土質の状況、変化位置 4. 使用材料及び配筋	段階確認	鉄杓据え付け完了時 本体設置前(オープンケーソン) 掘削完了時(ニューマチックケーソン) 土(岩)質の変化した時 鉄筋組立て完了時
	函渠工(ボックスカルバート)	施工状況	第10編 1-9-7 1-10-4	1. 土質の状況、変化位置 2. 基礎地盤の地耐力 3. 基礎工の状況、各部寸法、配筋 4. 継ぎ目の施工(付着、水密性、段差)	段階確認 確認	土(岩)質の変化した時 床掘完了時 鉄筋組立て完了時 施工中
					段階確認 確認	土(岩)質の変化した時 施工中
	排水工(管渠)	施工状況	第10編 1-10-4	1. 土質の状況、変化位置 2. 形状、寸法と勾配 3. 接続状況、間詰と漏水	段階確認 確認	土(岩)質の変化した時 施工中
					段階確認 確認	土(岩)質の変化した時 施工中

種別	工種	細別	仕様書等の 番号	監督のポイント	確認 方法	確認 時期	
	ブロック積・張 (石積、張)工	施工状況	第3編 2-4-3 2-5-1 2-5-3 2-5-5	1. 法線、丁張、取り上げ寸法の位置 2. 曲線の処理(調整コンの状況) 3. 基礎の床堀(基面がドライで平滑) 4. 胴込、裏込厚、締固め状況、勾配、水抜きパイプ、 吸い出し防止シート	確認	施工中	
					段階確認	床堀完了時	
					確認	施工中	
	緑化ブロック・ プレキャスト法 枠・かごマット	(根固・水制 工・沈床工・ 捨石工)	第3編 2-3-26 2-5-4	1. 材料のかみ合わせ連結 2. 裏込材の吸い出し防止	確認	施工中	
	擁壁工 (プレキャスト・R C)	土質の状況 出来形	第3編 2-15-2	1. 基礎地盤の地耐力 2. 形状、寸法、配筋(プレキャストを除く)	段階確認	床堀完了時	
						鉄筋組立完了時	
一般 施工	法面工	法面整形工	第1編 2-3-5	1. 基面の平滑、浮石の除去、クラック	確認	施工中	
		種子・客土・ 厚層基材吹 付	第3編 2-14-2	1. 土質試験の実施 2. 材料の確認 3. ネット(ラス)の重ね幅、吹付け厚 4. 金網等の規格、継ぎ手、巻き込み長	確認	〃	
		コンクリート・ モルタル吹 付工	第3編 2-14-3	1. 吹付厚、金網の重ね幅 2. 供試体による強度試験 3. 伸縮目地、水抜き孔、ラス張り状況、巻き止め状況 4. 不良箇所等出現状況	確認	〃	
		現場打 法枠工	第3編 2-14-4	1. アンカー長、定着長、引張定着力 2. 供試体による強度、養生、孔内グラウト量 3. 不良箇所等出現状況	段階確認	アンカー設置後	
					確認	施工中	
		芝付工	第3編 2-14-2	1. 材料の確認、発芽率、土羽土の土質 2. 法長、勾配、厚さ	確認	施工後	
土 工	切土 (掘削)	土質の状況 出来形	第1編 2-3-1	1. 土質の状況と岩盤線、軟弱層の有無 1. 基準高、幅、法長及び勾配	段階確認	土(岩)質の変化した時	
					確認	施工中	
	盛土 (埋戻) (路体盛土工)	締め固め度	第1編 2-4-3	1. 盛土材料(CBR試験、土の締固め試験) 2. 締固め状況、現場密度 3. 一層の仕上がり厚、段切の実施	確認	施工前 施工後 (締固め状況は施工中)	
		出来形	〃	1. 上面の基準高、幅、法長及び勾配 2. 構造物周辺の締固め状況			
	河床掘削工	出来形	第1編 2-3-1	基準高、幅、法長及び勾配	段階確認	掘削完了時	
	路床工 (路床盛土工)	品質	第1編 2-4-4	1. 現場CBR試験、土の締固め試験 2. 仕上りの基準高、締固め状況(ブルーフローリング)	確認	施工前～後	
		出来形			段階確認	フローリング実施時	
	表層安定処理 工等 (石灰、セメント、 As安定処理)	品質	第3編 2-7-2 2-7-3	1. 示方配合と現場配合 2. 一軸圧縮試験、骨材の修正CBR試験	確認	施工前	
		出来形	2-7-4 2-7-6	1. 材料、基準高、幅、延長、施工厚さ 2. 現場密度、混合状況、使用材料の空袋の確認	段階確認	処理(掘削)完了時	
	締固め改良工	施工状況	第3編 2-7-8	1. 使用材料、打込み長さ 1. 基準高、施工位置、間隔、杭径	段階確認	施工中	
		出来形				施工完了時	
	固結工	施工状況	第3編 2-7-9	1. 使用材料、深度 1. 基準高、施工位置、間隔、杭径	段階確認	施工中	
		出来形				施工完了時	
	矢板工 (任意仮設を除く)	施工状況	第3編 2-3-4	1. 使用材料、注入量、深度 ※ 薬液注入工法 1. 使用材料、寸法、溶接部の適否(縦継部溶接接合の場合)	段階確認	施工中	
		出来形				打込時	
	補強土壁工	材料	第3編 2-15-3	1. 基準高、変位量	確認	施工完了時	
				1. 土の締固め試験 2. 壁面材、補強材の品質証明書		確認	施工前
				1. 基礎地盤の地耐力 2. 現場密度、鉛直度(勾配) 3. 補強材、暗渠排水(排水シート含む)等の位置 4. 転圧状況(壁面部の締固め状況)		段階確認	床堀完了時
無筋・鉄筋	コンクリート工	コンクリート	第1編 3-3 3-6	1. JIS工場製品 2. 示方配合表(w/c、アルカリ、塩化物) 3. 運搬荷卸時間 4. 試験練り(強度、粗骨材の寸法、スランプ、空気量) 5. 打設順序、投入高さ、パイプレータ施工状況 6. 養生、型枠取り外し時期	確認	施工前	
		鉄筋工	第1編 3-7	1. ミルシート、鉄筋径、間隔、本数、保管状況 2. 鉄筋の継ぎ手(加工・組立)、かぶり(スぺーサー) 3. 引張・圧縮側の確認	確認	施工中	
路盤工	路盤工	下層路盤	第3編 2-6	1. 材料(骨材の粒度、修正CBR値) 2. 幅、厚さ、締め固め(現場密度) 3. 仕上りの基準高、ブルーフローリング	確認	施工前 施工後	
		上層路盤	〃	1. 2及び仕上りの基準高。ただし、上層路盤のみの場合は 1. 2. 3. (上記と同じ)	確認・段階確認	フローリング実施時 施工前・施工後等	
アスファルト舗装	アスファルト舗装	品質	第3編 2-6	1. 品質証明書 (骨材篩い分け試験、骨材の密度・吸水率試験、骨材の粘土塊量試験、 粗骨材の形状試験、フィラーの粒度水分試験) 2. プラントの配合設計 3. 施工温度、コア抜きによる現場密度試験、抽出試験	確認	施工前	
		出来形	〃	1. (コア抜きによる)厚さ 2. 平坦性(プロファイルメーター)	確認	施工後	

種別	工種	細別	仕様書等の 番号	監督のポイント	確 認 方 法	確 認 時 期
橋梁下部工	躯体工	施工状況	第10編 3-6	1. 土質の状況、変化位置	段階確認	土(岩)質の変化した時 床堀完了時 鉄筋組立完了時 埋め戻し前
		コンクリート		1. 高さ、厚さ、断面形状の確認 2. 支間長、中心線の変位 3. コンクリート強度(シュミットハンマー)		
		鉄筋		(一般事項) 第1編 3-7		
			(耐震施工) 道路橋示方書	3. 圧接状況、資格者の適否 4. 耐震対策(帯筋のフック、圧接位置)	確認	施工中
		施工状況	第10編 3-6	1. 材料の規格、寸法、沓座の位置	段階確認	沓座の位置決定時
橋梁上部工	共通事項	本体工	第10編	1. 橋長、幅員、基準高(キャンバー)	確認	施工後
		付属物 支承工		1. 高欄、支承、伸縮継手を品質証明書で確認 2. 据え付け処理(チッピング、水切り)		施工前 施工中
	鋼橋	材料	第10編 4-3	1. 品質、規格、寸法の証明書、鋼材の員数	確認	当初
		溶接	第3編 2-12-3	1. 溶接施工計画書の提出、作業者の資格 2. 開先、すみ肉の精度、余熱 3. 下地の清掃・乾燥等、連続施工、余盛高 4. 溶接検査(われ、ビント、凹凸、放射線透過試験、超音波探傷試験)	確認	施工前 施工後
橋梁上部工	鋼橋	仮組立	第10編 4-5 第10編 4-5-11	1. 組上がり部材の寸法及び適否 2. 組立ボルト孔の精度、ボルトのトルク力	段階確認 (中間検査)	仮組立て完了時 (仮組立てが省略となる 場合を除く)
	PC橋等	材料	第10編 5-5	1. 品質証明書 1. 桁の寸法	確認	施工前
		桁製作工		2. PC鋼線、鉄筋の配置、スペーサ 3. 緊張力の管理(緊張順、損失値) 4. 型枠取り外しの時期、養生	段階確認	プレストレスト導入完了時 横締め作業完了時 縦締め作業完了時 PC鋼線・鉄筋組立完了時 (工場製作を除く)
		グラウト工	〃	1. 現場配合 2. 注入量、注入圧	確認	施工前 施工中
トンネル	掘削	土質状況	第10編 6-3-2	1. 変化点の位置、地質資料との比較	段階確認	土(岩)質の変化した時
		湧水		2. 掘削方法、順序、計測管理に基づく施工	確認	施工中
	支保工	出来形	第10編 6-4-5	1. 吹付コンクリート厚、支保工の間隔、本数	段階確認	支保工完了時 (保工変化毎)
	吹付けコンクリート	品質・出来形	第10編 6-4-3	・法面工(コンクリート吹付工欄を参照)	確認	施工中
		ロックボルト	品質	第10編 6-4-4	1. 部材の品質証明書	確認
	出来形		2. 位置、間隔、角度、深さ、孔径、孔のくり粉の除去		段階確認	設置完了時
	インバート工	出来形	第10編 6-6	1. 鉄筋径、間隔、本数 2. 鉄筋の継手、かぶり	段階確認	鉄筋組立て完了時
	覆工	施工状況	第10編 6-5-3	1. 巻立空間 1. 基準高、幅、厚さ、断面寸法	段階確認	コンクリート打設前 コンクリート打設後
出来形		2. 型枠据付の適否、取り外し時期 3. 打継目の清掃と新旧コンクリートの密着、左右対称の水平打設 4. 防水シートの接合、漏水 5. コンクリート打設(天頂部の表面仕上げ)・締固め状況		確認	施工中	
水門・堰	本体構造物	施工状況	第1編 3-3、3-6、3-7	1. 土質の状況、変化位置 2. 基礎地盤の地耐力	段階確認	土(岩)質の変化した時
		コンクリート・鉄筋		・コンクリート欄を参照		床堀完了時
		出来形		1. 基準高、幅、延長、高さ(取り上げ線) 2. 一次、二次コンの付着(チッピング)、埋設鋼構造物 周辺の付着・水密性		鉄筋組立完了時 埋戻し前
		施工状況	第6編 4-6、5-6		確認	施工中
	扉体及び開閉装置	材料・仮組立	第10編 4-5	1. 品質、規格、寸法(鋼橋欄を参照) 2. 添接部、取合せ部(鋼橋・溶接欄を参照)	段階確認 (中間検査)	仮組立時
	水門塗装	品質・施工	第6編 4-3-10	・工場塗装欄を参照	確認	〃
補修工	床版補強工	材料		・鋼橋欄を参照	確認	施工前
		施工状況	第10編 14-14-4	1. 接着面の不陸調整、シンナー等による清掃 2. 接着材の現場養生～適合確認 3. 注入材使用量の空き缶管理	確認	施工中
砂防ダム	測量	ダム法線	測量マニュアル	1. 基準点、仮ベンチマークの位置 2. 設計図面との整合、用地境界線の確認	段階確認	法線設置完了時
	掘削	基礎面	第8編 1-8-2	1. 土質の状況(ボーリング資料との比較) 2. 基準高、幅、長さ、法面勾配 3. 支持力の確認(平板載荷試験)、推定岩盤線との比較	段階確認	土(岩)質の変化した時 床堀掘削完了時
	ダム本体 副堤・水叩き 側壁	コンクリート打設	第8編 1-8-4	1. グリーンカットの状況、チッピング 2. 敷モルタルの施工 3. 打設・締固め状況 4. 養生、型枠取り外し時期	確認	施工中
		出来形	〃	1. 基準高、幅、延長、高さ(取り上げ線) 2. コンクリート強度	段階確認	埋戻し前
		止水板	〃	1. 止水板接合完了後、接合部の止水性	確認	施工後

種別	工種	細別	仕様書等の 番号	監督のポイント	確 認 方 法	確 認 時 期		
	鋼製スリット	品質	第10編 4-3	・鋼橋欄を参照	確認	着手前		
		仮組立			段階確認	仮組立時		
	工場塗装工	第10編 4-6	・塗装欄を参照	確認	施工前			
	仮設工	施工状況	労働安全指導	1. 手すり、昇降設備の安全性	確認	施工中		
急傾斜	掘削	法切面 基礎面	第1編 2-3	1. 床の切込の適否、法面勾配 2. 厚さ、法長、延長	段階確認	変化時 掘削完了時		
	構造物工	施工状況		・各工種を参照	段階確認	着手前・施工中・施工後		
	仮設工	仮設防護柵	労働安全指導	1. 設置方法と期間	段階確認	設置後		
地すべり 防止工	集・排水ボー リング	品質	第8編 3-7	1. 材料、寸法	確認	施工前		
		施工状況		2. ボーリング位置、方向、角度、長さ	立会	検尺を受ける時		
				3. 掘削スライムとの地質比較	確認	施工中		
	アンカー工	品質	第8編 3-4-6	1. 材料(寸法、品質証明書)	確認	施工前		
		施工状況		1. 位置、方向、角度、長さ 2. グラウト(配合、注入圧、注入量) 3. すべり面の位置によるアンカー効果を確認、引張試験		施工完了時		
							施工中	
地すべり 防止工	集水井	掘削	第8編 3-7-1 3-7-5	1. 土質の変化と地下水位の確認	段階確認	土質の変化時		
		集水井		2. ライナープレートの偏心、歪み、地山との隙間処理	確認	設置完了後		
	抑止杭	削孔	第8編 3-9-1 3-9-3	1. 位置、掘削深	段階確認	掘削完了時		
		鋼管杭		2. スライムの変化によるすべり面の高さ確認 3. 接続杭の接続方法の適否			確認	施工中
				コンクリート杭				
コン ク リ ー ト ダ ム	掘削工	掘削分類	第9編 1-3-2	1. 土石掘削、岩石掘削(火薬使用量)の判定	確認	掘削完了後		
		仕上げ掘削	第9編 1-3-5	2. 基礎地盤、基礎岩盤の整形(不良岩の処理、予定線の変更)、仕上げ掘削の確認				
		岩盤清掃	〃	3. 地盤、岩盤清掃状況				
	ダムコンクリー ト工	コンクリート 運搬・打設 締固め 養生	第9編 1-4-7 ～ 1-4-12 1-5-1 ～ 1-5-4	1. コン練から打設までの経過時間、打設口の高さ 2. 打込み開始～基礎岩盤面・コン打込み面を湿潤、モルタル敷き 3. 打設日の間隔、隣接ブロック高低差、一層の打込み厚さ、平均気温 4. バイブレータのかけ方、養生(打込み直後に、湛水又はシート覆い) 5. 打継目の処理(レイタンス除去、チッピング処理) 6. 型枠設置、取りはずし時期、表面から2.5cm内に鉄類を残さない	段階確認	設計図書に定 める時期		
			出来形	〃	1. 寸法、勾配	確認	〃	
		埋設物設置工	冷却管設置	第9編 1-8-4	1. 冷却管内へのセメントミルク注入	立会	継目グラウト施工後	
	継目グラウ チング		第9編 1-10	1. 水押しテスト、充水、セメントミルクの配合、切替、比重 2. 注入圧力の記録、注入圧の完了確認	確認	施工中		
	止水板		〃	1. 接合部の止水性		〃		
	閉塞工	堤内仮排路	第9編 1-11	1. コンクリート打設方法、締切からの湧水処理	確認	打設完了時		
	フィ ル ダ ム	掘削工	掘削分類	第9編 1-3-2	・コンクリートダム欄を参照	確認	掘削完了後	
			仕上げ掘削	第9編 1-3-5				
岩盤清掃			第9編 2-2-5	1. 基礎地盤の整形		立会	整形作業時	
盛立工		材料	第9編 2-4	1. 材料の適否(粒度、含水比)	確認	施工前		
		施工状況	〃	1. コア、フィルターを同標高で盛立施工 2. 基礎面の湧水処理、岩着材の施工 3. 中間材の締固め 4. コアの盛立(水平の施工、雨水排水の勾配、軸に平行に転圧、巻出厚、回数、締固め表面の乾燥湿潤状況)	段階確認	設計図書に 定める時期		
基 礎 チ ン グ ラ ウ	ボーリング工	検尺	第9編 3-3	1. ボーリング位置、方向、角度、深度 2. 地質の状況(コア採取)、透水性(水押しテスト)	立会	検尺を受ける時		
	グラウチング工	材料・注入	第9編 3-4	1. 示方配合と現場配合の対比 2. 材料納入伝票(セメントミルクの配合、比重) 3. グラウト圧、注入量、注入速度の記録 4. 堤体、基礎地盤の変位観測、注入効果の判定	確認	施工中		
鋼 板 巻 立 て 工	フーチング定着 アンカー用穿孔工	施工状況	第10編 16-24-4	1. 削孔長、径、間隔、孔内状況	段階確認	フーチング定着アンカー用 穿孔完了時		
	鋼板取付け工 固定アンカー工			1. 施工図との照合(鋼板の割付、形状、継手形状)、 材片の組み合わせ状況		鋼板取付け工、 固定アンカー工完了時		
	現場溶接工			1. 仮付け溶接前の開先面の清掃と乾燥状況、 仮付け溶接寸法、外観状況 2. 溶接部の外観状況		溶接前 溶接完了時		
	現場塗装工			1. 鋼板面素地調整状況 2. 外観状況		現場塗装前 現場塗装完了時		

種別	工種	細別	仕様書等の 番号	監督のポイント	確 認 方 法	確 認 時 期
港 湾 ・ 海 岸	浚渫工 (置換床堀工)	出来形	第4編 3-3-2	1. 水深、長さ、幅(音響測深器又はレッドによる)	確認	浚渫完了時
				2. 汚濁防止対策又は汚濁発生の抑制		施工中
	捨石 被覆石工 裏込工 (かごマット)	材料	第4編 1-3-4	1. 比重、形状(扁平でない)、寸法(品質証明等) 2. 材料搬入状況(数量検測)	確認	施工前
		施工状況	第4編 3-10-3 3-15-2	1. 基準高、幅、マットの破損 2. 均し状況(平坦性)、勾配、締固め状況、かみ合わせ 3. 濁りの発生抑制(水洗い)	段階確認	設置完了時
	圧密・排水工	サンド・砕石・ ペーバードレーン、 コンパクション	第4編 3-3-6	1. 配置、形状寸法	段階確認	設置完了時
				2. 打ち込み記録(先端強度の経時変化、ドレーン材上面変化の経時変化)	確認	施工中
固化工	深層混合処理	第4編 3-3-8	1. 打止め深度の確認方法、施工前後の地盤高の測定	確認	施工前	
			2. 試験打ち	立会	試験施工時	
			3. 施工記録(吐出量、先端深度ほか)	確認	施工中	
			4. 先端補強、杭接合部のラップ幅			
港 湾 ・ 海 岸	杭・矢板工	施工状況	第4編 3-3-13 ～ 3-3-16	1. 打止め深度の確認方法 2. 打込み記録(矢板貫入量、打撃回数、リバウンド、ラム落下高)	確認	施工前 ～施工中
				消波・根固工 コンクリートブ ロック工	製品の 出来形	第4編 3-8-2 3-8-3 3-10-4
	据付け 施工状況	3-15-4 3-15-5	1. 基準高、延長、法線出入り、段差、ブロック間隔 2. 運搬・据付状況(かみ合わせ)		段階確認	設置完了後
		上部コンクリート 工上部ブロック工	品質		第4編 3-16	1. コンクリート欄を参照
	出来形		2. 基準高、寸法、強度(シュミット)、表面肌	施工後		
区 画 線		品質	第3編 2-3-9 区画線仕様書 7条、8条	1. 塗料、ビーズの品質、使用量(テスト引き)	確認	施工前
		出来形		2. 路面に作図を行い、施工箇所、延長、幅		施工中
植 栽 工		品質	植栽仕様書 5条、ほか	1. 必要により栽培地の検査、植え付け前の現地検収	段階確認	施工前
				2. 活着管理、客土用土、施肥状況、樹木の損傷、保護養生		施工中

令和8～10年度
三尺山高架水槽築造工事

特記仕様書

大分県日出町上下水道課

第 1 章 総 則

第 1 節 工事名称
令和 8～10 年度 三尺山高架水槽築造工事

第 2 節 施工場所
大分県速見郡日出町大神 3193-5

第 3 節 工 期
契約締結の翌日 から 令和 11 年 3 月 30 日 まで

第 4 節 工事範囲
本工事は、本仕様書、別途図面に示す配水池（高架水槽）の新規築造である。

第 5 節 工事概要

土木工事	
1. 土工	1 式
2. 配水池基礎工	1 式
3. 配水池脚壁工	1 式
4. 場内配管工	1 式
5. 場内整備工	1 式
建築工事	
1. 高架水槽付帯設備工	1 式

第 6 節 設計図書優先順位
すべての設計図書は相互に補完するものであるが、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとする。

- (1) 現場説明書及び質疑応答
- (2) 監督職員の指示
- (3) 本特記仕様書
- (4) 設計図
- (5) 設計書
- (6) 各共通仕様書
- (7) 各種標準仕様書及び示方書

第 7 節 疑 義
工事仕様書と設計図の内容に疑義のある場合、すべて上下水道課（以下甲という）と施工管理業務を行う（株）日建コンサルタント（以下丙という）と協議し、その指示に従うものとする。

第 8 節 用地関係

1. 受注者（以下乙という）は、甲から使用承認あるいは提供を受けた工事用地等は、善良なる管理者の注意をもって維持・管理するものとする。また施工ヤードについては隣接地を借りる予定となっているので現地にて必要な場所、範囲を甲と乙で協議・確認を行う。
2. 発注者が確保する以外で乙が施工時必要とする工事用地等については、甲と協議の

上、乙の責任と負担において確保しなければならない。

なお、この用地については、土地所有者及び関係者との契約等を遵守しなければならない。この場合において、工事の施工上受注者が必要とする用地とは、営繕用地（受注者の現場事務所、宿舎、駐車場）及び型枠または鉄筋作業場等専ら受注者が使用する用地並びに発注者の負担により借地する範囲以外の構造物掘削等に伴う借地等をいう。

3. 境界杭の設置については、必要に応じて甲の立会いの上、設置すること。また、現存する境界杭は保存に努めること。（第2章 第1節工事測量）
4. 工事用地等の使用終了後は、設計図書の定めまたは監督員の指示に従い復旧の上、速やかに発注者に返還しなければならない。工事の完成前に発注者が返還を要求した場合も速やかに発注者に返還しなければならない。

第9節 施工計画

1. 乙は契約締結後、速やかに工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書及び全体工事工程表を甲に提出しなければならない。なお、重要な変更が生じた場合には、変更施工計画書を提出すること。
2. 甲が特に必要と認めて指示するものについては、予めその設計図書等を提出し、甲の承諾を得なければならない。
3. 本工事の施工にあたり、乙は設計図書ならびに本仕様書、工事請負契約書及びその他関連諸法令規則を遵守しなければならない。
4. 必要に応じて、工種毎の具体的な計画を定めた工種別の施工計画を当該工事に先立ち作成し、甲の承認を得ること。

第10節 変 更

設計図書については原則として変更は認めないものとするが、施設の目的達成のために必要な施設または工事の性質上当然必要とする事項については、甲の承諾を得て、方式、製品等の部分的な変更ができるものとする。

この場合、機能及び内容が現設計より下まわらないことを原則とし、乙の責任において完備するものとする。また、変更内容、数量等は、変更図書として整理する。

変更時に必要な資料については施工管理業務を行う丙にも資料提出を行うこと。

第11節 承諾図書

乙は、材料及び機器の購入については工事着手前に予め承諾図、検討書等を作成し、甲の承諾を得るものとする。

第12節 材料及び機器

使用材料及び機器はすべてそれぞれの用途に適合する欠点のない製品で、かつ、全て新品とし、日本産業規格（JIS）日本農林規格（JAS）、日本水道協会規格（JWWA）、電気規格調査会規格（JEC）、日本電気工業会標準（JEM）等の規格が定められているものは、これらの規格品を使用しなければならない。

規格品以外の製品を使用する場合は、規格値を下回らないこととし、試験成績表、性能試験表等の品質を証明するものを明示の上、甲の承諾を得なければならない。

なお、甲が指示した場合は、使用材料及び機器等の材料試験、または立会性能試験を行うものとする。

第13節 現場代理人及び監理技術者

乙は、契約と同時に現場代理人及び監理技術者を定め、その他の主要な使用人の経歴書及び職務分担表を添えて提出しなければならない。

現場代理人は、工事現場に常駐し甲の指示に従い工事現場の取締まり、その他本工事施設目的をよく理解し、工事に関するいっさいの事項を処理しなければならない。

第14節 委託または下請負

乙は、工事の全部または大部分を第三者に委託、または請負わせてはならない。

各種施工種別毎の下請業者については、乙の責任において選定するものとするが、地場産業育成のため地元業者を優先すること。

選定した業者の経歴及び現場責任者の経歴書等を甲に提出し、承諾を得なければならない。（施工体制台帳の提出）

第15節 諸手続

乙は、工事の施工に必要な関係諸官公署及び他企業への諸手続等を、法令、条例の定めにより迅速かつ確実に行い、諸手続きにおいて許可、承諾等を得たときは、速やかにその書面の写しを監督員に提出、報告しなければならない。

第16節 費用の負担

材料及び工事の検査ならびに工事施工にともなう現地測量、原位置試験、試掘、諸手続に必要な費用等、これら工事引渡しまでに要する費用は全て乙の負担とする。

第17節 工事写真

工事写真は、工事名、撮影対象物、場所等の要項を記入のうえ提出する。

1. 着工時

敷地、全景2方向以上及び境界などで、後日のため必要と思われる地点、甲の指示する地点を着工後ただちに撮影する。

2. 工事中

主要部分及び隠ぺいとなる箇所を、その都度撮影する。

3. 事故発生時

必要箇所を全て撮影する。

1～3は手札形（カラーサービスサイズ）とし、各2部提出する。

4. 竣工時

本工事の対象機器全て（発注図書記載）について撮影。4は全てカラーサービスサイズとし、3部提出（原版共）とする。

※デジタルカメラでの撮影も可とし、出力方法は甲の承諾を得るものとする。

第18節 保証期間

本工事の保証期間については、正式引渡しの日より本施設の完成後2年間（木造の建築物、設備工事等の場合は1年以内）とする。保証期間中に生じた設計、施工材質及び構造上の欠陥によるすべての破損、故障等は、乙の負担にて速やかに補修、改造または取り替えを行うものとする。但し、消耗品や天災等の不測の事故に起因する場合は、この限りではないものとする。

第19節 消耗品

消耗品については、本施設引き渡し後1年間に必要とする数量以上とする。費用は、乙の負担とする。

第20節 適用規格

本工事は下記指針・規格に準拠するものとする。

- (1) 水道施設設計指針（日本水道協会） 2024年版
- (2) 水道維持管理指針（日本水道協会） 2016年版
- (3) 水道施設耐震工法指針・解説（日本水道協会） 2022年版
- (4) 水道工事標準仕様書（日本水道協会） 2010年版

- (5) JWWA規格（日本水道協会） 令和6年10月1日現在
- (6) 水道用プレストレストコンクリートタンク設計施工指針・解説 1998年版
- (7) コンクリート標準示方書[設計編]（土木学会） 2022年制定
- (8) コンクリート標準示方書[施工編]（土木学会） 2023年制定
- (9) 土木工事共通仕様書（大分県）
- (10) 土木工事施工管理の手引き（大分県）
- (11) 建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省監修）
- (12) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（国土交通省監修）
- (13) 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（国土交通省監修）
- (14) 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（国土交通省監修）
- (15) 日本工業規格（JIS）（日本規格協会）
- (16) 日本水道鋼管協会規格（日本水道鋼管協会）
- (17) PCタンク標準積算要領（PC建協）

※(9)以降は最新版とする。

第 2 1 節 提出書類

請負人は、次の書類を提出しなければならない。

ただし、下記以外の書類で、監督職員より提出を求められたものについては、その都度速やかに提出しなければならない。

項 目	書 類 名	提出期限	備 考
工 事 着 手 時	着工届	契 約 日 後 1 週 間 以 内	
	工事工程表（全体）	〃	
	現場代理人等通知書	〃	
	同上経歴書	〃	
	施工計画書	〃	
	職務分担通知書	〃	施工計画書に添付
	工事実施工程表	〃	
	現場組織表及び緊急連絡先通知書	〃	施工計画書に添付
	下請業者決定通知書	〃	
	設計図書の照査結果		
	着工前測量結果		
工 事 中 の 類 書	段階確認願	そ の 都 度	丙にも連絡をする
	工事打合せ簿	そ の 都 度	定 例 会 議 等 (丙も同席)
	工事日報	毎 週 ・ 月 末	
	週別又は月別工程表	〃	
	工事履行報告書	毎 月 末	
	安全・環境活動実施状況	〃	
	施工設計図の承諾申請	そ の 都 度	丙にも提出
	使用材料承諾願	〃	丙にも提出
	品質管理資料(各種検査試験成績書)	〃	丙にも提出
	出来形管理資料	〃	丙にも提出
	契約書に記載された書類	〃	

項 目	書 類 名	提出期限	備 考
工 事 完 了 後 の 書 類	工程管理資料（実施工程）	そ の 都 度	
	品質管理資料(各種検査試験成績書)	〃	丙にも提出
	出来形管理資料	〃	丙にも提出
	建設副産物資料	〃	
	工事完了通知書	〃	
	完了検査依頼書	〃	
	工事完成図書	完 成 検 査 日	
	工事記録写真帳	〃	
そ の 他	各種保証書	そ の 都 度	合格認定通知後
	監督職員から要求された図書	〃	

（届出図書の部数は監督職員との協議によるものとする。）

第22節 提出図書（詳細は甲及び丙と協議のうえ決定する）

1. 施工承認申請図書

乙は、工事施工に際しては、事前に施工承認申請図書により甲の承諾を得てから着工すること。

- | | |
|--|----|
| (1) 既製品及び機器類
(外形図、組立図、材質、製造者) | 3部 |
| (2) 施工計画書（工程表を含む）
(工事概要、現場組織、工程、仮設計画、各種調査、
施工方法、安全対策要領その他) | 3部 |
| (3) 検査（試験）要領書（段階確認及び立会事項を詳細に記載） | 3部 |
| (4) 計算書、検討書（施工承諾図書他） | 3部 |
| (5) その他必要な図書 | 3部 |

2. 完成図書

乙は、工事竣工に際して、完成図書として次のものを提出すること。

- | | |
|--|------|
| (1) 竣工図（A1、A3 観音製本） | 各3部 |
| (2) 変更図書及び検討書 | 3部 |
| (3) (1)、(2) の原図原稿（別途電子データ：1式） | 1部 |
| (4) 試験成績書（強度、品質） | 1部 |
| (5) 管理・出来形図（別途電子データ：1式） | 1部 |
| (6) 資材搬入書類（写真・伝票含む） | 1部 |
| (7) 機器取り扱い説明書 | 3部 |
| (8) 単体機器試験成績書 | 1部 |
| (9) 工事日報 | 1部 |
| (10) 実施工程表、状況写真（定点） | 毎月3部 |
| (11) 完成写真 | 3部 |
| (12) 工事写真 | 1部 |
| (13) フィルム（ケース整理）（別途電子データ：1式） | 1式 |
| ※デジタルカメラにて撮影する際は、JPEG形式とし1枚当たりのファイル容量は、約600KB以下とする | |
| (14) 承諾書類 | 1式 |
| (15) 打合せ議事録 | 3部 |
| (16) その他甲の指示する図書 | 1式 |

以上についての製本のとりまとめ書式は、甲の指示を受ける。

また、費用については乙の負担とする。

第23節 検査及び試験

工事に使用する主要材料・機器（特に二次製品）の検査及び試験は、下記により行うこと。

1. 立会検査及び試験

指定主要材料・機器の検査及び試験は、甲及び丙の立会のもとで行うこと。

検査を受ける必要のあるものについては、甲が指示をする。

ただし、甲が認めた場合には、乙が提示する検査（試験）成績表をもってこれに代用することができる。

2. 検査及び試験の方法

検査及び試験は、予め甲の承諾を得た検査（試験）要領書に基づいて行う。

3. 検査及び試験の省略

公的、またはこれに準ずる機関の発行した証明書等で成績が確認できる機材については、検査及び試験を省略できる場合がある。

4. 経費の負担

工事に係る検査及び試験の手続は乙において行い、これらに要する経費は乙の負担とする。

第24節 工事検査

工事中及び工事完了後には、書類及び現場検査を行う。その場合、甲の指示する要領書を作成し、甲ならび検査員立会いの上実施するものとする。その結果、不良部分や改良を要する部分が生じた場合、速やかに対処するものとし、試験、検査及び改良に要する経費は全て乙の負担とする。工事中において検査をする必要性のあるものについては、甲が工事中に指示をする。

第25節 正式引き渡し

工事竣工後、本施設を正式引渡しするものとする。工事竣工とは、工事概要に記載された工事範囲の工事をすべて完了し、竣工検査により合格が確認された時点とする。

第26節 仮設工事等

1. 現場事務所、作業員詰所、監督員詰所、機材置場等については、敷地状況、工事条件等十分に調査し、仮設計画書を作成の上、甲の承認を得ること。
尚、監督員詰所は工程会議が行える広さを確保し、机・椅子・黒板・ロッカー等を準備し、空調設備を施すこと。
2. 工事現場の周辺または工事の状況により仮囲い、足場等を設け安全作業管理に努めること。
3. 敷地周辺の交通量、交通規制、仮設配線等を十分配慮し、機械、資材等の搬入・搬出口を検討するとともに、必要に応じて交通整理員を配置するなど、交通の危険防止に対処すること。
4. 仮設（電気、水道、電話）等は乙の負担とし、本施設との関係を十分考えて設置すること。
5. 足場、栈橋、仮囲い等は、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い、適切な材料および構造のものとする。
6. 工事中、公衆に影響を及ぼす行為（公害の発生や付近地権者との紛争を起こすような行為）のないよう十分な措置を講じなければならない。
7. 公道、構内道路等を工事車両で破損した場合は、甲に報告の上速やかに補修を行うこと。

第27節 他工事との関連

近くで他の工事がある場合、工事車両同士の出入りや頻繁な通行により近隣住民への利便性や安全性を損ねることとなるため、お互いに協調の精神に基づき協力し合い、事前に打合せを行うなど公衆災害防止に努め工事を円滑に遂行するものとする。

第28節 仮設道路及び仮設電気、水道、電話、用水

本工事に必要な仮設道路、仮設電気、仮設電話、仮設用水は甲と協議の上、施工計画書を作成し、承認を得るものとする。なお、これに係る経費は乙の負担とする。

第 2 9 節 事故処理

乙は、工事によって発生した一切の事故について、その事故処理及び補償費、全ての責任を負わなければならない。乙は、事故が生じた場合は速やかに、その日時、場所、原因、状況、被害者氏名、応急処置、その後の対策等を甲に報告し、書類としてまとめ、提出する。

第 3 0 節 工事関係資料

1. 工事施工中、甲と協議等を行った重要な事項については、甲の記録する打合せ簿に押印し相互に確認をしなければならない。
2. 乙は、工事関係資料を他に公表または貸出しをする場合は、甲の許可を得る。

第 3 1 節 作業時間

1. 作業時間は、日曜・祝祭日を除く日中の 8 時間とし、早朝および夜間の作業は行なわないことを原則とし、詳細な時間は工事着工前に甲と打ち合わせを行い承諾を受ける。
2. 工事中に連休とする場合は、事前に甲の許可を受ける。

第 3 2 節 安全対策

1. 工事車両通行部で危険箇所と思われるところは、交通整理員を配置し、歩行者の安全に注意すると共に散水、清掃を行う。
2. 機械工事の重機災害及び構造物からの転落防止には特に注意する。
3. 場内は常に安全点検を十分に行いながら工事を進める。
4. 乙は、常に安全訓練等を実施する。(内容については、甲と協議し、また実施状況報告書の提出を行う。)
5. 乙は、工事中大型の重機及び車輛等が公道を通行するにあたり、事前に甲と協議し、甲の指示した安全対策に基づき通行量、有効時間帯、走行速度等についての規定をした安全対策要綱を作成、提出し承諾を受けるものとする。
6. 場内で土を仮置きする場合には、雨水等による土砂の流出防止対策を十分に行うこと。
7. 乙は、他の配水池移設工事を落札した業者とともに、安全協議会を設立し、安全管理体制を確立しなければならない。
8. 乙は、現場における責任の自覚と意識の高揚、ならびに現場作業員及び一般住民から見た責任者の明確化を図るため、現場代理人および監理技術者等は、腕章を着用すること。

第 3 3 節 工事打合せ

1. 本工事に係わる担当者会議を行うものとし、これらの打合せ日時は、甲乙協議の上決定する。(全体会議、各工事別会議、別途発注工事合同会議)
2. 定例工程会議時に進捗工程表、進捗高、進捗状況がわかる定点写真等を用意すること。

第 3 4 節 立札・他

1. 工事に必要な立札を設置する。内容、設置場所は甲の指示によるが、費用は乙の負担とする。
2. 施工のために必要な仮設備及び環境対策費について、工事設計書の意図を十分に理解し施工すること。
3. 本工事着工にあたって、地元同意条件をよく理解した上、安全な施設建設に努めること。

第35節 産廃物処理

現場内で発生する一般廃棄物については、甲の指示に従い処理を行うこととする。
また、本工事で発生した建築廃材については、廃棄物処理および清掃に関する法律に従って処分を行い、マニフェストを提出できるように整理すること。

第36節 既存埋設物及び新規埋設物の管理

既存埋設物については、事前に調査確認を行い、既存施設の運転管理に支障があつてはならない。

また、新規埋設管、電気ケーブル埋設位置、深度、施設内容がわかるように、竣工図書に明示すること。埋設位置は座標、オフセット等により管理し、埋設位置表示ピンを現地に設置すること。

第37節 環境対策

1. 排出ガス対策型建設機械の使用

乙は、工事の施工で建設機械を使用する場合は「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成29年5月改正 法律第41号)に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(最終改正 平成24年3月23日付け国土交通省告示第318号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(最終改訂 平成28年8月30日付け国総環リ第6号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械(以下「排出ガス対策型建設機械等」という。)を使用しなければならない。乙は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、甲に提出するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合等については、監督職員との協議によるものとする。

2. 騒音、振動、粉塵対策

乙は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針(建設大臣官房技術参事官通達、昭和62年3月30日改正)、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。

第38節 その他

上記項目、その他項目の確認事項等で甲より支持があつたものについては丙にも連絡、資料提出を行うこと。

第2章 工事全般（共通）

第1節 工事測量

1. 基準点、水準点は、既存測量成果をもとに設置管理すること。
又、竣工後、構造物等に水準点を設置すること。
2. 構造物配置基準点（中心点等）は設計図面により現地に設け、必要に応じて控杭を設けること。
3. 用地杭は、竣工後に復元すること。
4. 埋設管、埋設ケーブルは、座標またはオフセット管理し、竣工図書に管名称、口径、管種、深度等を確実に明示すること。また、場内整地完了後、埋設位置表示ピン等を打設すること。

第2節 既存埋設物の確認調査

1. 工事は、隣接する既存配水池の通常運転を確保しながら施工を行うため、既存埋設管、既存埋設ケーブル等の位置を確認の上施工を行うこと。
2. 既存配水池の運転状況を把握し、運転に支障とならないよう施工計画、仮設計画等を策定すること。

第3節 仮設工事

1. 仮設ヤード
仮設ヤードの造成、復旧は、地権者、発注者協議の上施工方法を検討すること。
雨水排水により土砂流出、水質汚濁が生じないよう仮設沈砂池等を配慮し、付近地権者、水利権者と紛争が起きないようにすること。
2. 水替工及び濁水処理
水替工は釜場排水によるものとする。
ポンプ排水、コンクリート洗浄水等は濁水処理及び中和処理等を行ない、水質汚濁を生じないよう配慮すること。
3. タイヤ洗浄装置
場内搬出口にタイヤ洗浄設備を設置し、一般公道の整備に注意すること。
4. 仮囲い等の設置
近隣住居に、粉塵等の飛散により苦情がないよう、必要な予防措置を講じること。
5. 重機、資材等の搬入計画
重機、ダンプトラック、ミキサー車、資材等の搬入ルート、搬入口等の搬入計画を事前に立て、公道、場内施設の養生に努め、必要であれば仮設道、仮設搬入口を計画すること。なお、工事完了後は原形復旧を原則とする。

第4節 土 工

1. 土工事に使用する重機、建設発生土受け入れ地及び建設廃棄物処分地の位置等、運土計画を施工計画書にて確認し、監督員の承認を得ること。
2. 運土計画の実積量に対し、後日それを立証できる資料を作成すること。
3. 残土運搬距離
一般土砂：5.7km（一般捨土処分）
受け入れ場所：日出町大字藤原2858-1外（旧烏帽子ため池）
※受け入れ場所から行動に出る際にはタイヤに付いた土砂等を道路に

持ち出さないよう十分に注意をすること。

産業廃棄物：2.6km（再利用処分）

受け入れ場所：日出エコセンター

4. 埋戻土は発生土（改良土）とする。なお、埋戻しに用いる土材料（分類、要求性能）については、監督員と協議の上運用すること。
5. 埋戻し箇所は、事前に排水を完全に行い、一層 30 cm以下で平坦に締固めなければならない。狭隘箇所は一層 20 cm以下で入念に締め固めること。なお、転圧は施工幅員に応じた転圧機械により締固めるとともに、管渠等がある場合には、両側から偏圧のかからないよう締固めを行う。

第5節 躯体工

1. 材料

1) 鉄筋（土木）

異形棒鋼（JIS G 3112）を使用する。

・D10～D35 SD345

2) PC鋼材

プレストレストコンクリート用鋼材は、以下の規格に適合するものを使用する。

・JIS G 3536（PC鋼線及びPC鋼より線） JIS G 3109（PC鋼棒）

3) 既製杭（土木）

JIS A 5373 に準拠した既成コンクリート杭（PHC 杭）を使用する。

・外径φ900

・種別：C種 JIS 強化品及びA種

・杭長 10m（有効長）

4) コンクリート（土木）

コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、JIS A 5308 による JIS 表示許可工場で製造されたコンクリートとする。

なお、鉄筋コンクリート部分に用いるセメントは普通ポルトランドセメントとする。

表 8-1

打設種類	呼び強度(4 週)	スランプ	最大骨材寸法
鉄筋コンクリート	24～36 N/mm ²	12±2.5 cm	25 mm
膨張コンクリート	24～36 N/mm ²	12±2.5 cm	25 mm
無筋コンクリート	18 N/mm ²	12±2.5 cm	20～40 mm
均しコンクリート	18 N/mm ²	12±2.5 cm	20～40 mm
敷モルタル等	配合 1:3	厚 30 mm	—

膨張コンクリートとは、収縮補償用部位に適用するコンクリートで、JIS A 6202（コンクリート用膨張材）の規格に適合したものを混和したコンクリートを指す。なお、鉄筋コンクリートにおいて、打設時期によっては、混和剤（高性能 AE 減水剤）の混和を検討すること。

5) 基礎碎石

再生クラッシャーラン R C - 4 0

6) 躯体付属品

躯体の付属品については、設計図書によるが、その設置目的、性能、強度、耐久性等を考慮して設置することとし、その製作、購入に際しては監督員の承認を得て行うこと。

又、建築工事仕様との整合を計ること。

2. 施 工

1) 既製杭工

- (1) 本工事で適用する既製杭工は、「道路橋示方書・同解説」に適合した COPITA 型プレボーリング杭工法による既製コンクリート杭 (PHC 杭) とする。COPITA 型プレボーリング杭工法の施工管理に従事するには、COPITA 型プレボーリング杭工法施工技術講習会の受講及び、「基礎施工士」若しくは「基礎施工士 (既製コンクリート杭)」資格の取得を有するものを配置すること。
- (2) 本施工及び施工管理については、COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン (土木) による。また、杭の適用範囲、杭の取扱い、杭の施工法分類は JIS A 7201 (既製コンクリートくいの施工標準) の規格、杭の打込み、埋込みは JIS A 7201 (既製コンクリートくいの施工標準) の規定、杭の継手は JIS A 7201 (既製コンクリートくいの施工標準) の規定による。これにより難い場合、監督員と協議を行うものとする。
- (3) 施工者は、設計図書に従って試験杭を施工しなければならない。また、設計図書に示されていない場合には、各基礎ごとに、試験杭を施工しなければならない。なお、設計図書に示されていない場合には、各基礎ごとに、設計図書に示す工事目的物の基礎杭の一部として使用できるように最初の一本を試験杭として施工してもよい。また、一本だけで施工管理のための十分な情報が得られない場合は、次に施工する杭も試験杭として実施することで不足する情報を補足し、以降の杭施工に反映するものとする。その他、杭周固定液の配合を決める試験孔からの資料を採取して圧縮強度試験を別途実施するものとする。
- (4) 杭の施工を行うにあたり、JIS A 7201 (既製コンクリートくいの施工標準) 7 施工 7.4 くい施工で、7.4.2 埋込み工法を用いる施工の先端処理方法が、セメントミルク噴出攪拌方式または、コンクリート打設方式の場合は、杭先端が設計図書に示された支持層付近に達した時点で支持層の確認をするとともに、確認のための資料を整備および保管しておくこと。
- (5) 杭の継手は溶接継手を標準とし、機械式継手とする場合は監督員と協議すること。
- (6) 既製コンクリート杭のカットオフ (杭頭処理) の施工にあたっては、杭内に設置されている鉄筋等の鋼材を傷つけないように、切断面が水平となるように行わなければならない。また、露出された鋼材を適切な方法により養生を行う。

2) 均しコンクリート工

- (1) 掘削、床付け基面整正、基礎杭周囲の清掃、及び溝切り排水工による水切りを行った後、均しコンクリート工を打設する。
- (2) コンクリートの打設はポンプ車、または人力打設とする。

3) 鉄筋工

- (1) 鉄筋は、設計図に示された形状及び寸法に正確に一致するように加工する。鉄筋の曲げ形状の施工にあたり、設計図書に鉄筋の曲げ半径が示されていない場合は、「コンクリート標準示方書（設計編）[2023年制定] 本編第13章鉄筋コンクリートの前提、標準7編第2章鉄筋コンクリートの前提」（土木学会、2023年3月）の規定による。
- (2) 加工は、鉄筋加工機を使用し、常温で切断曲げを行う。鉄筋はコンクリート打設前に清掃し、浮き錆、泥等を取り除く。
- (3) 組立は、正しい位置に配置し、コンクリート打設時に動かないように、組立鉄筋を必要に応じ用いる。また、鉄筋の交差部は、直径0.8mm以上の焼なまし鉄線、またはクリップ等で鉄筋が移動しないように緊結し、使用した焼なまし鉄線、クリップ等はかぶり内に残してはならない。鉄筋の破りを正しく保つために、適切な間隔にスペーサを配置する。構造物の側面については1m²あたり2個以上、構造物の底面については、1m²あたり4個以上設置し、個数について、鉄筋組立て完了時の段階確認時に確認を受けなければならない。スペーサは、コンクリート製、又はモルタル製のものを使用する。これ以外のスペーサを使用する場合は監督員と協議しなければならない。
- (4) 鉄筋の継手は設計図書に従う。鉄筋の重ね継手を行う場合は、設計図書に示す長さを重ね合わせて、直径0.8mm以上の焼なまし鉄線で数ヶ所緊結しなければならない。原則、継手を同一断面に集めてはならない。また、鉄筋の継手に圧接継手、溶接継手または機械式継手を用いる場合には、鉄筋の種類、直径および施工箇所に応じた施工方法を選ぶものとする。
- (5) 設計図書に示されていない鋼材等（組立用鉄筋や金網、配管など）を配置する場合は、その鋼材等についても所定のかぶりを確保し、かつその鋼材等と他の鉄筋とのあきを粗骨材の最大寸法の4/3以上としなければならない。
- (6) 鉄筋の組立が完了したら検査をし、鉄筋の本数、径、折り曲げ位置、継ぎ手位置及び長さ、相互の位置及び間隔、型枠内での支持状態等を確認する。
- (7) 鉄筋を組立ててからコンクリートを打ち込むまでに鉄筋の位置がずれたり、どろ、油等の付着がないかについて点検し、清掃してからコンクリートを打たなければならない。
- (8) 将来の継足しのために構造物から鉄筋を露出しておく場合には、損傷、腐食等からこれを保護しなければならない。

4) 型枠及び支保工

- (1) 型枠及び支保工に用いる材料は、損傷、変形、腐食等のないことを確認してから使用する。型枠・支保をコンクリート構造物の位置及び形状寸法を正確に保つために十分な強度と安定性を持つ構造としなければならない。
- (2) 型枠及び支保工は、コンクリート打設計画に基づき、強度の検討、組立、解体の施工性を計画する。
- (3) 型枠の締め付けにはセパレータ、モックン、フォームタイを使用し、設計図に示された形状・寸法を正確に確保する。
- (4) せき板内面には、剥離材を塗布し、コンクリートが型枠に付着するのを防止すると共に、型枠の取り外しを容易にする。
- (5) 型枠及び支保工は、コンクリートを打ち込む前及び打ち込み中に、寸法及び不具合の有無を管理し、必要に応じ適切な処置をとる。
- (6) 型枠及び支保工の取り外しは、コンクリートがその自重及び施工中に加わる荷重を受けるのに必要な強度に達するまで、型枠・支保を取外してはならない。

5) コンクリート工

(1) コンクリートの打設順序

コンクリートの打設順序は着工前に打設計画を作成し、監督員の承認を得るものとする。

(2) 配 合

水密を要するコンクリートとして配合計画を行う。

躯体コンクリートの配合は、水セメント比が55%以下とする。また、収縮ひび割れを防止するためセメント量を小さくするよう配合設計を行う。必要により、ひび割れ対策として、膨張剤の混和を検討すること。

(3) コンクリート打設準備

コンクリートの打ち込み前に鉄筋、型枠その他が設計図通りに配置されていることを確認し、型枠内を清掃し、コンクリート内に雑物が混入すること防ぐ。又、コンクリートに接して吸水するおそれのあるところは、あらかじめ、湿らせる。

(4) 打設、締め固め

コンクリートの打設は、コンクリートポンプ車を使用する。この場合、コンクリートの打設箇所、打設数量、打ち上がり高を考慮し、必要なポンプ車仕様及び台数を確保すること。

コンクリートの締め固めは、内部振動機による。内部振動機は、締め固め箇所の形状寸法に応じ、適切な大きさ、性能のものを使用する。

締め固めは、打設中及びその直後コンクリートが分離しない程度で適当に締め固め、鉄筋の周囲、型枠のすみずみにコンクリートが行き渡るようにする。

(5) 表面仕上げ

コンクリートの表面は、木ゴテおよび金ゴテで平坦に仕上げる。

コンクリートの上面にしみ出した水がなくなるかこの水を処理した後に表面仕上げを行うこと。

(6) 打ち継ぎ目処理

コンクリートの打ち継ぎ目は、旧コンクリートの表面のレイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒などを完全に除き、十分に吸水させること。

(7) 養 生

コンクリート打ち込み後、硬化を始めるまで日光の直射、風等による水分の逸散を防ぎ、表面を荒らさない程度に硬化したら、コンクリートの露出面は養生マットで覆い、散水、湛水を行い、湿潤状態を保つ。せき板は散水し、乾燥を防ぐ。

6) 足場工

作業足場は、枠組み足場を使用する。足場工の施工にあたり、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚土共-119 生労働省、平成21年4月)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、全ての作業床において二段手すり及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。

7) 貫通開口部処理

管のコンクリート壁貫通部(脚壁)は、箱抜きによることを原則とする。

無収縮モルタルの充填は、人力によりつき固め充填し、漏水の原因とならないよう注意すること。施工条件等により管を据付、コンクリート打設する場合は、監督員と協議し施工すること。

なお、機械設備開口、電気設備開口、建築設備開口、配管開口、電気ケーブル開口等については、事前に協議の上、開口位置、開口寸法を決定すること。

第7節 場内配管工事

1. 一般事項

本特記仕様書の他、「水道工事標準仕様書（日本水道協会）Ⅱ管布設工事編」に準拠する。

2. 他工事とのとり合い

別途工事等とのとり合部については、十分な工程調整・協議を行って施工すること。

3. 管布設工程、手順計画の作成

前項2を基に、全体工程の中で、掘削、管布設、埋戻等の作業手順についての計画書を作成し、監督員の承諾を得ること。

4. 公道内での施工

- 1) 公道内での施工は、事前に作業計画書を作成し、施工時期、期間、作業内容を明確にし、監督員及び道路管理者の承認を得ること。
- 2) 矢板の打込、掘削等に際し、事前に試験堀を行い既設管、電気ケーブル等の有無を調査し、安全を確認して施工すること。

5. 管の拘束

場内配管は、埋設部にダクタイル鋳鉄管、施設内部にナイロンコート鋼管を採用しており、配管位置等に変更が生じた場合、計画水压に応じた拘束長さを確保し管路の安定を計ること。

6. 埋設位置表示ピンの打設

場内の主要な配管については、場内整地完了後、埋設位置表示ピンを打設すること。

第8節 場内土木整備工事

1. 材 料

1) コンクリート二次製品

JIS 認定工場による製品を原則として使用する。

2) その他の使用材料は、事前に監督員の承諾を得ること。

3) 擁壁の設置をする際には H-2600 の区間で平板載荷試験を行い基礎下部分の置換え等が必要か確認、検討を行うこと。

2. 盛土工

盛土は、施工スペースに見合った機械施工によることとし、敷厚 30cm ごとに敷均し、転圧する。

他工種（場内整備工や配管工）と工程調整を行い施工すること。

3. 排水施設工

雨水排水施設は、建屋トイの取付高さを確認し、取り込みを確実に行うこと。

4. 舗装工事

1) 準備工

路盤施工に先立ち、掻き越し敷均しを行い、タイヤローラ等にて締固めを行うこと。

2) 路盤工

路盤工は、路盤材（現場再生骨材）を敷均し、マカダムローラ 10～12t 級及び タイヤローラ 8～20t 級により締固める。

ただし、狭隘な部分は、タンパ 60～100kg 級 又は、振動ローラ 2.5～2.8t 級により締固める。

なお、路盤材の締固め度は、車道部で最大乾燥密度の 93%以上とする。

3) 表層工

加熱アスファルト混合物の標準配合は、アスファルト舗装要綱によるものとし、アスファルトの針入度は、60～80 とする。

なお、加熱アスファルト混合物は、再生密粒度アスファルトコンクリート (20)とし、設計密度は $2,350\text{kg/m}^3$ を標準とする。

4) 排水勾配の確保

場内表面水の排水が速やかに行われるよう、排水施設高さ、勾配、及び舗装勾配を調整すること。

第9節 施工管理基準

施工管理基準値は、「土木工事の施工管理基準及び規格値」（大分県）等を参考とし、採用する管理値については施工計画書に明記するとともに、調査職員の承諾を得るものとする。主な工種の管理基準値（例）を下表に掲げる。

表 9-1

工 種		測定項目	管理基準値	備考
土工	掘 削 工	基準高 ∇	± 50	第1編-第4節-道路土工
		法長 $1 < 5\text{m}$	-200	〃
		法長 $1 \geq 5\text{m}$	法長-4%	〃
		標高較差	± 50	〃
	盛 土 工 (埋戻し工)	基準高 ∇	± 50	〃
		幅 W	-100	〃
基礎工	砕 石 基 礎	幅 W	設計値以上	第3編-第4節-基礎工
		厚さ t	-30	〃
		延長 L	各構造物の規格値による	〃
	均 し コンクリート	基準高 ∇	± 30	〃
		幅 W	-30	〃
		高さ h	-30	〃
		延長 L	-200	〃
	既 製 杭 工	基準高 ∇	± 50	〃
		根入長	設計値以上	〃
		偏心量 d	D/4 以内かつ 100 以内	〃
		傾斜	1/100 以内	〃
配水池工	軀 体 工	基準高 ∇	± 20	第10編-第7節-RC 橋脚工
		厚さ t	-20	〃
		高さ h	-50	〃
		中心距離	± 30	〃
擁壁工	プレキャスト擁壁工	基準高 ∇	± 50	第10編-第7節-擁壁工
		延長 L	-200	〃
配管工	管 路 掘 削	深さ h	± 30	大分市参考
		幅 B	-50	〃
	砂 基 礎	幅 B	-50	〃
		厚さ h1, h2	-30	〃
	管 路 埋 戻	高さ h	± 30	〃
	管 据 付 工	土被り h	± 50	〃
		延長 L	-200	〃
舗装工	路 盤 工 (As 舗装)	基準高 ∇	± 50	第10編-第4節-舗装工
		厚さ t	-45	〃
		幅 B	-50	〃
	表 層 工 (As 舗装)	厚さ t	-9	〃
		深さ	-25	〃

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第3章 付帯設備工事

第1節 特記事項

1. 本付帯設備工事の特記仕様は、設計図書及び「水道施設設計指針」に準ずる。

第4章 PC配水池工事

第1節 一般事項

1.1 概要

本特記仕様は、三尺山高架水槽築造工事のうち、RC 及び PC 高架水槽本体の築造工に適用するものであって、関係法規、一般仕様書、その他特別に定めたもののほかは、すべて本仕様書に準拠し、本町水道監督員(以下監督員とする)の指示により、施工にあたらなければならない。

1.2 総則

- 1) 本工事は、責任施工を原則とする。工事着手前に施工仕様及び工事工程表を提出し確認を得るものとする。
- 2) 本工事に於いては設計変更を行わない事を原則とするが、監督員が、施工方法等に於いてやむを得ないと認めた場合はこの限りではない。
- 3) 本工事は、設計図書及び本特記仕様書による他「コンクリート標準示方書」(土木学会) 及び「水道用プレストレストコンクリートタンク設計施工指針・解説」(日本水道協会) によるものとする。
- 4) 仕様書及び設計図書の記載事項に疑義を生じた場合、すべて監督員と協議し確認を受けた後、施工しなければならない。
- 5) 請負者は、配水池の構造照査を行い、その結果を監督員に提出し承認を得ること。また、緊張管理を含め十分な管理もと施工を行うものとする。
- 6) 配置技術者は、複数の上水道プレストレストコンクリート円形タンク工事かつエアードーム工事を行った施工経験者を配置するものとする。施工経歴書を提出し承認を得るものとする。
- 7) 請負人は、現場代理人を常駐させなければならない。

1.3 配水池本体工事概要

1) 基本条件

構造形式	: 水道用プレストレストコンクリート円筒形タンク
屋根	: 鉄筋コンクリート構造 球形ドーム (エアードーム屋根)
側壁	: プレストレストコンクリート構造 円筒形シェル
水底版	: 鉄筋コンクリート構造 球形ドーム
脚壁	: 鉄筋コンクリート構造 円筒形シェル
底版	: 鉄筋コンクリート構造 円形スラブ
基礎形式	: 杭基礎 プレボーリング杭工法

2) 構造寸法

有効容量 V_e	: 150 m ³
有効水深 H_e	: 3.90 m
内径 D_e	: 7.00 m

3) 工事概要

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| (1) 土工事 | (4) 水底版工事 | (9) 付帯設備工事 |
| (2) 基礎工事 | (6) 屋根・歩廊工事 | |
| (3) 基礎版工事 | (7) 池内配管工事 | |
| (4) 脚壁工事 | (8) 塗装工事 | |

第2節 材料

2.1 一般事項

- 1) 本工事に使用する材料はすべて請負者の費用で調達するものとする。
配管材、主要部材の購入にあたっては、その仕様について事前に監督員と打合わせを行い、確認を受けねばならない。
- 2) 材料の保管は、善良な管理をもってあたなければならない。保管中に生じた事故については、請負者の責任と負担において処理しなければならない。
- 3) 材料保管場所の設定及び維持管理は、すべて請負者の責任において行うこと。

2.2 レディミクストコンクリート（コンクリート）

- 1) 混和剤を使用する場合は、JIS A6204（コンクリート用化学混和剤）による AE 剤及び AE 減水剤標準形の I 種を使用すること。
- 2) レディミクストコンクリートは、普通コンクリートで JIS A5308（レディミクストコンクリート）による JIS 表示許可工場で製造されたものとする。
- 3) 施工に先立ちコンクリート製造工場の配合計画を監督員に提出し、承諾を得ること。
- 4) 呼び強度 36N/mm² 及び 30N/mm² のコンクリートは、試験練りを行うこと。
- 5) 温度による補正が必要な場合は表-2 に示してある補正を行うこと。
- 6) 補正を行う際には協議書にて協議を行うこと。

表－1 躯体各部のコンクリート強度表

	部 位	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	骨材最大寸法 (mm)
タンク	基礎版	24	12	25
	脚 壁	24	12	25
	水底版	30	12	25
	側 壁	36	12	25
	屋根・歩廊	24	12	25
その他	均しコンクリート(無筋)	18	12	40
	その他(RC)	18	12	25

表－2 マスコンクリートの構造体

セメントの種類	コンクリートの打込みから材齢28日までの 期間の予想平均養生温度 θ の範囲 (°C)			
普通ポルトランドセメント	$0 \leq \theta < 8$	$8 \leq \theta$	—	暑中期間※
中庸熱ポルトランドセメント	—	$0 \leq \theta$	—	—
低熱ポルトランドセメント	—	—	$0 \leq \theta$	—
高炉セメントB種	—	$0 \leq \theta$	—	暑中期間※
フライアッシュセメントB種	—	$0 \leq \theta$	—	暑中期間※
構造体強度補正值 (S) (N/mm)	6	3	0	6

※暑中期間とは、日平均気温の平均値が25℃を超える期間をいう。

2.3 鉄筋

- 1) 鉄筋は、JIS G3112 の規格品で、浮錆がないものでなければならない。
- 2) 異形鉄筋の場合は SD345 又は、これと同等以上のものとする。
- 3) また、継手は重ね継手ならびに圧接継手を用いるものとし、継手は同一断面に集めてはならない。

2.4 P C 鋼材

1) P C 鋼より線

使用する P C 鋼より線は JIS G 3536 に適合した、浮錆断面の減少等欠点のない鋼材とし、次の表－2 の品質に適合したものとする。

表－2 P C 鋼線の規格

種 類	記 号	引張荷重 (k N)	降伏点荷重 (k N)
P C 鋼より線 (7, 19 本より線)	SWPR7BL 1S15. 2B	261 以上	222 以上
	SWPR19L 1S19. 3	451 以上	387 以上

※引張荷重とは最大試験力をさす。

※降伏点荷重とは 0. 2% 永久伸び耐力をさす。

2) P C 鋼より線の定着方式

P C 鋼より線の定着工法は、クサビ方式を基本とする。

3) P C 鋼棒

使用する P C 鋼棒は JIS G 3109 に適合した、浮錆断面の減少等欠点のないもので、次の表－3 の品質に適合したものとする。

表－3 P C 鋼棒の規格

種 類	記 号	引張強さ (N/mm ²)	降伏点強度 (N/mm ²)
P C 鋼棒 (丸鋼棒) B 種 1 号	SBPR930/1080 1B17B1	1080 以上	930 以上

4) P C 鋼棒の定着具

P C 鋼棒定着具は、JISG3101 (一般構造用圧延鋼材 SS400) に準ずるアンカープレート、ナット、ワッシャーを使用し、ネジ方式にて定着させるものとする。

5) P C 鋼材の保管

P C 鋼より線、P C 鋼棒の貯蔵に当たっては、直接地上に置かず湿気をさけ、貯蔵すること。

第3節 施工

3.1 一般事項

- 1) 請負者は現場事務所、材料置場据付場所、使用場所等については、工事に支障のないように確保すること。
- 2) 請負者は工事施工中、交通の妨害となる行為でその他公衆に迷惑を及ぼす行為のないように各関係官公署の指示事項を遵守し十分な施設措置をすること。
- 3) 請負者は既設構造物に損失を与えないよう適切な防護措置を講じること。
工事施工により損失を与えたときは、監督員と協議し所要の措置をしなければならない。
- 4) 請負者は、常に工事の進捗状況について注意し、予定の工事工程と実績を比較検討して工事の円滑な進行をはかること。特に施工の時限を定められた箇所については、監督員と十分協議し、工程の進行をはからねばならない。
- 5) 請負者は工事に先立ち、必要に応じて関係官公署、他企業の係員の現場立会いその他に参加し、許可条件、指示事項等を確認すること。
- 6) 工事について監督員が指示した場合は、承認図及び説明書等を提出し確認を受けること。
- 7) 構造物施工の際は、施工の基準となる丁張、やりかた及び定規等の仮設標識を必ず設置し、監督員の点検を受けた後、工事を施工しなければならない。

3.2 掘削工

- 1) 施工に先立ち、既存の施工区域全域にわたる地上及び地下構造物を調査した上で、それらに損傷を与えないよう注意すること。
- 2) 掘削は、所定ののり勾配に仕上げるものとする。
- 3) 切り取り箇所の湧水またはのり面崩壊のおそれのある場合は、監督員と協議し処理することとする。
- 4) 既設構造物に近接した場所の掘削は、これらの基礎をゆるめたり、または破損、ひび割れの危険がないように十分注意し掘削を行うものとする。
- 5) 切り取りにあたっては、切り過ぎないように十分留意し、もし切り過ぎた場合は、監督員の指示により必要な措置を行わなければならない。
- 6) 床掘りは構造物の施工に支障のない程度の余裕を保ち、必要に応じて土留めし、所定の深さに掘り下げ、底面をかく乱しないように丁寧にすき取り、又むらのないようにしなければならない。

3.3 埋戻工

- 1) 埋戻し及び盛土は、指定する材料を使用し、ごみその他の有害物を含んではならない。
- 2) 埋戻し及び盛土は、一層 30cm 以下に敷均し十分締固め必要に応じて適当な余盛をすること。
- 3) 構造物の裏込め及び構造物に近接する場所の施工は、入念に施工するとともに構造物に損傷を与えないように注意すること。狹隘箇所では一層 20 cm 以下により入念に締固めを行うものとする。
- 4) 埋戻しは等層に分けてタンパ等や振動ローラ等の施工幅に応じた適当な機械で十分締固めるものとする。

3.4 残土処理工

- 1) 残土は、原則として監督員の指示する場所(第2章 第5節で示す場所)まで運搬し、処理しなければならない。
- 2) 残土処理の運搬入時には荷台にシートカーバーを使用し、道路上に土運搬により落とした泥は、速やかに取り除き清掃する。また、現場内は整理整頓し、常にきれいにすること。
- 3) 残土は、監督員が指示する場合は土質別に分けなければならない。

3.5 鉄筋工

- 1) 鉄筋は加工前に掃除をし、浮錆、油類、ごみ、その他コンクリートの付着力を減ずる恐れがあると認められるものは除去すること。
- 2) 鉄筋は正しい位置に配置し、コンクリート打込の際に移動しないよう堅固に組み立てるものとする。
- 3) 既に組み立てられた鉄筋で移動変曲を生じたものは、これを正しい位置に戻すこと。
- 4) 鉄筋と型枠のスペーサーは、監督員の承諾を得たものを使用し、正しく保持すること。又、必要に応じて溶接組立を行うものとする。

3.6 型枠・支保工

- 1) 型枠組立は、コンクリート打込みの際、セメントペーストが流出しないよう、又、振動機をかけた時、その振動により形くずれがおきない様にフォームタイにより、ボルトにて強固に締付け組立てること。
- 2) 型枠の解体は、コンクリートの所定強度が出る迄、脱枠してはならない。
- 3) 壁体の脱枠後の木コン跡は、水洩れが生じないように無収縮モルタルを施すものとする。

3.7 コンクリート工

- 1) コンクリートは製造前にあらかじめ製造工場の選定を行い、監督員に承諾を得ること。練混ぜてから打ち終わるまでの時間は、原則として外気温が 25℃を超える場合で 1.5 時間、25℃以下の場合で 2 時間を超えないものとし、かつコンクリートの運搬時間(練り混ぜ開始から荷卸し地点に到着するまでの時間)は 1.5 時間以内としなければならない。これ以外で施工する可能性がある場合は、監督員と協議しなければならない。
- 2) コンクリートは打設前にスランプ試験を行い、規定のスランプの最大値以上の場合、そのコンクリートは使用してはならない。又、材料の分離を起こしているコンクリートは、打設前に練り直して用いなければならない。
- 3) 施工中のコンクリート品質管理として JIS A 1108 にもとづき圧縮強度試験を実施するための供試体を作製する。供試体は、土木学会基準で定める方法により、振動機又は突棒を用いて突き固めた供試体を作製し、養生は材令 28 日のものについては標準養生、プレストレスの時期を決定するもの及び脱枠時期決定のためのものは施工環境と同一条件のもとに行うものとする。試験頻度について、鉄筋コンクリートは打設日 1 日につき 2 回(午前・午後)、その他のコンクリートは打設 1 日につき 1 回以上行う。ただし、基礎コンクリート、練石積(張)の胴込コンクリート等は、1 工事当たり工事規模に応じ 1～3 回程度とする。なお、テストピースは打設場所で採取し、1 回につき 6 個($\sigma 7 \cdots 3$ 個、 $\sigma 28 \cdots 3$ 個)とする。原則として $\sigma 28$ は公的試験機関で試験実施。
- 4) コンクリートの打設は、監督員の型枠、鉄筋、P C 鋼材の配置検査及び施工設備検査を受けた後、土木学会の「コンクリート標準示方書 施工編」を遵守して行うものとする。又、コンクリート打設中及び直後は、振動機等により充分締固め、コンクリートが鉄筋、P C 鋼材の周囲あるいは型枠のすみずみまで行き渡るようにしなければならない。特に壁体のコンクリート打設については、その打継目のレ

- イタンスを除去し、水洩れがないよう細心の注意をはらい打ち重ねること。
- 5) コンクリート打設は、ホoppaや輸送管等の吐出口と打ち込み面までの自由落下高さは、1.5m以下とすること。
 - 6) 壁体に於けるコンクリート打設は、打ち上がり面がほぼ水平になるように打ち込み、一層の高さは、40～50 cm以下を標準とすること。
 - 7) 打継ぎ面は、レイタンス及び脆弱なコンクリートを取り除き、健全なコンクリートを露出させること。
 - 8) コンクリートは打設後、散水その他の方法で湿潤に保ち、低温や急激な温度変化、湿度、乾燥等の有害な影響を受けないよう充分に養生すること。また、コンクリートの打設後は、有害な振動および衝撃を与えないようにすること。特にプレストレスに要する強度に達する迄は、慎重に行うものとする。

3.8 PC鋼材組立工

- 1) PC鋼より線ならびに鋼棒は設計図に示された形状及び寸法に正しく一致するように、材質を損なわない方法で加工し、組立て配置すること。
- 2) 定着具との接点は曲がりが生じないよう又、中間で垂れ下がりが生じないよう、定着具の支圧面は、緊張材と直角になるように取り付ける。
- 3) PC鋼材の組立に際し、極端に折れ曲がったPC鋼材、急激な熱の影響を受けたもの、高温にさらされたPC鋼材は用いてはならない。
- 4) プレストレス導入後、定着具から突出しているPC鋼材の余長部はディスクグラインダーなどで切断を行う。PC鋼材等は高温に鋭敏に反応するため、ガスバーナーなど使用は避けるものとする。切断位置は、定着具端部から各定着工法の規定に従った位置で切断すること。

3.9 緊張工（プレストレッシング）

- 1) 緊張（プレストレッシング）は、PCタンクを施工するのに最も重要な施工部分であるため、プレストレストコンクリート工学会認定のプレストレストコンクリート技士、プレストレストコンクリートに関する専門的な知識と経験が豊富な技術者の指導のもと施工にあたるものとする。
- 2) 緊張施工にあたり、緊張ジャッキ等はキャリブレーションを行ったものを使用し、あらかじめ緊張管理計画書を監督員に提出し、確認を得るものとする。
- 3) 緊張作業を行ってよいときのコンクリートの圧縮強度は、プレストレスを与えた直後にコンクリートに起こる最大圧縮応力度の1.7倍以上でなければならない。また、プレストレス導入時に定着具付近の局部応力に対し安全でなければならない。
- 4) アンカープレートの汚れ、清掃、定着部の楔はよく清掃し、緊張時の引張方向には保護板を設けるものとする。
- 5) 緊張は緊張計算に従って行い、その管理はコンクリート標準示方書に従って行う。荷重計の読み、PC鋼材の伸び量については、緊張管理データシートを監督員に提出するものとする。
- 6) 壁体には、円周方向と鉛直方向の二方向にPC鋼材が配置されており、その緊張順序は、鉛直方向を先に行い、次に円周方向を行うこととする。
- 7) 円周方向の緊張は数台の油圧ジャッキを用いて均等にプレストレスの導入を行わなければならない。(PC鋼より線1ケーブルに付き、ジャッキ2台を使用すること。)

3.10 グラウト工

- 1) PC鋼より線及びPC鋼棒は、緊張終了後にできるだけ速やかにグラウトを注入する。
- 2) グラウト施工前にダクト内の導通確認及びPCグラウト材の品質検査を行うこと。
- 3) グラウト材は、JIS R 5210 に適合するものを用いること。また、鋼材に悪影響を及ぼす物質（CaCl 等）を有害量含んではならず、流動性に富み、ノンブリーディングタイプのものを標準とする。

- 4) グラウトの練り混ぜは、グラウトミキサで行うことを原則とする。
- 5) グラウト注入は、グラウトポンプを用いて適切な注入圧を保ちながら徐々に行わなければならない。グラウトポンプは空気が混入しないように注入できるものでなければならない。注入圧は、グラウトホース、ジョイント、グラウトキャップ等の耐圧から $2\text{N}/\text{mm}^2$ 以下でゆっくり注入し、出口より一様なグラウトが排出するまで中断してはならない。
- 6) 縦方向の PC 鋼棒のグラウト注入については、PC 鋼棒の下端から側壁の外に注入用ビニールホースを出し、下端より注入しなければならない。

3.11 屋根工事（エアードーム工法）

- 1) エアードーム工法に使用する膜材は、試験成績書および品質証明書を提出し監督員の承諾を得ること。
- 2) エアードーム施工にあたり、作業手順、施工機材、空気圧管理などの施工計画書をあらかじめ監督員に提出し、承諾を得るものとする。
- 3) エアードーム工法は下記の手順に従って行うこと。
 - (1) 支承部リングプレート、アンカーボルトの組立て
 - (2) 吊り上げ、引き込み用ロープ等の設置
 - (3) 膜材設置（膜・補強バンドの設置）
 - (4) 一次昇圧（モルタル打設前 $150\text{ mm Aq} \approx 1500\text{Pa}$ ）
 - (5) アンカーピン、丸鋼の設置
 - (6) プライマー、接着剤の散布
 - (7) ラス網、溶接金網設置
 - (8) 二次昇圧（モルタル打設時 $1,800 \sim 2,100\text{Pa}$ ）
 - (9) モルタル打設
 - (10) 屋根鉄筋組立
 - (11) 屋根コンクリート打設
 - (12) エアー解放
- 4) 施工期間中は内圧を一定に保たなければならない、エアーコントロールシステムは、異常時には自動的に予備機へ切り替わる 2 系統化でなければならない。
- 5) 施工期間中に停電による内圧の低下がおきてはならないので、必ず非常用発電設備を設置しなければならない。

3.12 防水、防蝕工

- 1) 外壁・内壁は木コン跡及び施工継目箇所において、水漏れを防ぐ目的で適切な防水処理を施すこと。
- 2) 底板、側壁の内面防蝕塗装は図面図示による。
- 3) 屋根の防水は、設計図書による。

3.13 足場工

- 1) 足場工は十分な支持力を有し、振動などで狂いが生じないよう堅固に設置し、その構造図及び計算書を監督員に提出し、承認を得ること。

第4節 その他

- 1) その他、詳細的事項については、監督員の指示に従い誠意をもって本工事の施工に努めること。
- 2) 水張試験の際には、清掃及び漏水確認をすること。
- 3) 上記項目、その他項目の確認事項等で甲より支持があったものについては丙にも連絡、資料提出を行うこと。

現 場 説 明 書(施工条件明示)

【工程関係】

工事期間：令和１１年　３月３０日　限り

① 本工事の工事期間は休日日数、降雨日数等を見込み令和１１年　３月３０日までとする。

② 工事期間には、完成書類の作成期間として　２５日間　を計上している。

※契約書類の工程表、施工計画書における計画工程表に上記の期間を記載すること。

現場での作業が完了するまでに出来高の過不足を監督員と協議し、原則、工期内で検査受験、目的物の引渡しができるように計画すること。

③ 受注者が工期の延長変更を請求するにあたり「天候等による作業不能日」が工程に大きく影響したことを理由とする場合、発注者が当初の工程に見込んでいた「作業不能日」の日数から著しく乖離していると監督員が判断したときは、工期の変更協議に応じるものとする。

- ・ 工事施工に際しては、予想される地下埋設物の管理者等と現地立ち会いのうえ、当該物件の位置、深さ等を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止する事。また、保安対策等の打合せを管理者と行った時は、立会記録等を提出すること。

【建設副産物・再生資源関係】

本工事により発生する建設発生土の搬出先は、以下の通りとするが、これにより難しい場合は別途協議すること。

① 数量総括表に残土処理が計上されている場合は、「発注者が指定する場所」とする。

② 数量総括表に残土処理が計上されていない場合は、「搬出先なし」とする。

③ 数量総括表に残土処理が計上されていない場合で、施工中に残土の搬出が必要となった場合は、「発注者が指定する場所」とする。

④ 「発注者が指定する場所」を変更する場合は、現場代理人と監督員が協議し、監督員が指定する。

※搬出先については町有地（民有地）を指定しているが、受注者から上記と異なる搬出先の提示があった場合は、別途協議のうえ搬出場所の変更を可能とする。

なお、処分に係る費用（運搬費＋処分料等）が当初の設計金額を上回る場合は設計金額の変更の対象とはしない。

ただし、現場条件や地元調整等、受注者の責めによるべきものではない事項についてはこの限りではない。

発注者が指定する場所

<町有地>

(1) 受入者　日出町

(2) 受入場所　日出町大字藤原２８５８－１外（旧烏帽子ため池）

(3) 受入土量　　８５５　ｍ^３

(4) 運搬距離　　５．７　ｋｍ（片道）

(5) 受入条件　工事で発生した土砂であっても、自然石・雑石（φ３０ｃｍ以上）や泥土、異臭がひどい場合は、監督員と協議して搬出先を決定する。

【公害関係】

- ・ 本工事箇所は、環境保全の観点から各工種の施工にあたっては、低騒音型、低振動型建設機械及び排出ガス対策型建設機械に指定されている建設機械・設備を使用すること。

【安全対策関係】

- ・本工事施工箇所が、幼稚園及び小中学校の通学路となる場合は、児童等が工事区域内へ侵入しないようバリケード・保安灯等を設置し、必要に応じて夜間の安全対策を行うこと。
- ・施工計画書には、関係機関と協議した結果に基づいた交通誘導警備員の配置計画等を記載し、監督員の承諾を得ること。また配置計画に変更の必要が生じた場合は、監督員と別途協議すること。
- ・本工事区間内に上水道管など（下水道管・ガス管・通信線）が埋設されている場合は、埋設物に損傷を与えないよう関係機関に事前立会を求め、施工は入念に行うこと。なお、施工途中において、埋設物の移設の必要が生じる場合は、監督員と協議を行うこと。
- ・施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出すること。

【工事用道路関係】

- ・運搬路に使用した既設道路の舗装等の補修が必要になった場合は監督員と協議するものとする。また、補修が必要になった場合に備え、事前に運搬路の現況写真の撮影を行い整理しておくこと。
- ・本工事の施工に際しては、都市建設課により町道万願寺大峯線を占有して工事を実施する。占有期間は都市建設課の設定している占有期間に準ずる。詳細については監督員の指示によること。
- ・

積算条件説明書

積算条件説明書は、予定価格を算出する上で発注者が想定している施工方法や仮設工、使用機械などのうち、任意仮設や任意施工として取り扱うものについて、入札参加者へ周知するものである。

積算条件説明書は設計図書ではないため、本書に記載された事項については受注者に対する契約事項とはならない。ただし、現地条件の違いなどが無い限り、設計変更の対象としない。

【諸経費関係】

- 建設技能労働者や交通誘導警備員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

【単価関係】

- 本設計書の単価適用日は令和8年6月15日としている。なお土木工事積算単価は大分県H.Pで公表されている。
(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/18700/tanka.html>)
その他で見積り単価を使用したものについては別紙のとおりである。

【安全対策関係】

- 本工事において、交通誘導警備員の延べ人数は、積算上下記のとおりとしているが、受注者の提示する内容と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や施工数量の変更、警察等関係機関との協議結果等、受注者の責めによるべきものではない事項についてはこの限りではないが、監督員と協議し必要性が認められる場合は設計変更の対象とする。

延べ人数 交通誘導警備員B 194 人・日

【残土処理条件】

- 本工事において発生する建設残土の搬出先は以下のとおりとする。

本工事で発生する建設残土の搬出先は、下記の町有地とし、運搬・整地に必要な経費を計上している。施工にあたって特段の理由がない限り搬出先の変更は認めない。石（φ30cm以上）や泥土、異臭がひどい場合は、監督員と協議して搬出先を変更することができる。ただし、工事で発生した土砂であっても、石（φ30cm以上）や泥土、異臭がひどい場合は、監督員と協議して搬出先を変更することができる。

搬出先：日出町大字藤原2858－1外（旧烏帽子ため池）

運搬距離：片道5.7km

町有地に搬入する建設残土の取り扱いは以下のとおりとする。

- （1）本工事において発生した建設残土（土砂及び碎石）のみ搬入を認める。
- （2）搬入した土砂に不適切な物（舗装殻など）が確認された場合、受注者は監督員の指示を受け速やかに撤去することとし、その費用については受注者の負担とする。

【再資源化施設等への運搬及び処理条件】

- 本工事により発生するコンクリート塊及びアスファルト塊は、再資源化施設等へ運搬することとする。なお処分条件は、積算上下記のとおりとしている。

（1）受入場所 （施設名称） 日出エコセンター

（2）運搬距離 2.6 km（片道）

上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責めによるべきものではない事項についてはこの限りではない。

品名	企画	備考	A	B	C	決定単価
JIS強化杭C種	φ 900		693,000	686,000	673,000	684,000
PHC杭A種	φ 900		198,000	196,000	191,900	195,300
杭頭養生	φ 900		92,900	92,000	90,200	91,700

品名	企画	備考	A	B	C	平均単価	決定単価
塗膜作成工			3,240,000	3,186,000	3,300,000	3,242,000.0	3,242,000
膜材支承工事			1,100,000	1,034,000	1,200,000	1,111,333.3	1,111,333
膜材取付工事			1,150,000	1,060,000	1,100,000	1,103,333.3	1,103,333
モルタル工事			900,000	780,000	800,000	826,666.7	826,666
エアーコントロールシステム			4,600,000	4,510,000	4,590,000	4,566,666.7	4,566,666

品名	企画	備考	A	B	C	平均単価	決定単価
外面塗装工 複層仕上塗装RE	上塗:ブリーズコート 素地調整共		6,500	6,800	6,000	6,433.3	6,433
屋根複合塗膜防水	超速硬化ウレタン防水JIS6021適合品 軽歩行用		10,500	10,800	10,000	10,433.3	10,433
屋根開口部 仕上り内面	ポリウレタン樹脂(JWWAK-143適合品)	内面防食工	19,000	19,500	18,520	19,006.7	19,006
側壁	ポリウレタン樹脂(JWWAK-143適合品)	内面防食工	17,200	17,600	16,730	17,176.7	17,176
水底版	ポリウレタン樹脂(JWWAK-143適合品)	内面防食工	16,100	16,500	15,630	16,076.7	16,076
結露防止塗装	硬質ウレタンフォーム t=25mm		8,500	9,000	8,000	8,500.0	8,500

品名	企画	備考	A	B	C	平均単価	決定単価
内部階段(手摺1000H含む)	1000W×1491H(SUS304)		1,596,000	1,520,000	1,672,000	1,596,000.0	1,596,000
踊り場手摺(φ5チェーン含む)	1000H(SUS304)		158,000	150,000	165,000	157,666.7	157,666
取付費	※諸経費含む	経費×××	221,000	210,000	231,000	220,666.7	220,666
運搬費			74,000	70,000	77,000	73,666.7	73,666

品名	企画	備考	A	B	C	決定単価	決定単価
開口部当版	W65×t6	屋根					
人孔部	開口800×800	屋根	81,400	73,300	78,400	77,700.0	77,700
同上取付工事費			28,900	26,000	27,800	27,566.7	27,566
搬出入孔部	開口1300×1300	屋根	109,200	98,400	105,000	104,200.0	104,200
同上取付工事費			50,000	45,000	48,200	47,733.3	47,733
通気孔部	開口320×320	屋根	66,300	59,700	63,900	63,300.0	63,300
同上取付工事費			24,400	22,000	23,500	23,300.0	23,300
水位計部	開口φ150+50	屋根	59,400	53,500	57,200	56,700.0	56,700
同上取付工事費			20,000	18,000	19,300	19,100.0	19,100
外部螺旋階段(SUS304)	φ2000、支柱高22100	付帯設備	34,225,000	30,833,000	32,991,000	32,683,000.0	32,683,000
同上取付工事費			2,060,000	1,856,000	1,986,000	1,967,333.3	1,967,333
内部昇降梯子(FRP)	W400×H5900	付帯設備	634,000	571,000	611,000	605,333.3	605,333
同上取付工事費			159,000	143,000	153,000	151,666.7	151,666
手掛金物(SUS304)	W400×H1100	付帯設備	97,700	88,000	94,200	93,300.0	93,300
同上取付工事費			15,500	14,000	15,000	14,833.3	14,833
歩廊防護柵(SUS304)	H1100×L25200	付帯設備	2,736,000	2,465,000	2,638,000	2,613,000.0	2,613,000
同上取付工事費			205,000	185,000	198,000	196,000.0	196,000
人孔蓋(FRP)	開口800×800	付帯設備	310,000	279,000	299,000	296,000.0	296,000
同上取付工事費			53,300	48,000	51,400	50,900.0	50,900
搬出人孔蓋(FRP)	開口1300×1300	付帯設備	478,000	431,000	461,000	456,666.7	456,666
同上取付工事費			76,600	69,000	73,800	73,133.3	73,133
通気塔(FRP)	開口320×320	付帯設備	285,000	257,000	275,000	272,333.3	272,333
同上取付工事費			51,100	46,000	49,200	48,766.7	48,766
雨樋振止金物(SUS304)	VP100用	付帯設備	32,200	29,000	31,000	30,733.3	30,733
同上取付工事費			4,800	4,300	4,600	4,566.7	4,566
ルーフトレイン(SUS304)	縦引き型	付帯設備	28,500	25,700	27,500	27,233.3	27,233
同上取付工事費			3,600	3,200	3,400	3,400.0	3,400
水位計防波管振止金物(FRP)	φ150・50ダブルタイプ	付帯設備	66,600	60,000	64,200	63,600.0	63,600
同上取付工事費			10,500	9,500	10,200	10,066.7	10,066
ガラリ(SUS304)	開口300×300	付帯設備	131,000	118,000	126,000	125,000.0	125,000
同上取付工事費			23,300	21,000	22,500	22,266.7	22,266
換気扇(SUS304)	開口300×300	付帯設備	214,000	193,000	207,000	204,666.7	204,666
同上取付工事費			30,000	27,000	28,900	28,633.3	28,633
採光窓(アルミ製)	開口300×300	付帯設備	113,000	102,000	109,000	108,000.0	108,000

同上取付工事費			23,300	21,000	22,500	22,266.7	22,266
出入口扉(アルミ製)	開口1200×1200	付帯設備	629,000	567,000	607,000	601,000.0	601,000
同上取付工事費			131,000	118,000	126,000	125,000.0	125,000
鉄筋組立用鋼材(SS)	L50×50×t6 1187.6m	基礎版	2,872,000	2,586,960	2,768,000	2,742,320.0	2,742,320
同上取付工事費			1,582,000	1,427,520	1,527,000	1,512,173.3	1,512,173

品名	企画	備考	A	B	C	平均単価	決定単価
突針	国土交通省型LR1	クロムメッキ	38,000	37,000	39,000	38,000.0	38,000
支持管	48.6φ×3t×3m	SUS	112,000	109,000	115,000	112,000.0	112,000
支持管取付台	コンクリート用48.6φ	SUS	338,000	329,000	348,000	338,333.3	338,333
アンカーボルト	M16×200	ステンレス	4,600	4,500	4,800	4,633.3	4,633
アンカーキャップ	M16用	PVC	750	730	800	760.0	760
支線取付金物	支持管4方用48.6φ	ステンレス	9,700	9,500	10,000	9,733.3	9,733
支線取付金物	埋込用12φ×200	ステンレス	12,700	12,400	13,000	12,700.0	12,700
支線ワイヤー	6φ	ステンレス	800	770	850	806.7	806
ワイヤーコース	6φ 2.0×7用	ステンレス	270	260	280	270.0	270
ワイヤークリップ	6φ 2.0×7用	ステンレス	650	620	680	650.0	650
ターンバックル	M10φ	ステンレス	17,500	17,000	18,000	17,500.0	17,500
銅導線	2.0×1.3		3,100	3,000	3,200	3,100.0	3,100
銅導線取付金物	鉄骨用パイラック小		2,400	2,300	2,500	2,400.0	2,400
銅導線取付金物	床用コンクリートブロック		5,450	5,350	5,600	5,466.7	5,466
銅導線取付金物	コンクリート用M6		1,800	1,700	1,900	1,800.0	1,800
十字型接続端子	銅板付		21,000	20,500	21,700	21,066.7	21,066
T型接続端子	銅板付		16,000	15,700	16,500	16,066.7	16,066
手摺用接続端子		ステンレス	10,500	10,200	10,800	10,500.0	10,500
保護管	VE28		2,100	2,000	2,200	2,100.0	2,100
保護管取付金物	コンクリート用M6		2,800	2,700	2,900	2,800.0	2,800
端子ボックス露出用	接続端子付	ステンレス	63,500	62,000	65,300	63,600.0	63,600
ボックスコネクタ	VE28		680	650	700	676.7	676
地中埋設銅導線	2.0×13		3,100	3,000	3,200	3,100.0	3,100
設置極銅導線	2.0×19		4,400	4,200	4,580	4,393.3	4,393
設置極銅導線分岐端子	C形分岐端子		2,300	2,240	2,380	2,306.7	2,306
雑材消耗品			299,300	28,040	310,900	212,746.7	212,746

取付工事			1,780,000	170,000	1,840,000	1,263,333.3	1,263,333
------	--	--	-----------	---------	-----------	-------------	-----------

品名	企画	備考	A	B	C	決定単価
ラップロ付F直管 175L	ナイロンコート鋼管 250A(7.5kF)		477,100	477,100	477,100	477,100
2F直管 4,219L	ナイロンコート鋼管 250A(7.5kF)		677,700	677,700	677,700	677,700
2F直管 5,500L	ナイロンコート鋼管 250A(7.5kF)		677,700	677,700	677,700	677,700
2F直管 1,338L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 250A(7.5kF) WNフランジ		689,800	689,800	689,800	689,800
2F直管 1,600L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 250A(7.5kF)		439,900	439,900	439,900	439,900
1F1割F直管 629L	ナイロンコート鋼管 250A(7.5kF) 割フランジ		416,900	416,900	416,900	416,900
2F90° ショート曲管 260L×260L	ナイロンコート鋼管 250A(7.5kF)		355,800	355,800	355,800	355,800
急閉式逆止弁(垂直配管用)	FCD 内外面粉体塗装 250A(7.5kF)		1,329,000	1,329,000	1,329,000	1,329,000
ベローズ型伸縮可とう継手 650L	SUS304 250A(7.5kF)		1,720,000	1,720,000	1,720,000	1,720,000
振止金具	Cタイプ		96,400	96,400	96,400	96,400
振止金具	Dタイプ		122,100	122,100	122,100	122,100
ダクタイル鋳鉄製ボール型伸縮可とう管(ダブル)	GX×F h=200 タイロット付 φ 250		1,685,000	1,685,000	1,685,000	1,685,000
鋳鉄管用不断水割T字管 F型	全周パッキン φ 250×φ 250(7.5kF)		506,770	506,770	506,770	506,770
管栓帽取付工	離脱防止金具含む FCD φ 250		642,000	642,000	642,000	642,000
不断水分岐連絡工	φ 250×φ 250		724,000	724,000	724,000	724,000
ラップロ付F直管 175L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		393,800	393,800	393,800	393,800
2F直管 4,219L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		506,700	506,700	506,700	506,700
2F直管 5,500L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		506,700	506,700	506,700	506,700

2F直管 1,345L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF) WNフランジ		453,000	453,000	453,000	453,000
2F直管 1,600L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		343,900	343,900	343,900	343,900
1F1割F直管 773L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF) 割フランジ		275,900	275,900	275,900	275,900
2F90° ショート曲管 210L×210L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		239,800	239,800	239,800	239,800
急閉式逆止弁(垂直配管用)	FCD 内外面粉体塗装 200A(7.5kF)		1,059,000	1,059,000	1,059,000	1,059,000
ベローズ型伸縮可とう継手 600L	SUS304 200A(7.5kF)		1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
ダクタイル鋳鉄製ボール型伸縮可とう管(ダブル)	GX×F h=200 タイロット付 φ 200		1,346,000	1,346,000	1,346,000	1,346,000
簡易不断水弁(鋳鉄管用)	全周パッキン φ 200		1,156,000	1,156,000	1,156,000	1,156,000
不断水分岐連絡工	φ 200× φ 200		332,000	332,000	332,000	332,000
簡易不断水弁設置工	φ 200		507,000	507,000	507,000	507,000
ラップロ付F直管 175L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		393,800	393,800	393,800	393,800
2F直管 627L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		192,900	192,900	192,900	192,900
2F直管 400L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		192,900	192,900	192,900	192,900
2F直管 767L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		192,900	192,900	192,900	192,900
2F直管 692L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		192,900	192,900	192,900	192,900
2F直管 503L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		192,900	192,900	192,900	192,900
2F直管 200L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		192,900	192,900	192,900	192,900
2F直管 1,859L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		256,100	256,100	256,100	256,100
2F直管 5,500L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		506,700	506,700	506,700	506,700

2F直管 1,500L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		343,900	343,900	343,900	343,900
1F1割F直管 1,749L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF) 割フランジ		339,100	339,100	339,100	339,100
3FT字管 370Lx230L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		339,000	339,000	339,000	339,000
3F異径T字管 370Lx200L	ナイロンコート鋼管 200A×80A(7.5kF)		339,900	339,900	339,900	339,900
2F90° 曲管 310L×310L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		239,800	239,800	239,800	239,800
伸縮可とう継手 200L	ナイロンコート鋼管 200A(7.5kF)		359,300	359,300	359,300	359,300
ベローズ型伸縮可とう継手 600L	SUS304 200A(7.5kF)		1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
カムレバーロック式急速空気弁	FCD 内外面粉体塗装 φ75(7.5kF)副弁付		213,000	213,000	213,000	213,000
ボール式補修弁	FCD 内外面粉体塗装 φ75(7.5kF)		120,000	120,000	120,000	120,000
メタルシート仕切弁(左開き)	内外面粉体塗装 内ねじ式 φ200(7.5kF) 3種		305,000	305,000	305,000	305,000
手動バタフライ弁	FCD 内外面粉体塗装 φ200(7.5kF)面間伸縮 機能付		1,796,000	1,796,000	1,796,000	1,796,000
振止金具	Aタイプ		94,000	94,000	94,000	94,000
鋳鉄管用不断水割T字管 F型	全周パッキン φ200×φ200(7.5kF)		387,760	387,760	387,760	387,760
伸縮管	SUS304 150A(7.5kF)		577,900	577,900	577,900	577,900
2F直管 612L	ナイロンコート鋼管 150A(7.5kF)		196,930	196,930	196,930	196,930
2Fレジャーサー	ナイロンコート鋼管 200A×150A(7.5kF)		186,100	186,100	186,100	186,100
ラップ口付F直管 145L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		248,000	248,000	248,000	248,000
2F直管 4,199L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		243,400	243,400	243,400	243,400
2F直管 5,500L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		243,400	243,400	243,400	243,400

2F直管 1, 395L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF) WNフランジ		236,000	236,000	236,000	236,000
2F直管 1,600L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		167,000	167,000	167,000	167,000
1F1割F直管 1,348L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF) 割フランジ		171,300	171,300	171,300	171,300
2F90° ショート曲管 160L×160L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		96,300	96,300	96,300	96,300
ベローズ型伸縮可とう継手 500L	SUS304 100A(7.5kF)		930,000	930,000	930,000	930,000
振止金具	Eタイプ		89,500	89,500	89,500	89,500
振止金具	Fタイプ		115,500	115,500	115,500	115,500
2F直管 5,500L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		243,400	243,400	243,400	243,400
1F直管 1,350L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		157,100	157,100	157,100	157,100
2F直管 1,506L スティフナー付	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF) WNフランジ		236,000	236,000	236,000	236,000
1F1割F直管 1,348L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF) 割フランジ		171,300	171,300	171,300	171,300
2F90° ショート曲管 160L×160L	ナイロンコート鋼管 100A(7.5kF)		96,300	96,300	96,300	96,300
ベローズ型伸縮可とう継手 500L	SUS304 100A(7.5kF)		930,000	930,000	930,000	930,000

指 示 ・ 承 諾 ・ 協 議 書

工 事 場 所

工 事 名

請負業者名

番 号		NO.				
発 議 者		☐ 発注者 ☐ 受注者		発議年月日	令和 年 月 日	
発議事項		☐ 指示 ☐ 協議 ☐ 通知 ☐ 承諾 ☐ 提出 ☐ 届出 ☐ その他()				
協議事項						
処 理 ・ 回 答	発 注 者	上記について、 ☐ 指示 ・ ☐ 承諾 ・ ☐ 協議 ・ ☐ 通知 ・ ☐ 受理 します。 ☐ その他 () 内容回答予定日: 令和 年 月 日				
	請 負 者	上記について、 ☐ 了解 ・ ☐ 協議 ・ ☐ 提出 ・ ☐ 報告 ・ ☐ 届出 します。 ☐ その他 () 内容回答予定日: 令和 年 月 日				
	処理・回答年月日		令和 年 月 日			
確 認 欄	町 長 (重要事項のみ)	副 町 長 (重要事項のみ)	課 長 (重要事項のみ)	担 当 係 長	監 督 員	
	代 表 者 (重要事項のみ)		現 場 代 理 人	主 任 (監 理) 技 術 者		

令和 8 年度

工 事 設 計 書

工 事 期 間		日間 完成期日 年 月 日			摘 要			
工 事 番 号		R8-002						
河 川 名 路 線 名 等								
施 工 位 置								
工 事 名		令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事						
工 事 概 要								

総 括 情 報 表

事務所名	
設計書番号	
設計書名	実施設計書
変更回数	当初
諸経費区分・適用年	上水道 令和08年04月15日
工種区分	構造物工事(浄水場等)
単価適用年月日	令和08年06月15日付
単価地区	別府東部
機損適用年月日	令和06年07月公共機械損料(R07. 07. 15一部改定)
歩掛適用年月日	令和08年04月15日水道(R08. 06. 15一部改定)／令和07年07月15日公共

諸 経 費 設 定 情 報	
名 称	値
【 週休2日補正 】	補正なし
<上水道工事>	
【工区名称：構造物工事(浄水場等)02】	
[工種]	構造物工事(浄水場等)
[主要項目]	
施工地域	補正無し
前払金支出割合区分	35%を超える場合 (1.00)
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合(0.04%)
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
[現場環境改善費]	
現場環境改善費計上区分	計上しない
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
[一般管理費等]	
率指定	しない
契約保証に係る額の対象額指定	しない(当初設計の対象額で計算)
[工期延長等に伴う増加費用]	
工期延長等に伴う増加費用計上区分	計上しない
[消費税]	
(経過措置)複数の税率を適用する	複数税率を適用しない

総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
工事費						
	1	式				
本工事費						
	1	式				
構造物工事(浄水場等)02						
	1	式				
合計						

本工事費内訳書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
構造物工事(浄水場等)02						
	1	式				
本体築造工事					第 1 号	
	1	式				
場内整備工事					第 159 号	
	1	式				
場内配管工事					第 239 号	
	1	式				
仮設工					第 390 号	
	1	式				
直接工事費計						
共通仮設費計						
	1	式				
共通仮設費(積上げ)						
	1	式				
運搬費						
	1	式				

本工事費内訳書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
重建設機械分解組立+輸送(往復) クロー式杭打機 60超え100t以下	1	回			第 392 号	
重建設機械分解組立+輸送(往復) クロークレン系 35超え80t吊以下	1	回			第 393 号	
技術管理費	1	式				
平板載荷試験 50KN以下	1	箇所				
コンクリート圧縮強度	3	本				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				

本工事費内訳書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 1 号 A代価表 】 本体築造工事						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土 工	1	式			第 2 号	
基礎工その1	1	式			第 8 号	
基礎版工	1	式			第 26 号	
脚壁工	1	式			第 37 号	
水底盤工	1	式			第 53 号	
側壁工	1	式			第 65 号	
PC工	1	式			第 76 号	
屋根歩廊工	1	式			第 102 号	
塗装工	1	式			第 116 号	

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 1 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
付帯設備工事					第 126 号	
計	1	式				

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 2 号 A代価表 】						
土 工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
掘削工	1	式			第 3 号	
残土処理	1	式			第 5 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 3 号 A代価表 】						
掘削工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3未満 押土無し 障害無し	690	m3			第 4 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 4 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3未満								
(押土無し , 障害無し)								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
バックホウ(クローラ) [標準・超低騒音型・排対型:3次] 標準バックホウ 山積0.8m3[平積0.6m3]								
【労務】								
運転手(特殊)								
【材料】								
軽油 ハートル給油								
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 1	施工方法 オープンカット				
[J4] = 2 押土の有無 押土無し [J6] = 3 施工数量 5,000m3未満			[J5] = 1	障害の有無 障害無し				

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 5 号 A代価表 】 残土処理						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 9.5km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	760	m3			第 6 号	
整地 残土受入れ地での処理	760	m3			第 7 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第 6 号 施工パッケージ】								1	m3 当り
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 (9.5km以下 DID区間無 , 打付損耗費(良好)含む)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級									
【労務】									
運転手(一般)									
【材料】									
軽油 バトリール給油									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 土砂等発生現場 標準			[J2] = 1	積込機種・規格 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)					
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			[J4] = 1	DID区間の有無 DID区間無					
[J5] = 11 運搬距離 9.5km以下									

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第7号 施工パッケージ】 整地 残土受入れ地での処理 1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級							
【労務】							
運転手(特殊)							
【材料】							
軽油 ハトール給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 残土受入れ地での処理							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 8 号 A代価表 】 基礎工その1						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
作業土工	1	式			第 9 号	
試験堀	1	式			第 14 号	
杭打ち工	23	本			第 18 号	
カットオフ工 PHC杭φ900	23	本			第 20 号	
杭頭養生工 φ900	23	本				
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D29～32mm	5	t			第 22 号	
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D13mm	2	t			第 23 号	
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)(普通) 一般養生	19	m3			第 24 号	
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 3.3km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	14	m3			第 25 号	

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 8 号 A代価表 】 (続 き) 基礎工その1 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
産廃処分費 コンクリート殻（有筋）	34	t				処
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 9 号 A代価表 】 作業土工						
1 式 当 町						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
床掘り 土砂 標準 土留無し 障害有り	700	m3			第 10 号	
基面整正	160	m2			第 11 号	
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	370	m3			第 12 号	
安定処理 バックホウ 混合深さ=1m以下 構造物基礎	1,083	m2			第 13 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 10 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
床掘り 土砂 標準								
(土留無し 障害有り ,)								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級								
【労務】								
運転手(特殊)								
【材料】								
軽油 ハ°トル給油								
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 1	施工方法 標準				
[J3] = 1 土留方式の種類 無し [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 2	障害の有無 障害有り				

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第12号 施工パッケージ】 埋戻し 最大埋戻幅4m以上							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級							
振動ローラ賃料 ハンドガイト式 0.5～0.6t							
タンパ(ランマ)賃料 ランマ 重量60～80kg							
【労務】							
特殊作業員							
普通作業員							
運転手(特殊)							
【材料】							
軽油 パトロール給油							
ガソリン レキユーラー(スタント渡し)							
【端数調整】							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 12 号 施工パッケージ 】 (続 き)

埋戻し 最大埋戻し幅4m以上

1 m3 当り

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第13号 施工パッケージ】 安定処理 バックホウ 混合深さ=1m以下 (, 構造物基礎)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
振動ローラ賃料 ハンドガイト式 0.6～0.7t							
【労務】							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
普通作業員							
【材料】							
路床改良剤 石灰・飛散防止型							
軽油 バトロール給油							
【端数調整】							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 14 号 単価表 】							1 式 当 り
試験堀							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
土木一般世話役		人			定:1		
特殊作業員		人			定:1		
とび工		人			定:1		
普通作業員		人			定:1		
セメント 普通	4	t					
クローラ式アースオーガ運転 単軸式・直結3点支持 90kW		日			第 15 号 定:1		
バックホウ運転 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 排対型:1次基準 損料補正なし		日			第 16 号 定:1		
クローラクレーン運転 油圧駆動式ウインチ・リフティング 60-65t吊 排対型:1次基準		日			第 17 号 定:1		
諸雑費		%			参:1		

日出町

【 第 14 号 単価表 】 (続 き) 1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 15 号 施工単価表 】 クローラ式アースオーガ運転 単軸式・直結3点支持 90kW 1 日 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハ°トル給油		1				
クローラ式アースオーガ°[単軸式・直結三点支持] オーガ°出力90kW 径φ450～1200mm 長21～27m		供用日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 クローラ式アースオーガ°規格 単軸式・直結3点支持 90kW						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 16 号 施工単価表 】						
バックホウ運転 クロー型 山積0.45m3 (平積0.35)						
(排対型:1次基準 , 損料補正なし)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハトル給油		1				
バックホ(クロー型) [標準型・排対型:1次基準] 標準バケット 山積0.45m3 [平積0.35m3]		供用日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 バックホ規格 クロー型 山積0.45m3 (平積0.35) [X] = 2 バックホ規格区分 排対型:1次基準			[GH] = 1 岩石補正 損料補正なし			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 17 号 施工単価表 】 クローラクレーン運転 油圧駆動式ウインチ・ラチェンブ 60-65t吊 (排対型:1次基準 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハトル給油		1				
クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・排対型:1次] [ラチェンブ 型] 60～65t吊		供用日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 10 クローラクレーン規格 油圧駆動式ウインチ・ラチェンブ 60-65t吊		[X] = 2 クローラクレーン規格区分 排対型:1次基準				

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 18 号 単価表 】						
杭打ち工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
溶接工		人			定:1	
特殊作業員		人			定:1	
とび工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
PHC杭（JIS強化杭）C種 φ 900×L=7.0m	10	本			定:1	
PHC杭A種 φ 900×L=5.0m	10	本			定:1	
セメント 普通	43	t				
クローラ式アースオーガ運転 単軸式・直結3点支持 90kW		日			第 15 号 定:1	

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 18 号 単価表 】 (続 き)						
杭打ち工 10 本 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
バックホウ運転 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 排対型:1次基準 損料補正なし		日			第 16 号 定:1	
クローラクレーン運転 油圧駆動式クイン・リフティング 60-65t吊 排対型:1次基準		日			第 17 号 定:1	
アースオーガ運転		日			第 19 号 定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 19 号 単価表 】						
アースオーガ運転						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
アースオーガ(単体)[単軸式・電動式] 掘削径φ450～1000mm 掘削長55m 55kW		供用日				
計						
単位当たり						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 20 号 単価表 】 カットオフ工 PHC杭 φ900 10 本 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
杭破砕機運転 杭径 φ700mm～1000mm用		日			第 21 号	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 21 号 施工単価表 】						
杭破碎機運転 杭径φ700mm～1000mm用						1 日 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ガソリン レギュラー(スタンド渡し)		1				
杭破碎機 杭径φ700～1000mm		日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 杭破碎機規格 杭径φ700mm～1000mm用						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 22 号 施工単価表 】						
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物)						
(太径10%未満(補正なし) , SD345 D29～32mm)						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 手間のみ	1	t				
異形棒鋼 SD345 D29・D32mm JIS G 3112	1.03	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 7 鉄筋規格 SD345 D29～32mm			[H] = 1 規格・仕様区分 一般構造物			
[B] = 1 施工規模 施工規模10t以上			[C] = 1 現場条件 トンネル内作業・法面作業以外			
[D] = 1 時間制約 時間制約無			[E] = 1 夜間作業 夜間作業無			
[F] = 1 太径鉄筋の割合 太径10%未満(補正なし)			[G] = 1 構造物種別による補正 補正無(一般構造物)			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 23 号 施工単価表 】						
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物)						
(太径10%未満(補正なし) , SD345 D13mm)						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 手間のみ	1	t				
異形棒鋼 SD345 D13mm JIS G 3112	1.03	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 5 鉄筋規格 SD345 D13mm			[H] = 1 規格・仕様区分 一般構造物			
[B] = 1 施工規模 施工規模10t以上			[C] = 1 現場条件 トンネル内作業・法面作業以外			
[D] = 1 時間制約 時間制約無			[E] = 1 夜間作業 夜間作業無			
[F] = 1 太径鉄筋の割合 太径10%未満(補正なし)			[G] = 1 構造物種別による補正 補正無(一般構造物)			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第24号 施工パッケージ】 コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20) (普通) (, 一般養生)								1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m3/h								
その他(機械)								
【労務】								
普通作業員								
土木一般世話役								
特殊作業員								
運転手(特殊)								
その他(労務)								
【材料】								
生コンクリート 普通セメント 24-12-25(20) 水セメント比55%以下対応品								
軽油 パトロール給油								

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第25号 施工パッケージ】 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 (3.3km以下 DID区間無 , タイヤ損耗費(良好)含む)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
ダンプトラック[オンロード・ディーゼ] 10t積級							
【労務】							
運転手(一般)							
【材料】							
軽油 パトロール給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 殻発生作業 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし			[J2] = 1	積込工法区分 機械積込			
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無 [JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用			[JE] = 2	運搬距離 3.3km以下			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 26 号 A代価表 】 基礎版工							1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュラン40～0	164	m2			第 27 号		
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	5	m2			第 28 号		
コンクリートポンプ車打設(均しコンクリート部) 生コン各種 一般養生	16	m3			第 29 号		
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D13mm	0.7	t			第 23 号		
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D16～25mm	11.6	t			第 32 号		
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D29～32mm	30.5	t			第 22 号		
機械式鉄筋定着加工 D25	960	本					
機械式鉄筋定着加工 D19	864	本					
機械式鉄筋定着加工 D13	277	本					

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 26 号 A代価表 】 (続 き)						
基礎版工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	95	m2			第 28 号	
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)(普通) 一般養生	310	m3			第 33 号	
手摺先行型枠組足場 安全ネット必要	112	掛m2			第 34 号	
登り栈橋工 設置・撤去・損料	2	m			第 35 号	
鉄筋組立用鋼材 SS400 L50×50×t6	1	式			第 36 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 27 号 施工パッケージ 】								1	m2 当り
基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下									
(再生クラッシャーラン40～0 ,)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級									
その他(機械)									
【労務】									
普通作業員									
特殊作業員									
運転手(特殊)									
土木一般世話役									
その他(労務)									
【材料】									
再生クラッシャーラン RC-40									
軽油 ハ° トロール給油									

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 28 号 施工パッケージ 】 型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠) 1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】							
型わく工							
普通作業員							
土木一般世話役							
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 3	構造物の種類 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 29 号 施工単価表 】						
コンクリートポンプ車打設(均しコンクリート部) 生コン各種 (一般養生 ,)				10	m3 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
生コンクリート 普通セメント 18-8-25(20)	10.7	m3				
コンクリートポンプ車運転 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		時間			第 30 号 定:1	
養生工(均しコンクリート部)	10	m3			第 31 号	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費、コンクリートポンプ車 損料及び運転経費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 29 号 施工単価表 】 (続 き) コンクリートポンプ車打設(均しコンクリート部) 生コン各種 (一般養生 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[条件] [N1] = 49 生コンクリート規格 各種 [A] = 1 養生工区分 一般養生			[N2] = 1 小型車指定割増区分 小型車割増無し			10 m3 当り

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 30 号 施工単価表 】						
コンクリートポンプ車運転 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h						1 時間 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハートル給油		l				
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m3/h		時間				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 10 コンクリートポンプ車規格 ブーム式 圧送能力90～110m3/h						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 31 号 施工単価表 】						
養生工(均しコンクリート部)						
10 m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)						
労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 32 号 施工単価表 】						
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物)						
(太径10%未満(補正なし) , SD345 D16～25mm)						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 手間のみ	1	t				
異形棒鋼 SD345 D16～D25mm JIS G 3112	1.03	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 6 鉄筋規格 SD345 D16～25mm			[H] = 1 規格・仕様区分 一般構造物			
[B] = 1 施工規模 施工規模10t以上			[C] = 1 現場条件 トンネル内作業・法面作業以外			
[D] = 1 時間制約 時間制約無			[E] = 1 夜間作業 夜間作業無			
[F] = 1 太径鉄筋の割合 太径10%未満(補正なし)			[G] = 1 構造物種別による補正 補正無(一般構造物)			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第33号 施工パッケージ】 コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20) (普通) (, 一般養生)								1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m3/h								
その他(機械)								
【労務】								
普通作業員								
特殊作業員								
土木一般世話役								
運転手(特殊)								
その他(労務)								
【材料】								
生コンクリート 普通セメント 24-12-25(20) 水セメント比55%以下対応品								
軽油 パトロール給油								

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 34 号 施工単価表 】						
手摺先行型枠組足場			100 掛m2 当り			
(安全ネット必要 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
とび工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジャブ型 25t吊 オペレータ 燃料 油脂費含む		日			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費、機械賃料の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 工法 手摺先行型枠組足場 [Xc] = 5 ラフテレーンクレーン規格区分 低騒音型・排対型3次			[B] = 1 安全ネットの有無 安全ネット必要 [c1] = 1.000			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 35 号 施工単価表 】						
登り栈橋工 設置・撤去・損料						
1 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう特殊工 設置		人				
橋りょう特殊工 撤去		人				
登り栈橋損料 供用10月	1	式				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 作業区分 設置・撤去・損料		[B] = 10.000 月	供用月数			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 36 号 A代価表 】						
鉄筋組立用鋼材 SS400 L50×50×t6						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋組立用鋼材 L50×50×t6 1187.6m	1	式				
鉄筋組立用鋼材取付工事費	1	式				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 37 号 A代価表 】 脚壁工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工	1	式			第 38 号	
型枠工	1	式			第 40 号	
コンクリート工	1	式			第 43 号	
表面仕上工	1	式			第 45 号	
手摺先行型枠組足場 安全ネット必要	652	掛m2			第 34 号	
登り栈橋工 設置・撤去・損料	29	m			第 35 号	
排水管設置	1	式			第 47 号	
無収縮モルタル充填工	1	式			第 51 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 38 号 A代価表 】						
鉄筋工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D13mm	0.7	t			第 23 号	
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D16～25mm	9.1	t			第 32 号	
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D35mm	28.5	t			第 39 号	
ガス圧接工 手動(半自動)・自動 D35×D35	384	箇所				
機械式鉄筋定着加工 D19	768	本				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 39 号 施工単価表 】						
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) (太径10%未満(補正なし) , SD345 D35mm)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 手間のみ	1	t				
異形棒鋼 SD345 D35mm JIS G 3112	1.03	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 8 鉄筋規格 SD345 D35mm [B] = 1 施工規模 施工規模10t以上 [D] = 1 時間制約 時間制約無 [F] = 1 太径鉄筋の割合 太径10%未満(補正なし)			[H] = 1 規格・仕様区分 一般構造物 [C] = 1 現場条件 トンネル内作業・法面作業以外 [E] = 1 夜間作業 夜間作業無 [G] = 1 構造物種別による補正 補正無(一般構造物)			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 40 号 A代価表 】 型枠工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 H<10m	1	式			第 41 号	
型枠 (外側) 10m≦H	1	式			第 42 号	
計						

【 第 41 号 A代価表 】 型枠 H<10m 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	440	m2			第 28 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 42 号 A代価表 】 型枠（外側） 10m≦H 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	169	m2			第 28 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 43 号 A代価表 】 コンクリート工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
膨張コンクリート	25	m3			第 44 号	
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20) (普通) 一般養生	181	m3			第 24 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 44 号 単価表 】						
膨張コンクリート						
1 m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20) (普通) 一般養生	1	m3			第 24 号	
膨張性混和剤 20kg/m3	20	kg				
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 45 号 A代価表 】 表面仕上工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート打ち放し面補修	605	m2			第 46 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 46 号 単価表 】						
コンクリート打ち放し面補修						
10 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 47 号 A代価表 】 排水管設置						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
材料費	1	式			第 48 号	
労務費	1	式			第 49 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 48 号 A代価表 】							1 式 当 り
材料費							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
硬質塩化ビニル管 φ 100 L=4,000	1	本					
排水用防虫網 φ 100	2	個					
計							

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 49 号 A代価表 】 労務費						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径100mm					第 50 号	
計	1	m				

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 50 号 施工単価表 】						
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径100mm						
10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 硬質塩化管据付工 [B] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[A] = 9 呼び径区分 呼び径100mm			

日出町

【 第 51 号 A代価表 】 無収縮モルタル充填工1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
モルタル充填工	0.4	m3			第 52 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 52 号 単価表 】						
モルタル充填工						
1 m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
土木一般世話役		人				
無収縮モルタル	1	m3				
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 53 号 A代価表 】 水底盤工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
水底版躯体工	1	式			第 54 号	
仮設工	1	式			第 61 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 54 号 A代価表 】 水底版躯体工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋	1	式			第 55 号	
型枠	1	式			第 56 号	
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 30-12-25(20) (普通) 一般養生	31	m3			第 57 号	
金ゴテ仕上 3回仕上	37	m2			第 58 号	
レイタンス研り	9	m2			第 59 号	
表面仕上げ	66	m2			第 60 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 55 号 A代価表 】						
鉄筋						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D13mm	0.2	t			第 23 号	
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D16～25mm	3.6	t			第 32 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 56 号 A代価表 】 型枠						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	27	m2			第 28 号	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	39	m2			第 28 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 57 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンク リ ー ト コンクリ ー トポン プ 車打設 無筋・鉄筋構造物 30-12-25 (20) (普通)									
(									

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

【 第 58 号 単価表 】 金ゴテ仕上 3回仕上						
1 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
左官		人			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 59 号 単価表 】						
レイタンス研り						
1 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 60 号 単価表 】 表面仕上げ						
10 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 61 号 A代価表 】 仮設工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
支保工					第 62 号	
計	1	式				

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 62 号 A代価表 】 支保工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
くさび結合支保 f ≤ 40kN/m ² t ≤ 120cm	82	空m ³			第 63 号	
パイプサポート支保(小規模) f ≤ 40kN/m ² t ≤ 120cm	10	空m ³			第 64 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 63 号 施工単価表 】						
くさび結合支保 $f \leq 40\text{kN/m}^2$ $t \leq 120\text{cm}$						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
型わく工		人			定:1	
とび工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ｼﾌﾞﾌﾞ型 25t吊 ﾊﾟﾚｯﾀ 燃料 油脂費含む		日			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費及び機械賃料の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 支保工法 くさび結合支保 [B] = 1 支保耐力 $f \leq 40\text{kN/m}^2$ [C] = 3 総設置数量 くさび結合支保の場合 [Xc] = 6 ラフテレーンクレーン規格区分 排対型:2014年規制						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 63 号 施工単価表 】 (続 き) くさび結合支保 $f \leq 40\text{kN/m}^2$ $t \leq 120\text{cm}$ 100 空m^3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[c1] = 1.000 クレーン賃料補正						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 64 号 施工単価表 】						
パイプサポート支保(小規模) $f \leq 40\text{kN/m}^2$ $t \leq 120\text{cm}$						
10 空m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
型わく工		人			定:1	
とび工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		人			定:1	
労務費及び機械賃料の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 支保工法 パイプサポート支保			[C] = 2 総設置数量 $V \leq 40\text{空m}^3$			
[B] = 1 支保耐力 $f \leq 40\text{kN/m}^2$			[c1] = 1.000 クレーン賃料補正			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 65 号 A代価表 】 側壁工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
側壁躯体工	1	式			第 66 号	
仮設工	1	式			第 75 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 66 号 A代価表 】 側壁躯体工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工	1	式			第 67 号	
型枠工	1	式			第 68 号	
コンクリート工	1	式			第 71 号	
レイトンス研り	25	m2			第 59 号	
木コン跡処理工	345	箇所			第 74 号	
表面仕上げ	249	m2			第 60 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 67 号 A代価表 】						
鉄筋工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D13mm	3.1	t			第 23 号	
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D16～25mm	1	t			第 32 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 68 号 A代価表 】 型枠工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠（外側）	1	式			第 69 号	
型枠（外側）	1	式			第 70 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 69 号 A代価表 】 型枠（外側） 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	134	m2			第 28 号	
計						

日出町

【 第 70 号 A代価表 】 型枠（外側） 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	115	m2			第 28 号	
計						

【 第 71 号 A代価表 】 コンクリート工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
膨張コンクリート	14	m3			第 72 号	
コンクリート ｺﾝｸﾘｰﾄポンﾌﾞ車打設 無筋・鉄筋構造物 生ｺﾝｸﾘｰﾄ各種 一般養生	25	m3			第 73 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 72 号 単価表 】						
膨張コンクリート						
1 m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 生コンクリート各種 一般養生	1	m3			第 73 号	
膨張性混和剤 20kg/m3	20	kg				
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 73 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 生コンクリート各種 (, 一般養生)								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m3/h								
その他(機械)								
【労務】								
普通作業員								
土木一般世話役								
特殊作業員								
運転手(特殊)								
その他(労務)								
【材料】								
生コンクリート 早強セメント 36-12-25(20) 水セメント比55%以下対応品								
軽油 パトロール給油								

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 74 号 単価表 】						
木コン跡処理工						
100 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 75 号 A代価表 】 仮設工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
手摺先行型枠組足場 安全ネット必要	268	掛m2			第 34 号	
登り桟橋工 設置・撤去・損料	11	m			第 35 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 76 号 A代価表 】						
PC工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
PC横締め工	1	式			第 77 号	
PC縦締め工	1	式			第 89 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 77 号 A代価表 】 PC横締め工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
横締め工	1	式			第 78 号	
緊張工	1	式			第 81 号	
機械器具損料	1	式			第 84 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 78 号 A代価表 】						
横締め工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
横締め工 1S15.2B	0.3	t			第 79 号	
横締め工 1S19.3	0.24	t			第 80 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 79 号 単価表 】						
横締め工 1S15. 2B						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
PC鋼材 1S15. 2B	1. 06	t			定:1	
PC切断加工 1S15. 2B	1, 060	kg			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 80 号 単価表 】						
横締め工 1S19.3						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
PC鋼材 1S19.3	1.06	t			定:1	
PC切断加工 1S19.3	1,060	kg			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 81 号 A代価表 】 緊張工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張工 1S15.2B	48	箇所			第 82 号	
緊張工 1S19.3	20	箇所			第 83 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 82 号 単価表 】						
緊張工 1S15.2B						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
定着装置 1S15.2B	1	組			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 83 号 単価表 】						
緊張工 1S19.3						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
定着装置 1S19.3	1	組				
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 84 号 A代価表 】 機械器具損料						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
機械器具損料 1S15.2B	1	式			第 85 号	
機械器具損料 1S19.3	1	式			第 87 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 85 号 A代価表 】 機械器具損料 1S15.2B 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張ジャッキ	4	組・日			第 86 号 定:1	
グラウトミキサー 1,000rpm 100ℓ	9	日			定:1	
グラウト注入機 スクイーズ式・インバータ付	9	日			定:1	
グラウト流量計 流量0～30ℓ/min 圧力0～3Mpa	9	日			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						

日出町

【 第 86 号 単価表 】 緊張ジャッキ 1 組・日 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張ジャッキポンプ 450kN型まで	9	組・日				
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 87 号 A代価表 】 機械器具損料 1S19.3 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張ジャッキ	4	組・日			第 88 号 定:1	
グラウトミキサー 1,000rpm 100ℓ	8	日			定:1	
グラウト注入機 スクイーズ式・インバータ付	8	日			定:1	
グラウト流量計 流量0～30ℓmin 圧力0～3Mpa	8	日			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						

日出町

【 第 88 号 単価表 】						
緊張ジャッキ						
1 組・日 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張ジャッキポンプ 450kN型まで	8	組・日				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 89 号 A代価表 】 PC縦締め工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
縦締め工 1B17B1	1	式			第 90 号	
緊張工	1	式			第 94 号	
固定工	1	式			第 96 号	
継手工	1	式			第 98 号	
機械器具損料	1	式			第 100 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 90 号 A代価表 】						
縦締め工 1B17B1						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
縦締め工 1～3m	0.1	t			第 91 号	
縦締め工 3～4m	0.1	t			第 92 号	
縦締め工 4～5m	0.1	t			第 93 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 91 号 単価表 】 縦締め工 1～3m 1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
PC鋼棒 B種1号 φ 17 (1～3m未満)	1.06	t			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 92 号 単価表 】						
縦締め工 3～4m						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
PC鋼棒 B種1号 φ 17 (3～4m未満)	1.06	t			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 93 号 単価表 】						
縦締め工 4～5m						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
PC鋼棒 B種1号 φ 17 (4～5m未満)	1.06	t			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 94 号 A代価表 】 緊張工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張工	32	箇所			第 95 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 95 号 単価表 】						
緊張工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
定着装置 φ17	1	組			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 96 号 A代価表 】 固定工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
PCケーブル固定（縦締め） φ17	32	箇所			第 97 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 97 号 単価表 】						
PCケーブル固定（縦締め） φ17					1 箇所 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
固定装置（埋込用） φ17	1	組			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 99 号 単価表 】						
継手工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人				
橋りょう特殊工		人				
普通作業員		人				
PC接続具 φ17 可動用	1	組			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 100 号 A代価表 】 機械器具損料 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張ジャッキポンプ	2	組・日			第 101 号 定:1	
グラウトミキサー 1,000rpm 100ℓ	9	日			定:1	
グラウト注入機 スクイーズ式・インバータ付	9	日			定:1	
グラウト流量計 流量0～30ℓmin 圧力0～3Mpa	9	日			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						

日出町

【 第 101 号 単価表 】						
緊張ジャッキポンプ						
1 組・日 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
緊張ジャッキポンプ バーシステム φ17	9	日				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 102 号 A代価表 】 屋根歩廊工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
エアドーム工法	1	式			第 103 号	
屋根工	1	式			第 109 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 103 号 A代価表 】 エアドーム工法						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
膜材製作工	1	式			第 104 号	
膜材支承工	1	式			第 105 号	
膜材取付工	1	式			第 106 号	
モルタル工事	1	式			第 107 号	
エアコントロールシステム	1	式			第 108 号	
計						

日出町

【 第 104 号 A代価表 】 膜材製作工1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
塗膜作成	1	式				
計						

【 第 105 号 A代価表 】 膜材支承工1式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
膜材支承工事						
	1	式				
計						

【 第 106 号 A代価表 】 膜材取付工1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
膜材取付工事						
	1	式				
計						

【 第 107 号 A代価表 】 モルタル工事						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
モルタル工事						
	1	式				
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 108 号 A代価表 】 エアコントロールシステム 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
エアコントロールシステム						
計	1	式				

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 109 号 A代価表 】						
屋根工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋	1	式			第 110 号	
型枠	1	式			第 112 号	
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20) (普通) 一般養生	17	m3			第 33 号	
金ゴテ仕上 3回仕上	64	m2			第 58 号	
表面仕上げ	47	m2			第 60 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 110 号 A代価表 】 鉄筋						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物) 太径10%未満(補正なし) SD345 D13mm	1.4	t			第 23 号	
鉄筋網工 D6×100×100mm	17	m2			第 111 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 111 号 単価表 】 鉄筋網工 D6×100×100mm 100 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
鉄筋工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
鉄筋金網 D6×100×100mm	130	m2			定:1	
諸雑費		%			参:1	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 112 号 A代価表 】 型枠						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠（歩道部）	1	式			第 113 号	
型枠（屋根開口部）	1	式			第 114 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 113 号 A代価表 】 型枠（歩道部） 1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(円形型枠)	35	m2			第 28 号	
計						

日出町

【 第 114 号 A代価表 】 型枠（屋根開口部） 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	12	m2			第 115 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 115 号 施工パッケージ 】 型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物 1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】							
型わく工							
普通作業員							
土木一般世話役							
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 1	構造物の種類 鉄筋・無筋構造物			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 116 号 A代価表 】 塗装工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
外面塗装	1	式			第 117 号	
内面塗装	1	式			第 120 号	
結露防止工	1	式			第 122 号	
仮設工	1	式			第 124 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 117 号 A代価表 】 外面塗装						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
外面塗装工	502	m2			第 118 号	
屋根防水工	68	m2			第 119 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 118 号 単価表 】 外面塗装工 1 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
外面塗装工 複層仕上塗材RE(JISA6909適合品)	1	m2				
計						
単位当たり						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 119 号 単価表 】						
屋根防水工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
屋根防水工 複合塗膜防水 (JIS6021 準拠品 軽歩行)	1	m2				
計						
単位当たり						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 120 号 A代価表 】 内面塗装						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
内面防蝕塗装工 ポリウレタン樹脂(JWWA K-143適合品)	1	式			第 121 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 121 号 A代価表 】 内面防蝕塗装工 ポリウレタン樹脂 (JWWA K-143適合品) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
内面防蝕塗装工(屋根部開口立ち上がり内面) ポリウレタン樹脂(JWWA K-143適合品)	6	m2				
内面防蝕塗装工(側壁) ポリウレタン樹脂(JWWA K-143適合品)	115	m2				
内面防蝕塗装工(水底版) ポリウレタン樹脂(JWWA K-143適合品)	37	m2				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 122 号 A代価表 】 結露防止工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
結露防止塗装工 硬質ウレタンフォーム	38	m2			第 123 号	
計						

日出町

【 第 123 号 単価表 】						
結露防止塗装工 硬質ウレタンフォーム						
1 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
硬質ウレタンフォーム t=25mm	1	m2				
計						
単位当たり						

【 第 124 号 A代価表 】

仮設工

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
足場組替え工					第 125 号	
	29	m2				
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 125 号 単価表 】						
足場組替え工						
100 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
ラフテレンスカーン[排対型:1次基準] [油圧伸縮ｼﾌﾞ型]25t吊		供用日				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 126 号 A代価表 】 付帯設備工事							1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
昇降設備設置工	1	式			第 127 号		
人孔蓋設置工	1	式			第 132 号		
換気設備設置工	1	式			第 135 号		
防護柵設置工事	1	式			第 139 号		
排水施設設置工	1	式			第 141 号		
水位計設置工	1	式			第 145 号		
避雷設備設置	1	式			第 151 号		
窓扉設置工	1	式			第 153 号		
水張試験	1	式			第 156 号		

日出町

【 第 126 号 A代価表 】 付帯設備工事						
(続 き)						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 127 号 A代価表 】 昇降設備設置工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
内部梯子設置工 FRP 直梯子・背かご付	1	基			第 128 号	
内部階段および手摺設置工 SUS304 H=1.491m	1	式			第 129 号	
外部螺旋階段 SUS304	1	基			第 130 号	
手掛金物設置工 SUS304 H=1.0m	1	基			第 131 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 128 号 A代価表 】						
内部梯子設置工 FRP 直梯子・背かご付						1 基 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
内部梯子設置工 FRP 直梯子・背かご付	1	式				
取付費	1	式				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 129 号 A代価表 】 内部階段および手摺設置工 SUS304 H=1.491m 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鋼製内部階段 SUS304 H=1.491m	1	式				
踊り場手摺	1	式				
取付費 諸経費含む	1	式				共× 現× 一×
運搬費	1	式				
計						

日出町

【 第 130 号 A代価表 】 外部螺旋階段 SUS304						
1 基 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
外部螺旋階段	1	式				
取付費	1	式				
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 131 号 A代価表 】						
手掛金物設置工 SUS304 H=1.0m						1 基 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
手掛金物設置工 SUS304 H=1.0m	1	基				
取付工事費	1	基				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 132 号 A代価表 】 人孔蓋設置工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
人孔蓋設置工	1	基			第 133 号	
搬出入蓋設置	1	基			第 134 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 133 号 A代価表 】						
人孔蓋設置工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
人孔蓋設置工 開口800×800	1	式				
取付費	1	式				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 134 号 A代価表 】 搬出入蓋設置						
1 基 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
搬出入孔蓋設置工 開口1300×1300	1	式				
取付費	1	式				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 135 号 A代価表 】 換気設備設置工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
通気塔設置	1	基			第 136 号	
換気扇設置	2	基			第 137 号	
ガラリ設置	2	基			第 138 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 136 号 A代価表 】 通気塔設置						
1 基 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
通気孔設置工 FRP 開口320×320	1	式				
取付費	1	式				
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 137 号 単価表 】						
換気扇設置						
1 基 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
換気扇設置工 SUS304 開口300×300	1	箇所				
取付費	1	箇所				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 138 号 単価表 】						
ガラリ設置						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ガラリ設置工 アルミ製 開口300×300	1	個				
取付費	1	個				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 139 号 A代価表 】 防護柵設置工事 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
歩廊防護柵設置工 SUS304 H=1.10m	1	基			第 140 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 140 号 A代価表 】						
歩廊防護柵設置工 SUS304 H=1.10m						1 基 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
歩廊防護柵設置工 SUS304	1	式				
取付工	1	式				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 141 号 A代価表 】 排水施設設置工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
雨樋設置工 VP100	4	組			第 142 号	
計						

日出町

【 第 142 号 単価表 】						
雨樋設置工 VP100					1 組 当 り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ルーフドレイン SUS304	1	個			第 143 号	
硬質塩化ビニル管 φ 100 L=4,000	5	本				
水道用塩ビ管 T S 継手 (エルボ) φ 1 0 0 mm	1	個				
水道用塩ビ管 T S 継手 (ソケット) φ 1 0 0 mm	1	個				
振止金具 SUS304	19	個				
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径100mm	19	m			第 50 号	
硬質塩化ビニル管 T S 継手工 呼び径100mm	10	口			第 144 号	
振止金具設置工	19	箇所				
計						

【 第 142 号 単価表 】 雨樋設置工 VP100						
(続 き)						
1 組 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
単位当たり						

【 第 143 号 A代価表 】 ルーフドレイン SUS304 1 個 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ルーフドレイン SUS	1	個				
取付工	1	個				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 144 号 施工単価表 】						
硬質塩化ビニル管 T S 継手工 呼び径100mm					2 口 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 9 呼び径区分 呼び径100mm		[B] = 1.000		歩掛補正係数	必要時以外1.0	

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 145 号 A代価表 】 水位計設置工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
防波管設置 VP-150 VP-50	1	組			第 146 号	
計						

日出町

【 第 146 号 A代価表 】						
防波管設置 VP-150 VP-50						
1 組 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
硬質ポリ塩化ビニル有孔管 VP有孔管 φ150mm	2	本				
硬質ポリ塩化ビニル有孔管 VP有孔管 φ50mm	2	本				
振止金具 FRP	4	個				
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径150mm	5.3	m			第 147 号	
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径50mm	5.3	m			第 148 号	
硬質塩化ビニル管 T S 継手工 呼び径150mm	1	口			第 149 号	
硬質塩化ビニル管 T S 継手工 呼び径50mm	1	口			第 150 号	
振止金具設置 FRP	4	箇所				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 147 号 施工単価表 】						
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径150mm						
10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 硬質塩化管据付工 [B] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[A] = 11 呼び径区分 呼び径150mm			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 148 号 施工単価表 】						
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径50mm					10	m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 硬質塩化管据付工 [B] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[A] = 7 呼び径区分 呼び径50mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 149 号 施工単価表 】						
硬質塩化ビニル管 T S 継手工 呼び径150mm					2 口 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 11 呼び径区分 呼び径150mm		[B] = 1.000		歩掛補正係数	必要時以外1.0	

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 150 号 施工単価表 】						
硬質塩化ビニル管 T S 継手工 呼び径50mm					2 口 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 7 呼び径区分 呼び径50mm		[B] = 1.000		歩掛補正係数	必要時以外1.0	

日出町

【 第 151 号 A代価表 】 避雷設備設置						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
避雷設備設置工 JIS規格 H=3.4m 支持管SUS304	1	基			第 152 号	
計						

【 第 152 号 A代価表 】 避雷設備設置工 JIS規格 H=3.4m 支持管SUS304 1 基 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
避雷設備設置工(材料) SUS304 JIS規格	1	式				
避雷設備設置工(労務)	1					
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 153 号 A代価表 】 窓扉設置工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
採光窓設置	4	基			第 154 号	
出入口扉設置	1	基			第 155 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年 度 三 尺 山 高 架 水 槽 築 造 工 事

【 第 154 号 単価表 】						
採光窓設置						
1 基 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
採光窓設置工 アルミ製 開口500×500	1	箇所				
取付工	1	箇所				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 155 号 A代価表 】						
出入口扉設置						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
フラッシュドア設置工 SUS304 開口900×2100	1	箇所				
取付工	1	箇所				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 156 号 A代価表 】 水張試験						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
水張管理費	1	式			第 157 号	
清掃費	1	式			第 158 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 157 号 A代価表 】 水張管理費						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
橋りょう世話役		人			定:1	
橋りょう特殊工		人			定:1	
報告書		%			参:1	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 158 号 A代価表 】						
清掃費						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 159 号 A代価表 】 場内整備工事						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
場内整備土工	1	式			第 160 号	
擁壁工	1	式			第 164 号	
配水構造物工	1	式			第 187 号	
縁石工	1	式			第 196 号	
舗装工	1	式			第 198 号	
外柵工	1	式			第 209 号	
道路付帯工	1	式			第 217 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 160 号 A代価表 】 場内整備土工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
路床盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	640	m3			第 161 号	
路床盛土 2.5m未満	64	m3			第 162 号	
法面整形 盛土部 ㍻質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め有り 現場制約無し	90	m2			第 163 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 161 号 施工パッケージ 】 路床盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し 1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
ブルドーザー賃料 湿地7t級							
振動ローラ賃料 土工用フラット・シングルドラム型 11～12t							
【労務】							
運転手(特殊)							
普通作業員							
【材料】							
軽油 パトロール給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3 施工幅員 4.0m以上 [J3] = 1 障害の有無 障害無し			[J2] = 1	施工数量 20,000m3未満			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 162 号 施工パッケージ 】 路床盛土 2.5m未満 1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
振動ローラ賃料 ハンドガイト式 0.8～1.1t							
【労務】							
普通作業員							
特殊作業員							
【材料】							
軽油 ハンドロール給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 施工幅員 2.5m未満							

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 163 号 施工パッケージ 】								1	m2 当り
法面整形 盛土部 ㇿ質土、砂及び砂質土、粘性土 (法面締固め有り , 現場制約無し)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級									
【労務】									
普通作業員									
運転手(特殊)									
土木一般世話役									
【材料】									
軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 整形箇所 盛土部			[J2] = 1	法面締固めの有無	法面締固め有り				
[J3] = 2 現場制約の有無 現場制約無し [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 1	土質 ㇿ質土、砂及び砂質土、粘性土					

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 164 号 A代価表 】 擁壁工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
作業土工	1	式			第 165 号	
プレキャスト擁壁工 L型擁壁	1	式			第 168 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 165 号 A代価表 】 作業土工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
床掘り 土砂 標準 土留無し 障害無し	410	m3			第 166 号	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	420	m3			第 167 号	
基面整正	120	m2			第 11 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 166 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
床掘り 土砂 標準									
(土留無し 障害無し ,)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級									
【労務】									
運転手(特殊)									
【材料】									
軽油 ハ° トロール給油									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 1	施工方法 標準					
[J3] = 1 土留方式の種類 無し [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 1	障害の有無 障害無し					

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 167 号 施工パッケージ 】							
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級							
振動ローラ賃料 ハンドガイ式 0.5～0.6t							
タンパ(ランマ)賃料 ランマ 重量60～80kg							
【労務】							
普通作業員							
特殊作業員							
運転手(特殊)							
【材料】							
軽油 バトロール給油							
ガソリン レキユー(スタント渡し)							
【端数調整】							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 167 号 施工パッケージ 】 (続 き)

埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満

1 m3 当り

[illegible]

日出町

【 第 168 号 A代価表 】						
プレキャスト擁壁工 L型擁壁						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
プレキャスト擁壁設置 0.5m以上1.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	24	m			第 169 号	
プレキャスト擁壁設置 0.5m以上1.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	4	m			第 170 号	
プレキャスト擁壁設置 0.5m以上1.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	6	m			第 171 号	
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	8	m			第 172 号	
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	6	m			第 173 号	
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	2	m			第 174 号	
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	2	m			第 175 号	
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	4	m			第 176 号	
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	1	m			第 177 号	

【 第 168 号 A代価表 】 (続 き)						
プレキャスト擁壁工 L型擁壁						1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	2	m			第 178 号	
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	14	m			第 179 号	
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	2	m			第 180 号	
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	3	m			第 181 号	
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	8	m			第 182 号	
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り	2	m			第 183 号	
鉄筋工 SD295 D13	0.003	t			第 184 号	
樹脂アンカー D13用(R-12N 13×83) 削孔φ16×100	10	本				
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	0.1	m3			第 185 号	

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 168 号 A代価表 】 (続 き) プレキャスト擁壁工 L型擁壁 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
型枠 一般型枠 小型構造物	1	m2			第 186 号	
連結金具 M16	9	セット				
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第169号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 0.5m以上1.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 800×2000mm							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第170号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 0.5m以上1.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) H-800 1000<L<2000							
軽油 バトロール給油							

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 170 号 施工パッケージ 】 (続 き)

プレキャスト擁壁設置 0.5m以上1.0m以下

1 m 当り

(基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第171号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 0.5m以上1.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 1000×2000mm							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第172号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 1200×2000mm							
軽油 バトロール給油							

【 第 172 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 1 m 当り (基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 プレキャスト擁壁高さ 1.0mを超え2.0m以下 [J3] = 1 均しコンクリートの有無 有り			[J2] = 1	基礎碎石の有無 有り			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第173号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 1400×2000mm							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 173 号 施工パッケージ 】 (続 き)

プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下

1 m 当り

(基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第174号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 1600×2000mm							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 174 号 施工パッケージ 】 (続 き)

プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下

1 m 当り

(基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第175号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 1800×2000mm							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 175 号 施工パッケージ 】 (続 き)

プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下

1 m 当り

(基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第176号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 2000×2000mm							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第177号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) H=2000 L=1000							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 177 号 施工パッケージ 】 (続 き)

プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下

1 m 当り

(基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)

[illegible]

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 178 号 施工パッケージ 】 プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) H-2000 1000<L<2000							
軽油 バトロール給油							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 178 号 施工パッケージ 】 (続 き)

プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下

1 m 当り

(基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)

[illegible]

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 179 号 施工パッケージ 】							
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジャブ型 25t吊 オペレータ 燃料 油脂費含む その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 2200×2000mm							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3 プレキャスト擁壁高さ 2.0mを超え3.5m以下			[J2] = 1	基礎砕石の有無	有り		

日出町

【 第 179 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)						1 m 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
[J3] = 1 均しコンクリートの有無 有り			[c1] = 1.000	クレーン賃料補正			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 180 号 施工パッケージ 】							
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)						1 m 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジブ型 25t吊 オペレータ 燃料 油脂費含む その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) H=2200 L=1000							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3 プレキャスト擁壁高さ 2.0mを超え3.5m以下			[J2] = 1	基礎碎石の有無	有り		

日出町

【 第 180 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)						1 m 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
[J3] = 1 均しコンクリートの有無 有り			[c1] = 1.000	クレーン賃料補正			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第181号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎碎石有り , 均しコンクリート有り)								1 m 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジブ型 25t吊 オペレータ 燃料 油脂費含む								
その他(機械)								
【労務】								
普通作業員								
土木一般世話役								
特殊作業員								
その他(労務)								
【材料】								
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) H-2200 1000<L<2000								
【端数調整】								
[条件] [J1] = 3 プレキャスト擁壁高さ 2.0mを超え3.5m以下			[J2] = 1	基礎碎石の有無	有り			

日出町

【 第 181 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)						1 m 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
[J3] = 1 均しコンクリートの有無 有り			[c1] = 1.000	クレーン賃料補正			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第182号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)								1 m 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジャブ型 25t吊 オペレータ 燃料 油脂費含む								
その他(機械)								
【労務】								
普通作業員								
土木一般世話役								
特殊作業員								
その他(労務)								
【材料】								
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 2400×2000mm								
【端数調整】								
[条件] [J1] = 3 プレキャスト擁壁高さ 2.0mを超え3.5m以下			[J2] = 1	基礎砕石の有無	有り			

日出町

【 第 182 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)						1 m 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
[J3] = 1 均しコンクリートの有無 有り			[c1] = 1.000	クレーン賃料補正			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第183号 施工パッケージ】 プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジャブ型 25t吊 オペレータ 燃料 油脂費含む							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
土木一般世話役							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
L型擁壁(25t荷重) 道路用(通常品) 2600×2000mm							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3 プレキャスト擁壁高さ 2.0mを超え3.5m以下			[J2] = 1	基礎砕石の有無	有り		

日出町

【 第 183 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下 (基礎砕石有り , 均しコンクリート有り)						1 m 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
[J3] = 1 均しコンクリートの有無 有り			[c1] = 1.000		クレーン賃料補正		

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 184 号 施工単価表 】						
鉄筋工 SD295 D13					1 t 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
鉄筋工		人			定:1	
とび工		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
異形棒鋼 SD295 D13mm JIS G 3112	1.05	t			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費、材料費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 鉄筋規格 SD295 D13						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 185 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20) (高炉)									
(, 一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】									
普通作業員									
特殊作業員									
土木一般世話役									
その他(労務)									
【材料】									
生コンクリート 高炉セメントB種 24-12-25(20) 水セメント比55%以下対応品									
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 3	打設工法 人力打設					
[N1] = 23 コンクリート規格 24-12-25(20) (高炉)			[J5] = 2	養生工の種類 一般養生					
[J7] = 1 現場内小運搬の有無 有り			[JB] = 1	費用の内訳 全ての費用					
[N2] = 1 生コン小型車指定割増区分 小型車割増無し									

【 第 186 号 施工パッケージ 】 型枠 一般型枠 小型構造物								1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】									
型わく工									
普通作業員									
土木一般世話役									
その他(労務)									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2	構造物の種類 小型構造物					

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 187 号 A代価表 】 配水構造物工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
作業土工	1	式			第 188 号	
側溝工	1	式			第 191 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 188 号 A代価表 】						
作業土工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留無し 障害無し	10	m3			第 189 号	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	10	m3			第 190 号	
基面整正	10	m2			第 11 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 189 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 (土留無し 障害無し ,)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
後方超小旋回型バックホウ賃料 クロー型 山積0.45m3 (平積0.35m3)									
【労務】									
運転手 (特殊)									
【材料】									
軽油 ハトロール給油									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 2	施工方法 平均施工幅1m以上2m未満					
[J3] = 1 土留方式の種類 無し [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 1	障害の有無 障害無し					

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第190号 施工パッケージ】 埋戻し 最大埋戻幅1m未満								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・超低・排2014年] 標準バックホウ 山積0.45m3 [平積0.35m3]									
タンパ(ランマ) 賃料 ランマ 重量60～80kg									
【労務】									
普通作業員									
特殊作業員									
運転手(特殊)									
【材料】									
軽油 ハートル給油									
ガソリン レギュラー(スタント渡し)									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 4 施工方法 最大埋戻幅1m未満			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用					

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 191 号 A代価表 】						
側溝工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け L=2000mm 1000kg/個以下 昼間 時間制約無 基礎碎石施工有	3	m			第 192 号	
U型側溝据付け 240(240×240×600mm) 昼間 時間制約無 基礎碎石施工有	33	m			第 193 号	
蓋版据付け コンクリート鋼製 40kg/枚以下 昼間 時間制約無	6	枚			第 194 号	
プレキャスト集水枡 落蓋式特殊U形側溝用 250AM 普通クレーニング付 参考質量272kg/個	3	個				
プレキャスト集水枡 据付 200kgを超え400kg以下 基礎碎石有り	3	基			第 195 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 192 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け L=2000mm 1000kg/個以下 (昼間 時間制約無 , 基礎碎石施工有)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
排水構造物工 U型側溝 L2000 昼間施工 1000kg以下 時間的制約なし 据付け 手間のみ	10	m				
鉄筋コンクリート落蓋式特殊U形側溝(25t荷重) 2型250 250×250×2000 (0TU)	5	個				
再生クラッシャーラン RC-40	6.12	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 作業区分 据付け [C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無 [E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下 [G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無 [I] = 3 基礎碎石の種類 再生クラッシャーラン RC-40 [K] = 5.000 個 側溝設計数量			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し [D] = 18 U型側溝種類 側溝 各種 [F] = 3 時間的制約の有無 時間制約無 [H] = 1 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工有 [J] = 5.100 m3 基礎碎石設計数量			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 193 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け 240(240×240×600mm)						
(昼間 時間制約無 ,基礎碎石施工有)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
排水構造物工 U型側溝 L600 昼間施工 60kg/個以下 時間的制約なし 据付け 手間のみ	10	m				
鉄筋コンクリートU形側溝 240(240×240×600mm) 参考質量55kg/個 JISA 5372附5	17	個				
再生クラッシャーラン RC-40	0.528	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 3 U型側溝種類 240(240×240×600mm)			
[E] = 1 規格・仕様区分 L=600mm 60kg/個以下			[F] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			[H] = 1 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工有			
[I] = 3 基礎碎石の種類 再生クラッシャーラン RC-40			[J] = 0.440 m3 基礎碎石設計数量			
[K] = 17.000 個 側溝設計数量						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 194 号 施工単価表 】						
蓋版据付け コンクリート鋼製 40kg/枚以下 (昼間 時間制約無 ,)						
1 枚 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
排水構造物工 蓋版 Co・鋼製 昼間施工 40kg/枚以下 時間的制約なし 据付け 手間のみ	1	枚				
落蓋式側溝 蓋版 250 L=0.5m 車道用	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 作業区分 据付け [C] = 1 規格・仕様 コンクリート鋼製 40kg/枚以下 [E] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[B] = 23 蓋版の種類 各種 [D] = 3 時間的制約の有無 時間制約無 [F] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 195 号 施工パッケージ 】								1	基 当 り
プレキャスト集水桝 据付 200kgを超え400kg以下 (基礎砕石有り ,)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.28m3(平積0.2m3) 1.7t吊									
その他(機械)									
【労務】									
運転手(特殊)									
普通作業員									
土木一般世話役									
特殊作業員									
その他(労務)									
【材料】									
軽油 ハ° トロール給油									
その他(材料)									

【 第 195 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
プレキャスト集水樹 据付 200kgを超え400kg以下 (基礎碎石有り ,)						1 基 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 作業区分 据付			[J2] = 3	製品質量 (kg/基)	200kgを超え400kg以下		
[J3] = 1 基礎碎石の有無 有り			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 196 号 A代価表 】 緑石工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
地先境界ブロック 設置 C種 (150×150×600) 再生クラッシュ RC-40 均し基礎コンクリート不要	25	m			第 197 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 197 号 施工パッケージ 】								1	m 当り
地先境界ブロック 設置 C種(150×150×600)									
(再生クラッシャー RC-40 , 均し基礎コンクリート不要)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級									
【労務】									
普通作業員									
土木一般世話役									
特殊作業員									
運転手(特殊)									
その他(労務)									
【材料】									
地先境界ブロック C(150×150×600mm) 参考質量31kg/個 JISA 5371附4									
再生クラッシャーラン RC-40									
軽油 ハ° トロール給油									

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 197 号 施工パッケージ 】 (続 き)

地先境界ブロック 設置 C種(150×150×600)

1 m 当り

(再生クラッシュラン RC-40 , 均し基礎コンクリート不要)

[illegible]

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 198 号 A代価表 】 舗装工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
As舗装	1	式			第 199 号	
Co舗装	1	式			第 202 号	
張コンクリート工	1	式			第 207 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 199 号 A代価表 】						
As舗装						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 再生クラッシュ RC-40	762	m2			第 200 号	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 密粒度アスコン(20) 平均幅員3.0m超 フライムコート 締固密度2.35	762	m2			第 201 号	
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第200号 施工パッケージ】 下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 (再生クラッシャー RC-40 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
モータクレータ〔土工用・排対型2014年規制〕 プレート幅3.1m							
ロードローラ賃料 マダム 10～12t							
タイヤローラ賃料 13～14t							
その他(機械)							
【労務】							
運転手(特殊)							
普通作業員							
特殊作業員							
土木一般世話役							
その他(労務)							
【材料】							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第200号 施工パッケージ】 (続 き) 下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 (再生クラッシャー RC-40 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生クラッシャーラン RC-40							
軽油 ハートル給油							
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 150.000 mm 全仕上り厚			[J2] = 1	施工区分 1層施工			
[J3] = 6 材料 再生クラッシャー RC-40			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第201号 施工パッケージ】 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 密粒度アスコン(20) (平均幅員3.0m超 ,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 締固密度2.35)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
アスファルトフィニッシャ賃料 ホイール型 舗装幅2.3～6.0m							
タイヤローラ賃料 13～14t							
ロードローラ賃料 マカダム 10～12t							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
運転手(特殊)							
特殊作業員							
土木一般世話役							
その他(労務)							
【材料】							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第201号 施工パッケージ】 (続 き) 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 密粒度アスコン(20) (平均幅員3.0m超 , プライムコート 締固密度2.35)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
密粒度アスコン(20)							
アスファルト乳剤 浸透用 P・K3 4							
軽油 パトロール給油							
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 50.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 4	平均幅員 3.0m超			
[A1] = 1 材料 密粒度アスコン(20) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 3 [yA] = 1	瀝青材料種類 プライムコート PK-3 アスコン夜間単価区分 夜間単価無し			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 202 号 A代価表 】 Co舗装 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.1m 再生クラッシャーレン RC-40	1	m2			第 203 号	
コンクリート舗装 t=10cm	1	m2			第 205 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 203 号 施工単価表 】						
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.1m (再生クラッシャーラン RC-40 ,)						
	100	m2 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン RC-40	12.7	m3				
タンバ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 204 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 上層・下層路盤区分 下層路盤 [y1] = 3 路盤材区分 再生クラッシャーラン RC-40		[A] = 0.100 m	仕上り厚			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 204 号 施工単価表 】						
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg					1 日 当 り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
ガソリン レギュラー(スタッド渡し)		1				
タンパ(ランマ)賃料 ランマ 重量60～80kg		供用日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 タンパ 及びランマ規格 60～80kg						

日出町

【 第 205 号 単価表 】						
コンクリート舗装 t=10cm					1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 小型構造物 18-8-40(高炉) 一般養生	0.1	m3			第 206 号	
計						
単位当たり						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 206 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 小型構造物 18-8-40(高炉)									
(, 一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】									
普通作業員									
土木一般世話役									
特殊作業員									
その他(労務)									
【材料】									
生コンクリート 高炉セメントB種 18-8-40									
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 2 構造物種別 小型構造物			[J9] = 3	打設工法 人力打設					
[N1] = 29 コンクリート規格 18-8-40(高炉)			[J5] = 2	養生工の種類 一般養生					
[J7] = 1 現場内小運搬の有無 有り			[JB] = 1	費用の内訳 全ての費用					
[N2] = 1 生コン小型車指定割増区分 小型車割増無し									

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 207 号 A代価表 】 張コンクリート工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
張コンクリート t=10cm	16	m2			第 208 号	
基面整正	16	m2			第 11 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 208 号 単価表 】 張コンクリート t=10cm 1 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 小型構造物 18-8-40(高炉) 一般養生	0.1	m3			第 206 号	
計						
単位当たり						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 209 号 A代価表 】 外柵工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
外柵工	1	式			第 210 号	
外柵工 労務	1	式			第 213 号	
作業土工	1	式			第 216 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 210 号 A代価表 】 外柵工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
フェンス H=1500 (曲忍付)	127	m				
門扉 H1500×W4000 (直忍付)	1	基				
コンクリート基礎	1	式			第 211 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 211 号 A代価表 】						
コンクリート基礎						1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40(高炉) 一般養生	0.4	m3			第 212 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	3	m2			第 186 号	
基礎材 RC-40	0.7	m3				
計						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 212 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40 (高炉)									
(, 一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】									
普通作業員									
特殊作業員									
土木一般世話役									
その他 (労務)									
【材料】									
生コンクリート 高炉セメント B 種 18-8-40									
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 3	打設工法 人力打設					
[N1] = 29 コンクリート規格 18-8-40 (高炉)			[J5] = 2	養生工の種類 一般養生					
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1	費用の内訳 全ての費用					
[N2] = 1 生コン小型車指定割増区分 小型車割増無し									

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 213 号 A代価表 】 外柵工 労務						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
フェンス H=1500	127	m			第 214 号	
門扉 H=1500	1	組			第 215 号	
計						

日出町

【 第 214 号 単価表 】 フェンス H=1500 1 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						

【 第 215 号 単価表 】 門扉 H=1500 1 組 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 216 号 A代価表 】						
作業土工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留無し 障害無し	3	m3			第 189 号	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	5	m3			第 190 号	
基面整正	1	m2			第 11 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 217 号 A代価表 】 道路付帯工						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
作業土工	1	式			第 218 号	
側溝工	1	式			第 219 号	
縁石工	1	式			第 220 号	
As舗装工	1	式			第 222 号	
Co舗装工	1	式			第 227 号	
構造物取壊し工	1	式			第 228 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 218 号 A代価表 】 作業土工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留無し 障害無し	20	m3			第 189 号	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	4	m3			第 190 号	
基面整正	10	m2			第 11 号	
計						

日出町

【 第 219 号 A代価表 】						
側溝工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け L=2000mm 1000kg/個以下 昼間 時間制約無 基礎碎石施工有	20	m			第 192 号	
蓋版据付け コンクリート鋼製 40kg/枚以下 昼間 時間制約無	40	枚			第 194 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 220 号 A代価表 】 緑石工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
地先境界ブロック 設置 A種(120×120×600) 再生クラッシュ RC-40 均し基礎コンクリート不要	25	m			第 221 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 221 号 施工パッケージ 】								1	m 当り
地先境界ブロック 設置 A種(120×120×600)									
(再生クラッシャー RC-40 , 均し基礎コンクリート不要)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ(油圧式・クローラ型)賃料 山積0.8m3 (平積0.6m3)級									
【労務】									
普通作業員									
土木一般世話役									
特殊作業員									
運転手(特殊)									
その他(労務)									
【材料】									
地先境界ブロック A(120×120×600mm) 参考質量21kg/個 JISA 5371附4									
再生クラッシャーラン RC-40									
軽油 ハ° トロール給油									

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 221 号 施工パッケージ 】 (続 き)

地先境界ブロック 設置 A種(120×120×600)

1 m 当り

(再生クラッシュレン RC-40 , 均し基礎コンクリート不要)

[illegible]

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 222 号 A代価表 】						
As舗装工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 再生クラッシャー RC-40	37	m2			第 200 号	
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 粒度調整碎石 M-30	37	m2			第 223 号	
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚50mm 密粒度再生アスコン(20・13) t ≤ 50mm	37	m2			第 224 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第223号 施工パッケージ】 上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 (粒度調整砕石 M-30 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
モータクレータ〔土工用・排対型2014年規制〕 プレート幅3.1m							
ロードローラ賃料 マダム 10～12t							
タイヤローラ賃料 13～14t							
その他(機械)							
【労務】							
運転手(特殊)							
普通作業員							
特殊作業員							
土木一般世話役							
その他(労務)							
【材料】							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第223号 施工パッケージ】 (続 き) 上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 1 m2 当り (粒度調整碎石 M-30 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
粒度調整碎石 M-30							
軽油 ハートル給油							
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 10 材料 粒度調整碎石 M-30			[J4] = 150.000 mm	全仕上り厚			
[J5] = 1 施工区分 1層施工			[J7] = 1	費用の内訳 全ての費用			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 224 号 施工単価表 】						
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚50mm 密粒度再生アスコン(20・13)						
(t≦50mm ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
再生密粒度アスコン(20・13) アスファルト量5～7%	12.305	t				
振動ローラ運転 (舗装用)バッドガイト式0.5～0.6t		日			第 225 号 定:1	
振動コンパクタ運転(前進型) 40～60kg		日			第 226 号 定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務、損料、運転経費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 224 号 施工単価表 】 (続 き) アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚50mm 密粒度再生アスコン(20・13) (t≤50mm ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[条件] [B] = 1 1層当り仕上り厚 t≤50mm [C] = 1 歩車道区分 車道及び路肩 [E] = 3 瀝青材区分 瀝青材散布 無 [yA] = 1 夜間単価区分 夜間単価無し [H] = 1 砂散布の有無 砂散布 無			[A] = 50.000 mm 舗装厚 [D] = 2 瀝青材散布区分 瀝青材散布 無 [y1] = 6 アスファルト材料 密粒度再生アスコン(20・13) [G] = 2.300 t/m3 締固め後密度			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 225 号 施工単価表 】						
振動ローラ運転（舗装用）ハッド式0.5～0.6t						1 日 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
軽油 ハッド給油		1				
振動ローラ（舗装用）[ハッド式] 運転質量0.5～0.6t		供用日				
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 振動ローラ規格 ハッド式0.5～0.6t						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 226 号 施工単価表 】						
振動コンパクタ運転(前進型) 40～60kg					1 日 当 り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
ガソリン レギュラー(スタント渡し)		1				
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg		供用日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 振動コンパクタ規格 40～60kg						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 227 号 A代価表 】 Co舗装工 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.1m 再生クラッシャーレン RC-40	7	m2			第 203 号	
コンクリート舗装 t=10cm	7	m2			第 205 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 228 号 A代価表 】 構造物取壊し工 (,) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工 昼間 時間制約無 低騒音・低振動対策不要	0.2	m3			第 229 号	
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 昼間 時間制約無 低騒音・低振動対策不要	1	m3			第 230 号	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	48	m			第 231 号	
舗装版切断 コンクリート舗装版 15cm以下	15	m			第 232 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ 山積0.28m3	3	m2			第 233 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚10cm超え15cm以下 バックホウ クローラ 山積0.28m3	1	m2			第 235 号	
コンクリート塊(鉄筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2.5km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	0.2	m3			第 236 号	処
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2.5km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	2	m3			第 238 号	処
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2.5km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	3	m3			第 238 号	処

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 228 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
構造物取壊し工 (,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
産廃処分費 コンクリート殻 (有筋)	1	t				処
産廃処分費 Co殻	4	t				処
産廃処分費 As殻	8	t				処
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 229 号 施工単価表 】						
構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工 (昼間 時間制約無 , 低騒音・低振動対策不要)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
構造物とりこわし工 昼間施工 鉄筋構造物 機械施工 時間的制約なし 手間のみ	1	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 構造物区分 鉄筋構造物 [C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無 [E] = 2 低騒音・低振動対策 低騒音・低振動対策不要			[B] = 1 工法区分 機械施工 [D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 230 号 施工単価表 】						
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 (昼間 時間制約無 , 低騒音・低振動対策不要)						
	1	m3				
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
構造物とりこわし工 昼間施工 無筋構造物 機械施工 時間的制約なし 手間のみ	1	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 構造物区分 無筋構造物 [C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無 [E] = 2 低騒音・低振動対策 低騒音・低振動対策不要			[B] = 1 工法区分 機械施工 [D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 231 号 施工パッケージ 】 舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 1 m 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
コンクリートカッタ[ハキウム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 ブレード径φ56cm							
その他(機械)							
【労務】							
特殊作業員							
土木一般世話役							
普通作業員							
その他(労務)							
【材料】							
コンクリートカッター(ブレード) φ18インチ(45cm)							
ガソリン レキュー(スタント渡し)							
その他(材料)							

【 第 231 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 1 m 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版			[J2] = 1	アスファルト舗装版厚 15cm以下			
[J5] = 1 費用の内訳 全ての費用							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【第232号 施工パッケージ】 舗装版切断 コンクリート舗装版 15cm以下							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
コンクリートカッタ〔ハキューム式(超低騒音型)・湿式〕 切削深20cm級 ブレード径φ56cm							
その他(機械)							
【労務】							
特殊作業員							
土木一般世話役							
普通作業員							
その他(労務)							
【材料】							
コンクリートカッター(ブレード) φ18インチ(45cm)							
ガソリン レキューラー(スタント渡し)							
その他(材料)							

【 第 232 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
舗装版切断 コンクリート舗装版 15cm以下						1 m 当り	
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 2 舗装版種別 コンクリート舗装版			[J3] = 1	コンクリート舗装版厚 15cm以下			
[J5] = 1 費用の内訳 全ての費用							

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 233 号 施工単価表 】						
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 (バックホウ クローラ 山積0.28m3,)						
	100	m2 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 234 号	
諸 雑 費 (丸め)						
	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 舗装厚 舗装厚0cm超え10cm以下 [X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準			[B] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 234 号 施工単価表 】						
バックホウ運転 クロー型 山積0.28m3 (平積0.2)						
(排対型:2次基準 , 損料補正なし)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハトル給油		1				
バックホ(クロー型) [標準型・排対型:2次基準] 標準バケット 山積0.28m3 [平積0.2m3]		時間				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [A] = 1 バックホ規格 クロー型 山積0.28m3 (平積0.2) [X] = 3 バックホ規格区分 排対型:2次基準			[GH] = 1 岩石補正 損料補正なし			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 235 号 施工単価表 】						
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚10cm超え15cm以下 (バックホウ クローラ 山積0.28m3,)						
	100	m2 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 234 号	
諸 雑 費 (丸め)						
	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 舗装厚 舗装厚10cm超え15cm以下 [X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準			[B] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 236 号 施工単価表 】						
コンクリート塊(鉄筋)運搬費 タンブトラック4t積級 運搬距離2.5km (DID区間無し ,バックホウ クローラ 山積0.28m3) (						10 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 4t積級 タイヤ損耗状態 良好 損料補正なし		日			第 237 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 運搬機種・規格 タンブトラック4t積級 [C] = 1 DID区間の有無 DID区間無し [D] = 3 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3 [SB] = 2 処分費属性設定条件:ガイト参照 処分費・投棄料等に該当する			[B] = 2.500 km 片道運搬距離 [a] = 1 タイヤ損耗費 良好 [E] = 3 処理対象区分 Co塊(鉄筋)			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 237 号 施工単価表 】						
ダンプトラック運転 オノロード・ディーゼル 4t積級 (タイヤ損耗状態 良好 , 損料補正なし)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(一般)		人				
軽油 ハ・トル給油		1				
ダンプトラック[オノロード・ディーゼル] 4t積級		供用日				
タイヤ損耗費(供用1日当り) ダンプトラック 4t(良) 土木		供用日				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [A] = 2 ダンプトラック規格 4t積級 [GH] = 1 岩石補正 損料補正なし			[B] = 1	タイヤ損耗費 良好		

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 238 号 施工単価表 】						
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2.5km				10	m3 当り	
(DID区間無し ,バックホウ クローラ 山積0.28m3) (,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 4t積級 タイヤ損耗状態 良好 損料補正なし		日			第 237 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 運搬機種・規格 ダンプトラック4t積級 [C] = 1 DID区間の有無 DID区間無し [D] = 3 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3 [SB] = 2 処分費属性設定条件:ガイト参照 処分費・投棄料等に該当する			[B] = 2.500 km [a] = 1 片道運搬距離 [E] = 2 処理対象区分 As塊・Co塊(無筋)			

日出町

【 第 239 号 A代価表 】 場内配管工事							1 式 当り
(,)							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
資材費	1	式			第 240 号		
労務費	1	式			第 258 号		
土工	1	式			第 349 号		
付属施設	1	式			第 379 号		
舗装工	1	式			第 387 号		
計							

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 240 号 A代価表 】							1 式 当り
資材費							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
流入管(平原系) φ 250mm	1	式			第 241 号		
流入管(大神系) φ 200mm	1	式			第 244 号		
流出管 φ 200mm	1	式			第 247 号		
バイパス管 φ 200	1	式			第 250 号		
越流管 φ 100mm	1	式			第 252 号		
排泥管 φ 100mm	1	式			第 254 号		
越流・排泥管 φ 100	1	式			第 256 号		
計							

日出町

【 第 241 号 A代価表 】 流入管(平原系) φ250mm 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内	1	式			第 242 号	
場内	1	式			第 243 号	
計						

【 第 242 号 A代価表 】 高架水槽内							1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
ラップ口付F直管 (L=175、7.5 k F) φ 250Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=4, 219、7.5 k F) φ 250Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=5, 500、7.5 k F) φ 250Aナイロンコート鋼管	2	本				管	
2F直管 (L=1, 338、7.5 k F、スティフナー付) φ 250Aナイロンコート鋼管、WNフランジ	1	本				管	
2F直管 (L=1, 600、7.5 k F) φ 250Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
1F1割F直管 (L=629、7.5 k F、割フランジ) φ 250Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F90° ショート曲管 (260L×260L、7.5 k F) φ 250Aナイロンコート鋼管	1	基				管	
急閉式逆止弁 (垂直配管用、7.5kF) φ 250A FCD内外面粉体塗装	1	基				管	
ベローズ型伸縮可とう継手 (L=650、7.5kF) φ 250A SUS304	1	基				管	

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 242 号 A代価表 】 (続 き)						
高架水槽内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 250A SUS304 (パッキン、BN込)	9	組				
振止金具 タイプC	4	組				
振止金具 Dタイプ	2	組				
計						

日出町

【 第 243 号 A代価表 】						
場内						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
GX形ダクタイル鋳鉄管 (S種) φ 250、L=5. 0m	3	本				管
GX形ダクタイル鋳鉄管 (1種) φ 250、L=5. 0m	3	本				管
GX形二受T字管 φ 250× φ 250	1	個				管
GX形片受曲管90° φ 250	1	個				管
GX形片受曲管45° φ 250	1	個				管
GX形乙字管 φ 250 450H	3	個				
メカ型受口付きフランジ単管 (S リング付) φ 250	1	個				
GX形継輪 φ 250	1	個				管
特殊押輪 (GX) φ 250	2	個				管

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 243 号 A代価表 】 (続 き)						
場内			1 式 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
GX形両受メタルシート仕切弁 φ 250	1	基				管
ソフトシール仕切弁 φ 250	1	基				
ダクタイル鋳鉄製B型伸縮可とう管 (W) φ 250 GX×F h=200 タイロット付	1	個				管
GX切管用挿口リング GXDIP φ 250	5	個				管
ライナ GXDIP φ 250用	5	個				管
GX形接合材 φ 250	13	個				管
フランジ継手材 RF形 7. 5K φ 250A SUS304 (パッキン、BN込)	3	組				
鋳鉄管用不断水割T字管 F型 全周パッキン φ 250×φ 250 (7. 5kF)	1	基				
仕切弁BOX(S) H=940	1	式				

日出町

令和 8 ～ 1 0 年 度 三 尺 山 高 架 水 槽 築 造 工 事

【 第 243 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仕切弁BOX(S) H=490	1	式				
メカ型キャップ (Sリング付) φ 250	2	個				管
特殊割押輪 250	1	個				管
簡易不断水弁(鑄鉄管用) 全周パッキン φ 250	1	基				管
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 244 号 A代価表 】 流入管(大神系) φ 200mm 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内	1	式			第 245 号	
場内	1	式			第 246 号	
計						

日出町

【 第 245 号 A代価表 】 高架水槽内							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
ラップ口付F直管 (L=175、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=4, 219、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=5, 500、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	2	本				管	
2F直管 (L=1, 345、7.5 k F、スティフナー付) φ 200Aナイロンコート鋼管、WNフランジ	1	本				管	
2F直管 (L=1, 600、7.5 k F、スティフナー付) φ 200Aナイロンコート鋼管、WNフランジ	1	本				管	
1F1割F直管 (L=773、7.5 k F、割フランジ) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F90° ショート曲管 (210L×210L、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
急閉式逆止弁 (垂直配管用、7.5kF) φ 200A FCD内外面粉体塗装	1	基				管	
ベローズ型伸縮可とう継手 (L=600、7.5kF) φ 200A SUS304	1	基				管	

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 245 号 A代価表 】 (続 き)						
高架水槽内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 200A SUS304 (パッキン、BN込)	9	組				
振止金具 タイプA	4	組				
振止金具 タイプB	2	組				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 246 号 A代価表 】 場内							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
GX形ダクタイル鑄鉄管 (S種) φ 200、L=5000	13	本				管	
GX形ダクタイル鑄鉄管 (1種) φ 200、L=5000	4	本					
GX形二受T字管 φ 200× φ 200	1	個				管	
GX形片受曲管90° φ 200	3	個				管	
GX形片受曲管45° φ 200	2	個					
GX形片受曲管22° 1/2 φ 200	1	個					
GX形両受曲管22° 1/2 φ 200	1	個				管	
メカ型受口付きフランジ単管 (Sリング付) φ 200	1	個				管	
GX形継輪 φ 200	1	個				管	

日出町

【 第 246 号 A代価表 】 (続 き)						
場内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊押輪 (GX) φ 200	2	個				管
GX形両受メタルシート仕切弁 φ 200	1	基				管
ソフトシール仕切弁 φ 200	1	基				管
ダクタイル鋳鉄製B型伸縮可とう管 (W) φ 200 GX×F h=200 タイロット付	1	個				管
GX切管用挿口リング GXDIP φ 200	8	個				管
ライナ GXDIP φ 200用	9	個				管
GX形接合材 φ 200	16	個				管
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 200A SUS304 (パッキン、BN込)	3	組				
鋳鉄管用不断水割T字管 F型 全周パッキン φ 200×φ 200 (7.5kF)	1	基				管

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 246 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仕切弁BOX(S) H=990	1	式				
仕切弁BOX(S) H=490	1	式				
メカ型キャップ (S リング付) φ 200	2	基				管
特殊割押輪 200	1	個				管
簡易不断水弁(鋳鉄用) φ 200	1	個				管
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 247 号 A代価表 】						
流出管 φ200mm					1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内	1	式			第 248 号	
場内	1	式			第 249 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 248 号 A代価表 】 高架水槽内							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
ラップ口付F直管 (L=175、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=627、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=400、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=767、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=692、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=503、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=200、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=1,859、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=5,500、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	2	本				管	

日出町

【 第 248 号 A代価表 】 (続 き)						
高架水槽内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
2F直管 (L=1,500、スティフナー付) φ 200Aナイロンコート鋼管	2	本				管
1F1割F直管 (L=1749、7.5 k F、割フランジ) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管
3FT字管 (370L×230L、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	2	本				管
3F異径T字管 (370L×200L、7.5 k F) φ 200A× φ 80Aナイロンコート鋼管	1	本				管
2F90° 曲管 (310L×310L、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	3	本				管
伸縮可とう継手 (L=200、7.5 k F) φ 200Aナイロンコート鋼管	1	本				管
ベローズ型伸縮可とう継手 (L=600、7.5 k F) φ 200A SUS304	1	基				管
カムレバーロック式急速空気弁 (7.5 k F) φ 75 FCD 内外面粉体塗装	1	基				管
ボール式補修弁 (7.5 k F) φ 75 FCD 内外面粉体塗装	1	基				管

【 第 248 号 A代価表 】 (続 き)						
高架水槽内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
フランジ接合材 φ 75	2	組				管
メタルシート仕切弁 φ 200	1	基				管
手動バタフライ弁 φ 200 FCD 内外面粉体塗装	2	基				管
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 200A SUS304 (パッキン、BN込)	23	組				
振止金具 タイプA	4	組				
支持金具 タイプG	6	組				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 249 号 A代価表 】 場内							1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
GX形ダクタイル鋳鉄管 (S種) φ 200、L=5000	4	本				管	
GX形ダクタイル鋳鉄管 (1種) φ 200、L=5000	5	本					
GX形二受T字管 φ 200× φ 200	3	個				管	
GX形片受曲管90° φ 200	3	個				管	
GX形片受曲管22° 1/2 φ 200	1	個					
GX形両受曲管22° 1/2 φ 200	1	個				管	
メカ型受口付きフランジ単管 (Sリング付) φ 200	1	個				管	
GX形継輪 φ 200	2	個				管	
特殊押輪 (GX) φ 200	4	個				管	

日出町

【 第 249 号 A代価表 】 (続 き)						
場内			1 式 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
GX形両受メタルシート仕切弁 φ 200	3	基				管
ソフトシール仕切弁 φ 200	1	基				管
ダクタイル 鋳鉄製B型伸縮可とう管 (W) φ 200 GX×F h=200 タイロット付	1	個				管
GX切管用挿口リング GXDIP φ 200	14	個				管
ライナ GXDIP φ 200用	9	個				管
GX形接合材 φ 200	23	個				管
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 150A SUS304 (パッキン、BN込)	4	組				
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 200A SUS304 (パッキン、BN込)	5	組				
鋳鉄管用不断水割T字管 F型 全周パッキン φ 200×φ 200 (7.5kF)	1	基				管

【 第 249 号 A代価表 】 (続 き)						
場内			1 式 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
伸縮管 (7.5kF) φ 150A SUS304	1	基				
2F直管 (L=612、7.5 k F) φ 150Aナイロンコート鋼管	1	本				管
2Fレジューサー (7.5 k F) φ 200A×φ 150Aナイロンコート鋼管	2	本				管
1F直管 (L=1000、7.5 k F、GX挿し口加工) φ 200Aナイロンコート鋼管	2	本				管
仕切弁BOX(S) H=990	1	式				
仕切弁BOX(S) H=490	3	式				
ポリエチレン二層管 (1 種) φ 20	5	m				管
鋳鉄製サドル分水栓 (CA) φ 200×20	1	個				管
PEメーター用ソケット φ 20	3	個				管

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 249 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
PE金属おねじソケット φ 20×13P	1	個				管
PE用金属継手90° φ 20	6	個				管
青銅製ソフトシール仕切弁 φ 20	1	個				管
水栓柱 70mm角 H=900	1	個				管
自在水栓 φ 13	1	個				管
仕切弁BOX(SS) H=340	1	式				
計						

日出町

【 第 250 号 A代価表 】 パイパス管 φ 200 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
場内					第 251 号	
計	1	式				

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 251 号 A代価表 】 場内							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
GX形ダクティル鉄管 (S種) φ 200、L=5000	1	本				管	
GX形ダクティル鉄管 (1種) φ 200、L=5000	3	本					
GX形二受T字管 φ 200× φ 100	1	個				管	
GX形二受T字管 φ 200× φ 200	1	個				管	
GX形挿し受片落管 φ 250× φ 200	1	個				管	
GX形片受曲管90° φ 200	1	個				管	
GX形両受曲管22° 1/2 φ 200	2	個				管	
GX形継輪 φ 200	2	個				管	
特殊押輪 (GX) φ 200	4	個				管	

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 251 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
GX形両受メタルシート仕切弁 φ 200	3	基				管
GX切管用挿口リング GXDIP φ 200	16	個				管
ライナ GXDIP φ 200用	2	個				管
GX形接合材 φ 200	22	個				管
仕切弁BOX(S) H=490	3	式				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 252 号 A代価表 】						
越流管 φ100mm					1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内					第 253 号	
計	1	式				

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 253 号 A代価表 】 高架水槽内							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
ラップ口付F直管 (L=145、7.5 k F) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=4, 1999、7.5 k F) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=5, 500、7.5 k F) φ 100Aナイロンコート鋼管	2	本				管	
2F直管 (L=1, 395、スティフナー付) φ 100Aナイロンコート鋼管、WNフランジ	1	本				管	
2F直管 (L=1, 600、スティフナー付) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
1F1割F直管 (L1, 348、7.5 k F、割フランジ) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F90° ショート曲管 (160L×160L、7.5 k F) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
ベローズ型伸縮可とう継手 (L=500、7.5kF) φ 100A SUS304	1	基				管	
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 100A SUS304 (パッキン、BN込)	8	組				管	

日出町

【 第 253 号 A代価表 】 (続 き)						
高架水槽内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
振止金具 タイプE	4	組				
振止金具 タイプF	2	組				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 254 号 A代価表 】 排泥管 φ100mm 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内	1	式			第 255 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 255 号 A代価表 】 高架水槽内							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
2F直管 (L=5, 500、7. 5 k F) φ 100Aナイロンコート鋼管	2	本				管	
1F直管 (L=1350、7. 5 k F、スティフナー付) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F直管 (L=1, 506、スティフナー付) φ 100Aナイロンコート鋼管、WNフランジ	1	本				管	
1F1割F直管 (L1, 348、7. 5 k F、割フランジ) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
2F90° ショート曲管 (160L×160L、7. 5 k F) φ 100Aナイロンコート鋼管	1	本				管	
ベローズ型伸縮可とう継手 (L=500、7. 5kF) φ 100A SUS304	1	基				管	
フランジ継手材 RF形 7. 5K φ 100A SUS304 (パッキン、BN込)	6	組				管	
振止金具取付工 タイプE	4	箇所					
計							

日出町

【 第 256 号 A代価表 】 越流・排泥管 φ100 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
場内					第 257 号	
計	1	式				

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 257 号 A代価表 】 場内							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
水道配水用ポリエチレン管 片受 φ 100×5, 000	2	本				管	
水道配水用ポリエチレン管 Pエンド φ 100×5, 000	2	本				管	
EFチーズ (両受) φ 100	2	個				管	
EF片受ベンド90° φ 100	1	個				管	
EF両受ベンド90° φ 100	2	個				管	
EF片受ベンド45° φ 100	3	個				管	
EF両受ベンド45° φ 100	6	個				管	
EFソケット φ 100	5	個				管	
PE挿し口付ソフトシール仕切弁 φ 100	2	個				管	

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 257 号 A代価表 】 (続 き)						
場内			1 式 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
メカ型ジョイント(Sリング付き) φ 100 (EF×V)	1	個				管
PE挿し口付変換継手 (EF×GX) φ 100	1	個				管
EFフランジ (挿し口) φ 100	2	個				管
フランジ継手材 RF形 7.5K φ 100A SUS304 (パッキン、BN込)	2	組				管
ビニールライニング鋼管 φ 100A	1	本				管
コートエルボ φ 100A	4	個				管
排水用防虫網 φ 100	1	個				
仕切弁BOX(S) H=490	2	式				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 258 号 A代価表 】 労務費						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
流入管(平原系) φ 250	1	式			第 259 号	
流入管(大神系) φ 200	1	式			第 290 号	
流出管 φ 200	1	式			第 310 号	
バイパス管 φ 200	1	式			第 325 号	
越流管 φ 100	1	式			第 327 号	
排泥管 φ 100	1	式			第 331 号	
越流・排泥管 φ 100	1	式			第 333 号	
計						

日出町

【 第 259 号 A代価表 】 流入管(平原系) φ 250 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内	1	式			第 260 号	
場内	1	式			第 265 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 260 号 A代価表 】 高架水槽内						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径250mm 標準延長5.5m バックホウ(クレーン仕様)使用	21	m			第 261 号	
フランジ継手 呼び径250mm 鋼管:F12	9	口			第 263 号	
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径250mm バックホウ(クレーン仕様)使用	1	基			第 264 号	
振止金具取付工 タイプC	4	箇所				
振止金具取付工 タイプD	2	箇所				
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 261 号 施工単価表 】						
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径250mm 標準延長5.5m (ハック杓(クレーン仕様)使用 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 6 呼び径 標準延長区分 呼び径250mm 標準延長5.5m [C] = 3 クレーン使用区分 ハック杓(クレーン仕様)使用			[B] = 1 呼び厚さ区分 A種 [F] = 1 ハック杓規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)			
[X] = 1 ハック杓規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			[D] = 1.000 歩掛補正係数		必要時以外1.0	

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 262 号 施工単価表 】 バックホウ運転(クレーン機能付) クロー型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 (排対型:1次基準 , 損料補正なし)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハートル給油		1				
バックホウ(クロー) [標準・クレーン機能付・排対型:1次] 標準バケット 山0.45m3[平0.35m3]2.9t吊		時間				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [A] = 1 バックホウ規格 クロー型 山積0.45m3(平積0.35) [X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準			[GH] = 1 岩石補正 損料補正なし			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 263 号 施工単価表 】						
フランジ継手 呼び径250mm (鋼管:F12 ,)				1 口 当 り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 7 呼び径区分 呼び径250mm [D] = 3 耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし			[B] = 3 規格区分 鋼管:F12 [C] = 2 ボルト計上区分 ボルト計上しない			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 264 号 施工単価表 】						
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径250mm (バックホウ(クレーン仕様)使用 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件]						
[G] = 1 作業区分 設置 [B] = 1 形状区分 縦型			[A] = 5 呼び径区分 呼び径250mm [C] = 3 クレーン使用区分 バックホウ(クレーン仕様)使用			
[F] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [D] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 265 号 A代価表 】 場内							1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径250mm バックホリ(クレーン仕様)使用	35	m			第 266 号		
G X形継手接合 直管 呼び径250mm	5	口			第 267 号		
G X形継手接合 異形管 呼び径250mm	11	口			第 268 号		
G X形継手接合 異形管 呼び径250mm	2	口			第 268 号		
フランジ継手 呼び径250mm 鋳鉄管:JWWA 7.5K	3	口			第 269 号		
鋳鉄管切断・溝切り加工 (N S形・G X形/専用工具使用) 切断・溝切り2工程 呼び径250mm	5	口			第 270 号		
G X形継手挿口加工 呼び径250mm タッピンねじ式	5	口			第 271 号		
管明示テープ φ350以下 φ250×5000 鋳鉄管布設工 天端明示無	35	m			第 272 号		
管明示シート	35	m			第 273 号		

日出町

【 第 265 号 A代価表 】 (続 き)						
場内						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
伸縮可とう管設置(铸铁製) 呼び径250mm F×U バックホウ(クレーン仕様)使用	1	基			第 274 号	
铸铁製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径250mm バックホウ(クレーン仕様)使用	2	基			第 264 号	
鉄蓋設置 円形 1号 寸法250mm	2	個			第 275 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	1	箇所			第 276 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	1	箇所			第 281 号	
铸铁管切断(エンジンカッター使用) 呼び径250mm	2	口			第 282 号	
撤去管吊上げ積込み(铸铁管) 機械力 呼び径250mm	1	m			第 283 号	
メカニカル継手 呼び径250mm 特殊押輪 割増有り モルタル充填工無	3	口			第 284 号	
不断水連絡 φ 250× φ 200	1	箇所			第 285 号	

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 265 号 A代価表 】 (続 き)						
場内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
不断水バルブ設置 φ 250	1	箇所				
コンクリートパッキン(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40(高炉) 一般養生	0.5	m3			第 286 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			第 186 号	
基礎砕石工 砕石厚=0.1m 再生クラッシャーラン RC-40	1	m2			第 287 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 266 号 施工単価表 】						
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径250mm (ハック杓(クレーン仕様)使用 ,)			10 m 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 5 呼び径区分 250mm [E] = 1 ハック杓規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [C] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[B] = 3 クレーン使用区分 ハック杓(クレーン仕様)使用 [X] = 1 ハック杓規格区分 排対型:1次基準 [cl] = 1.000 クレーン賃料補正			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 267 号 施工単価表 】						
G X形継手接合 直管 呼び径250mm						
1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 管種区分 直管			[B] = 5 呼び径区分 呼び径250mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 268 号 施工単価表 】						
G X形継手接合 異形管 呼び径250mm						
1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 管種区分 異形管			[B] = 5 呼び径区分 呼び径250mm			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 269 号 施工単価表 】						
フランジ継手 呼び径250mm			1 口 当り			
(鋳鉄管:JWWA 7.5K ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 7 呼び径区分 呼び径250mm [D] = 3 耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし [B] = 1 規格区分 鋳鉄管:JWWA 7.5K [C] = 2 ボルト計上区分 ボルト計上しない						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 270 号 施工単価表 】						
鋳鉄管切断・溝切り加工 (N S 形・G X 形/専用工具使用) (切断・溝切り2工程 , 呼び径250mm)				1 口 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
溝切り・切断刃損耗費	0.24	式				
溝切り・切断刃損耗費	1	式				
諸 雑 費 (率+丸め)						
労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 鋳鉄管切断・溝切り加工			[A] = 5 呼び径区分 呼び径250mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 271 号 施工単価表 】						
G X形継手挿口加工 呼び径250mm (タッピンねじ式 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 5 呼び径区分 呼び径250mm [C] = 2 管種 GX形			[B] = 2 固定方式	タッピンねじ式		

【 第 272 号 施工単価表 】						
管明示テープ φ 350以下 φ 250×5000						
(鋳鉄管布設工 , 天端明示無)						
100 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 6 呼び径・寸法(mm)区分 φ 250×5000						

【 第 273 号 施工単価表 】 管明示シート						
100 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 274 号 施工単価表 】						
伸縮可とう管設置(鋳鉄製) 呼び径250mm F×U (バックホウ(クレーン仕様)使用 ,)			1 基 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 4 呼び径区分 呼び径250mm [C] = 3 クレーン使用区分 バックホウ(クレーン仕様)使用 [X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準			[B] = 5 接合形式区分 F×U [E] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [c1] = 1.000			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 275 号 施工単価表 】 鉄蓋設置 円形 1号 寸法250mm 1 個 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 設置 [B] = 2 無収縮モルタル計上区分 無収縮モルタル計上しない			[A] = 1 種類・寸法 円形 1号 寸法250mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 276 号 施工単価表 】						
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm						1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号上部壁 内寸250 高150	1	個			第 277 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号中部壁 内寸250 高300	1	個			第 278 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号下部壁 内寸250 高300RB C、CA	1	個			第 279 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号底版 内寸250 高40	1	個			第 280 号	
計						
単位当たり						
[条件] [K] = 1 施工区分 設置 [I] = 1 調整リング 高さ 高さ50mm [E] = 1.000 個 中部壁1数量 [G] = 1.000 個 下部壁数量 [H] = 1.000 個 底版数量 [A] = 1 種類・寸法 円形 1号 寸法250mm [C] = 1.000 個 上部壁数量 [D] = 3 中部壁1高さ 高さ300mm [F] = 4 下部壁高さ 高さ300mm(RB(C)、RB(CA))						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 277 号 施工単価表 】 レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号上部壁 内寸250 高150 1 個 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 1 施工区分 設置			[A] = 3 種類・内寸(mm)・高さ(mm) 1号上部壁 内寸250 高150			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 278 号 施工単価表 】 レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号中部壁 内寸250 高300 1 個 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 1 施工区分 設置			[A] = 6 種類・内寸(mm)・高さ(mm) 1号中部壁 内寸250 高300			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 279 号 施工単価表 】 レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号下部壁 内寸250 高300RB C、CA 1 個 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 1 施工区分 設置			[A] = 7 種類・内寸(mm)・高さ(mm) 1号下部壁 内寸250 高300RB C、CA			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 280 号 施工単価表 】 レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号底版 内寸250 高40 1 個 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 1 施工区分 設置			[A] = 9 種類・内寸(mm)・高さ(mm) 1号底版 内寸250 高40			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 281 号 施工単価表 】						
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm					1 箇所 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号下部壁 内寸250 高300RB C、CA	1	個			第 279 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号底版 内寸250 高40	1	個			第 280 号	
計						
単位当たり						
[条件] [K] = 1 施工区分 設置 [I] = 1 調整リング 高さ 高さ50mm [F] = 4 下部壁高さ 高さ300mm(RB(C)、RB(CA))			[A] = 1 種類・寸法 円形 1号 寸法250mm [G] = 1.000 個 下部壁数量 [H] = 1.000 個 底版数量			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 282 号 施工単価表 】						
鋳鉄管切断(エンジンカッター使用) 呼び径250mm 1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
エンジンカッター損料	0.05	日				
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 カッター使用区分 エンジンカッター使用			[B] = 6 呼び径区分 呼び径250mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 283 号 施工単価表 】						
撤去管吊上げ積込み(鋳鉄管) 機械力 呼び径250mm					10	m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 施工区分 機械力 [C] = 3 クレーン使用区分 バックホウ(クレーン仕様)使用			[B] = 5 呼び径区分 250mm [F] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)			
[X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			[D] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 284 号 施工単価表 】						
メカニカル継手 呼び径250mm 特殊押輪 割増有り (モルタル充填工無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 継手労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 5 呼び径区分 250mm [y1] = 2 押輪区分 特殊押輪 [D] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[B] = 1 モルタル充填工(700mm以上有効) [C] = 30.000 % 割増率		モルタル充填工無	

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 285 号 施工単価表 】 不断水連絡 φ250×φ200 1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
不断水穿孔機損料	0.27	日				
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 24 本管呼び径×取出呼び径 φ250×φ200						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 286 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40(高炉)									
(,一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】									
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊									
その他(機械)									
【労務】									
普通作業員									
特殊作業員									
土木一般世話役									
運転手(特殊)									
その他(労務)									
【材料】									
生コンクリート 高炉セメントB種 18-8-40									
軽油 バトロール給油									

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 287 号 施工単価表 】						
基礎砕石工 砕石厚=0.1m 再生クラッシャーラン RC-40				100	m2 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
再生クラッシャーラン RC-40	11	m3				
小型バックホウ運転 カーブ型 山積0.08m3(平積0.06) 排対型:1次基準 損料補正なし		日			第 288 号	
クラムシエル運転 油圧・テレスコピック式0.4m3 損料補正なし		時間			第 289 号	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						

日出町

【 第 287 号 施工単価表 】 (続 き)						
基礎砕石工 砕石厚=0.1m 再生クラッシャーラン RC-40						100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[条件] [A] = 0.100 m 砕石の厚さ [X] = 2 バックホフ規格区分 排対型:1次基準			[B] = 3 砕石規格 再生クラッシャーラン RC-40 [X2] = 1 クラムシェル規格区分 普通型			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 288 号 施工単価表 】 小型バックホウ運転 クロー型 山積0.08m3(平積0.06) (排対型:1次基準 , 損料補正なし)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
軽油 ハートル給油		1				
小型バックホウ(クロー) [標準・排対:1次] 標準バケット 山積0.08m3[平積0.06m3]		供用日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 バックホウ規格 クロー型 山積0.08m3(平積0.06) [X] = 2 バックホウ規格区分 排対型:1次基準			[GH] = 1 岩石補正 損料補正なし			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 289 号 施工単価表 】						
クラムシェル運転 油圧・テレスコピック式0.4m3 (, 損料補正なし)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハ°トロール給油		1				
トラク°ライン及クラムシェル[油クラム・テレスコピック式] ハ°ケット容量 平積0.4m3		時間				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 4 クラムシェル規格 油圧・テレスコピック式0.4m3 [X] = 1 クラムシェル規格区分 普通型			[GH] = 1 岩石補正 損料補正なし			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 290 号 A代価表 】 流入管（大神系） φ 200 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内	1	式			第 291 号	
場内	1	式			第 295 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 291 号 A代価表 】 高架水槽内						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径200mm 標準延長5.5m ハックホリ(クレーン仕様)使用	21	m			第 292 号	
フランジ継手 呼び径200mm 鋼管:F12	9	口			第 293 号	
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径200mm ハックホリ(クレーン仕様)使用	1	基			第 294 号	
振止金具取付工 タイプA	4	箇所				
振止金具取付工 タイプB	2	箇所				
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 292 号 施工単価表 】						
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径200mm 標準延長5.5m (ハック杓(クレーン仕様)使用 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 5 呼び径 標準延長区分 呼び径200mm 標準延長5.5m			[B] = 1 呼び厚さ区分 A種			
[C] = 3 クレーン使用区分 ハック杓(クレーン仕様)使用			[F] = 1 ハック杓規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)			
[X] = 1 ハック杓規格区分 排対型:1次基準			[D] = 1.000 歩掛補正係数		必要時以外1.0	
[c1] = 1.000 クレーン賃料補正						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 293 号 施工単価表 】						
フランジ継手 呼び径200mm						
(鋼管:F12 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 6 呼び径区分 呼び径200mm			[B] = 3 規格区分 鋼管:F12			
[D] = 3 耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし			[C] = 2 ボルト計上区分 ボルト計上しない			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 294 号 施工単価表 】						
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径200mm (バックホウ(クレーン仕様)使用 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件]						
[G] = 1 作業区分 設置 [B] = 1 形状区分 縦型			[A] = 4 呼び径区分 呼び径200mm [C] = 3 クレーン使用区分 バックホウ(クレーン仕様)使用			
[F] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [D] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 295 号 A代価表 】						
場内						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径200mm バックホリ(クレーン仕様)使用	88	m			第 296 号	
G X形継手接合 直管 呼び径200mm	17	口			第 297 号	
G X形継手接合 異形管 呼び径200mm	14	口			第 298 号	
G X形継手接合 異形管 呼び径200mm	2	口			第 298 号	
フランジ継手 呼び径200mm 鋳鉄管:JWWA 7.5K	3	口			第 299 号	
鋳鉄管切断・溝切り加工 (N S形・G X形/専用工具使用) 切断・溝切り2工程 呼び径200mm	8	口			第 300 号	
G X形継手挿口加工 呼び径200mm タッピンねじ式	8	口			第 301 号	
管明示テープ φ350以下 φ200×5000 鋳鉄管布設工 天端明示無	88	m			第 302 号	
管明示シート	88	m			第 273 号	

日出町

【 第 295 号 A代価表 】 (続 き)						
場内						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
伸縮可とう管設置(铸铁製) 呼び径200mm F×U バックホウ(クレーン仕様)使用	1	基			第 303 号	
铸铁製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径200mm バックホウ(クレーン仕様)使用	2	基			第 294 号	
鉄蓋設置 円形 1号 寸法250mm	2	個			第 275 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	1	箇所			第 304 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	1	箇所			第 281 号	
铸铁管切断(エンジンカッター使用) 呼び径200mm	2	口			第 306 号	
撤去管吊上げ積込み(铸铁管) 機械力 呼び径200mm	1	m			第 307 号	
メカニカル継手 呼び径200mm 特殊押輪 割増有り モルタル充填工無	3	口			第 308 号	
不断水連絡 φ 200× φ 200	1	箇所			第 309 号	

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 295 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
不断水バルブ設置 φ 200	1	箇所				
コンクリート パック材(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40(高炉) 一般養生	0.5	m3			第 286 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			第 186 号	
基礎砕石工 砕石厚=0.1m 再生クラッシャーラン RC-40	1	m2			第 287 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 296 号 施工単価表 】						
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径200mm (ハック杓(クレーン仕様)使用 ,)			10 m 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 4 呼び径区分 200mm [E] = 1 ハック杓規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [C] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[B] = 3 クレーン使用区分 ハック杓(クレーン仕様)使用 [X] = 1 ハック杓規格区分 排対型:1次基準 [cl] = 1.000 クレーン賃料補正			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 297 号 施工単価表 】 G X形継手接合 直管 呼び径200mm 1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 管種区分 直管			[B] = 4 呼び径区分 呼び径200mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 298 号 施工単価表 】 G X形継手接合 異形管 呼び径200mm						
名 称 ・ 規 格			数 量	単位	単 価	金 額
特殊作業員				人		
普通作業員				人		
諸 雑 費 (率+丸め)				%		
労務費の%				%		
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 管種区分 異形管						

1 口 当り

定:1

定:1

参:1

[B] = 4 呼び径区分 呼び径200mm

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 299 号 施工単価表 】						
フランジ継手 呼び径200mm						
(鋼鉄管:JWWA 7.5K ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 6 呼び径区分 呼び径200mm			[B] = 1 規格区分 鋼鉄管:JWWA 7.5K			
[D] = 3 耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし			[C] = 2 ボルト計上区分 ボルト計上しない			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 300 号 施工単価表 】						
鋳鉄管切断・溝切り加工 (N S 形・G X 形/専用工具使用) 1 口 当 り						
(切断・溝切り2工程 , 呼び径200mm)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
溝切り・切断刃損耗費	0.22	式				
溝切り・切断刃損耗費	1	式				
諸 雑 費 (率+丸め)						
労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 鋳鉄管切断・溝切り加工			[A] = 4 呼び径区分 呼び径200mm			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 301 号 施工単価表 】						
G X形継手挿口加工 呼び径200mm						
(タッピンねじ式 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 4 呼び径区分 呼び径200mm [C] = 2 管種 GX形			[B] = 2 固定方式	タッピンねじ式		

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 302 号 施工単価表 】 管明示テープ φ 350以下 φ 200×5000 (鋳鉄管布設工 , 天端明示無)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 5 呼び径・寸法(mm)区分 φ 200×5000						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 303 号 施工単価表 】						
伸縮可とう管設置(鋳鉄製) 呼び径200mm F×U (バックホウ(クレーン仕様)使用 ,)					1	基 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 呼び径区分 呼び径200mm [C] = 3 クレーン使用区分 バックホウ(クレーン仕様)使用 [X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準			[B] = 5 接合形式区分 F×U [E] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [c1] = 1.000			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 304 号 施工単価表 】						
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号調整リング 内寸250 高50	1	個			第 305 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号上部壁 内寸250 高150	1	個			第 277 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号中部壁 内寸250 高300	1	個			第 278 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号下部壁 内寸250 高300RB C、CA	1	個			第 279 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号底版 内寸250 高40	1	個			第 280 号	
計						
単位当たり						
[条件] [K] = 1 施工区分 設置 [B] = 1.000 個 調整リング数量			[A] = 1 種類・寸法 円形 1号 寸法250mm [I] = 1 調整リング 高さ 高さ50mm			
[C] = 1.000 個 上部壁数量 [D] = 3 中部壁1高さ 高さ300mm [F] = 4 下部壁高さ 高さ300mm(RB(C)、RB(CA))			[E] = 1.000 個 中部壁1数量 [G] = 1.000 個 下部壁数量 [H] = 1.000 個 底版数量			

日出町

【 第 305 号 施工単価表 】						
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 1号調整リク [※] 内寸250 高50						1 個 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 1 施工区分 設置			[A] = 1 種類・内寸(mm)・高さ(mm) 1号調整リク [※] 内寸250 高50			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 306 号 施工単価表 】						
鋳鉄管切断(エンジンカッター使用) 呼び径200mm 1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
エンジンカッター損料	0.05	日				
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 カッター使用区分 エンジンカッター使用			[B] = 5 呼び径区分 呼び径200mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 307 号 施工単価表 】						
撤去管吊上げ積込み(鋳鉄管) 機械力 呼び径200mm					10	m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 施工区分 機械力 [C] = 3 クレーン使用区分 バックホウ(クレーン仕様)使用			[B] = 4 呼び径区分 200mm [F] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)			
[X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			[D] = 1.000 歩掛補正係数	必要時以外1.0		

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 308 号 施工単価表 】						
メカニカル継手 呼び径200mm 特殊押輪 割増有り (モルタル充填工無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 継手労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 4 呼び径区分 200mm [y1] = 2 押輪区分 特殊押輪 [D] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[B] = 1 モルタル充填工(700mm以上有効) [C] = 30.000 % 割増率		モルタル充填工無	

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 309 号 施工単価表 】 不断水連絡 φ 200 × φ 200 1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
不断水穿孔機損料	0.27	日				
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 18 本管呼び径×取出呼び径 φ 200 × φ 200						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 310 号 A代価表 】 流出管 φ 200 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内	1	式			第 311 号	
場内	1	式			第 315 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 311 号 A代価表 】 高架水槽内							1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径200mm 標準延長5.5m バックホウ(クレーン仕様)使用	27	m			第 292 号		
フランジ継手 呼び径200mm 鋼管:F12	23	口			第 293 号		
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径200mm バックホウ(クレーン仕様)使用	1	基			第 294 号		
バックライ弁設置(機械力)(鋳鉄製及び鋼板製) 呼び径200mm 縦型 バックホウ(クレーン仕様)使用	2	基			第 312 号		
空気弁設置(機械施工) 呼び径75mm	1	基			第 313 号		
振止金具取付工 タイプA	4	箇所					
支持金具取付工 タイプG	6	箇所					
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40(高炉) 一般養生	0.2	m3			第 286 号		
型枠 一般型枠 小型構造物	5	m2			第 186 号		

日出町

【 第 311 号 A代価表 】 高架水槽内						
(続 き)						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 312 号 施工単価表 】						
ハッタライ弁設置(機械力)(鋳鉄製及び鋼板製) 呼び径200mm 縦型 (バックホウ(クレーン仕様)使用 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件]						
[G] = 1 作業区分 設置 [B] = 1 形状区分 縦型			[A] = 1 呼び径区分 呼び径200mm [C] = 3 クレーン使用区分 バックホウ(クレーン仕様)使用			
[F] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [D] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[X] = 1 バックホウ規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 313 号 施工単価表 】						
空気弁設置(機械施工) 呼び径75mm						1 基 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
クレーン装置付トラック運転 ベーストラック4～4.5t積 2.9t吊		時間			第 314 号	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 作業区分 設置 [B] = 1 呼び径区分 呼び径75mm		[A] = 1 施工区分 空気弁				

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 314 号 施工単価表 】						
クレーン装置付トラック運転 ベーストラック4～4.5t積 2.9t吊						1 時間 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハ。トル給油		1				
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t		時間				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 5 トラック規格 4～4.5t積 2.9t吊						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 315 号 A代価表 】						
場内						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径200mm バックホウ(クレーン仕様)使用	48	m			第 296 号	
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径200mm 標準延長5.5m バックホウ(クレーン仕様)使用	2	m			第 292 号	
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径150mm 標準延長5.5m バックホウ(クレーン仕様)使用	1	m			第 316 号	
G X形継手接合 直管 呼び径200mm	9	口			第 297 号	
G X形継手接合 異形管 呼び径200mm	19	口			第 298 号	
G X形継手接合 異形管 呼び径200mm	4	口			第 298 号	
フランジ継手 呼び径200mm 鋳鉄管:JWWA 7.5K	5	口			第 299 号	
フランジ継手 呼び径150mm 鋳鉄管:JWWA 7.5K	4	口			第 317 号	
鋳鉄管切断・溝切り加工 (N S形・G X形/専用工具使用) 切断・溝切り2工程 呼び径200mm	14	口			第 300 号	

日出町

【 第 315 号 A代価表 】 (続 き)						
場内						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
G X形継手挿口加工 呼び径200mm タッピンねじ式	14	口			第 301 号	
管明示テープ φ350以下 φ200×5000 鋳鉄管布設工 天端明示無	51	m			第 302 号	
管明示シート	51	m			第 273 号	
伸縮可とう管設置(鋳鉄製) 呼び径200mm F×U バックホウ(クレーン仕様)使用	1	基			第 303 号	
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径200mm バックホウ(クレーン仕様)使用	4	基			第 294 号	
鉄蓋設置 円形 1号 寸法250mm	4	個			第 275 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	1	箇所			第 304 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	3	箇所			第 318 号	
ポリエチレン管据付工 呼び径20mm	5	m			第 319 号	

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 315 号 A代価表 】 (続 き)						
場内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ポリエチレン管継手工 呼び径20mm	16	口			第 320 号	
サドル分水栓建込み 分岐呼び径20mm 铸铁管 呼び径200mm	1	箇所			第 321 号	
止水栓取付け PP用 呼び径20mm 止水栓のみ取付	1	箇所			第 322 号	
鋼管小口径管ねじ込み接合 呼び径13mm	1	口			第 323 号	
自在水栓設置 70mm角、H=900	1	箇所			第 324 号	
鉄蓋設置 円形 1号 寸法250mm	1	個			第 275 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	1	箇所			第 318 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 316 号 施工単価表 】						
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径150mm 標準延長5.5m (ハック杓(クレーン仕様)使用 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 4 呼び径 標準延長区分 呼び径150mm 標準延長5.5m [C] = 3 クレーン使用区分 ハック杓(クレーン仕様)使用			[B] = 1 呼び厚さ区分 A種 [F] = 1 ハック杓規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)			
[X] = 1 ハック杓規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			[D] = 1.000 歩掛補正係数		必要時以外1.0	

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 317 号 施工単価表 】						
フランジ継手 呼び径150mm						
(鋼鉄管:JWWA 7.5K ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 5 呼び径区分 呼び径150mm			[B] = 1 規格区分 鋼鉄管:JWWA 7.5K			
[D] = 3 耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし			[C] = 2 ボルト計上区分 ボルト計上しない			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 318 号 施工単価表 】						
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm						1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号上部壁 内寸250 高150	1	個			第 277 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号底版 内寸250 高40	1	個			第 280 号	
計						
単位当たり						
[条件] [K] = 1 施工区分 設置 [I] = 1 調整リク [※] 高さ 高さ50mm [H] = 1.000 個 底版数量			[A] = 1 種類・寸法 円形 1号 寸法250mm [C] = 1.000 個 上部壁数量			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 319 号 施工単価表 】 ポリエチレン管据付工 呼び径20mm 10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 呼び径区分 呼び径20mm			[B] = 2 融着接合区分 融着接合(EF接合)を行わない			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 320 号 施工単価表 】						
ポリエチレン管継手工 呼び径20mm					1 口 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 呼び径区分 呼び径20mm						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 321 号 施工単価表 】						
サドル分水栓建込み 分岐呼び径20mm 鋳鉄管 呼び径200mm						1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 5 管種・呼び径区分 鋳鉄管 呼び径200mm			[B] = 2 分岐呼び径 20mm			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 322 号 施工単価表 】 止水栓取付け PP用 呼び径20mm (止水栓のみ取付 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 4 区分 PP用 [C] = 3 取付区分 止水栓のみ取付			[B] = 2 呼び径区分 20mm			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 323 号 施工単価表 】						
鋼管小口径管ねじ込み接合 呼び径13mm					2 口 当 り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 呼び径区分 呼び径13mm						

【 第 324 号 単価表 】						
自在水栓設置 70mm角、H=900						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
計						
単位当たり						

【 第 325 号 A代価表 】 パイパス管 φ 200 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
場内					第 326 号	
計	1	式				

【 第 326 号 A代価表 】							1 式 当り
場内							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径200mm バックホウ(クレーン仕様)使用	25	m			第 296 号		
G X形継手接合 直管 呼び径200mm	2	口			第 297 号		
G X形継手接合 異形管 呼び径200mm	18	口			第 298 号		
G X形継手接合 異形管 呼び径200mm	4	口			第 298 号		
鋳鉄管切断・溝切り加工 (N S形・G X形/専用工具使用) 切断・溝切り2工程 呼び径200mm	16	口			第 300 号		
G X形継手挿口加工 呼び径200mm タッピンねじ式	16	口			第 301 号		
管明示テープ φ350以下 φ200×5000 鋳鉄管布設工 天端明示無	25	m			第 302 号		
管明示シート	25	m			第 273 号		
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径200mm バックホウ(クレーン仕様)使用	3	基			第 294 号		

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 326 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄蓋設置 円形 1号 寸法250mm	3	個			第 275 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	3	箇所			第 318 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 327 号 A代価表 】 越流管 φ100 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内					第 328 号	
計	1	式				

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 328 号 A代価表 】 高架水槽内							1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径100mm 標準延長5.5m バックホウ(クレーン仕様)使用	21	m			第 329 号		
フランジ継手 呼び径100mm 鋼管:F12	8	口			第 330 号		
振止金具取付工 タイプE	4	箇所					
振止金具取付工 タイプF	2	箇所					
計							

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 329 号 施工単価表 】						
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径100mm 標準延長5.5m (ハック杓(クレーン仕様)使用 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 呼び径 標準延長区分 呼び径100mm 標準延長5.5m [C] = 3 クレーン使用区分 ハック杓(クレーン仕様)使用			[B] = 1 呼び厚さ区分 A種 [F] = 1 ハック杓規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)			
[X] = 1 ハック杓規格区分 排対型:1次基準 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			[D] = 1.000 歩掛補正係数		必要時以外1.0	

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 330 号 施工単価表 】						
フランジ継手 呼び径100mm						
(鋼管:F12 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 3 呼び径区分 呼び径100mm			[B] = 3 規格区分 鋼管:F12			
[D] = 3 耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし			[C] = 2 ボルト計上区分 ボルト計上しない			

【 第 331 号 A代価表 】 排泥管 φ 100 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
高架水槽内					第 332 号	
計	1	式				

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 332 号 A代価表 】 高架水槽内						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鋼管吊込み据付(機械力)A種 呼び径100mm 標準延長5.5m ハックボリ(クレーン仕様)使用	16	m			第 329 号	
フランジ継手 呼び径100mm 鋼管:F12	6	口			第 330 号	
振止金具取付工 タイプE	4	箇所				
計						

日出町

【 第 333 号 A代価表 】 越流・排泥管 φ100 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
場内					第 334 号	
計	1	式				

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 334 号 A代価表 】						
場内						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ポリエチレン管(融着接合(EF接合))据付工 呼び径100mm	27	m			第 335 号	
铸铁管吊込み据付(機械力) 呼び径100mm バックホウ(クレーン仕様)使用	0.2	m			第 336 号	
ポリエチレン管(融着接合)継手工 1口継手 呼び径100mm	22	箇所			第 337 号	
ポリエチレン管(融着接合)継手工 2口継手 呼び径100mm	7	箇所			第 338 号	
ポリエチレン管継手工(メカニカル継手) 呼び径100mm	2	口			第 339 号	
フランジ継手 呼び径100mm 铸铁管:JWWA 7.5K	2	口			第 340 号	
ポリエチレン管切断 呼び径100mm	11	口			第 341 号	
管明示シート	27	m			第 273 号	
管明示テープ φ 100 ポリエチレン管布設工 天端明示無	27	m			第 342 号	

日出町

【 第 334 号 A代価表 】 (続 き)						
場内 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ロケーティングワイヤー ポリエチレン管布設工	27	m			第 343 号	
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦型) 呼び径200mm バックホ(クレーン仕様)使用	2	基			第 294 号	
鋼管小口径管布設(人力)据付工 呼び径100mm	2	m			第 344 号	
鋼管小口径管ねじ込み接合 呼び径100mm	8	口			第 345 号	
鋼管小口径管ねじ切り 呼び径100mm	8	口			第 346 号	
鋼管小口径管切断 呼び径100mm	4	口			第 347 号	
防食テープ 1.1mm×50mm×10m	1	個				
管明示シート	2	m			第 273 号	
管明示テープ φ 100 ポリエチレン管布設工 天端明示無	2	m			第 342 号	

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 334 号 A代価表 】 (続 き) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
鉄蓋設置 円形 1号 寸法250mm	2	個			第 275 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm	2	箇所			第 348 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 335 号 施工単価表 】						
ポリエチレン管(融着接合(EF接合))据付工 呼び径100mm						
10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 8 呼び径区分 呼び径100mm			[B] = 1 融着接合区分 融着接合(EF接合)を行う			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 336 号 施工単価表 】						
鑄鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径100mm (ハック杓(クレーン仕様)使用 ,)			10 m 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付) クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) 2.9 t 吊 排対型:1次基準 損料補正なし		時間			第 262 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 呼び径区分 100mm [E] = 1 ハック杓規格 クローラ型 山積0.45m3(平積0.35) [C] = 1.000 歩掛補正係数:必要時以外1.0			[B] = 3 クレーン使用区分 ハック杓(クレーン仕様)使用 [X] = 1 ハック杓規格区分 排対型:1次基準 [cl] = 1.000 クレーン賃料補正			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 337 号 施工単価表 】 ポリエチレン管(融着接合)継手工 1口継手 呼び径100mm 1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 7 呼び径区分 呼び径100mm						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 338 号 施工単価表 】 ポリエチレン管(融着接合)継手工 2口継手 呼び径100mm 1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 7 呼び径区分 呼び径100mm						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 339 号 施工単価表 】 ポリエチレン管継手工(メカニカル継手) 呼び径100mm 1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 呼び径区分 呼び径100mm						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 340 号 施工単価表 】						
フランジ継手 呼び径100mm			1 口 当り			
(鋳鉄管:JWWA 7.5K ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 3 呼び径区分 呼び径100mm		[B] = 1 規格区分 鋳鉄管:JWWA 7.5K				
[D] = 3 耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし		[C] = 2 ボルト計上区分 ボルト計上しない				

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 341 号 施工単価表 】						
ポリエチレン管切断 呼び径100mm						
1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 8 呼び径区分 呼び径100mm						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 342 号 施工単価表 】 管明示テープ φ100 (ポリエチレン管布設工 , 天端明示無)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 呼び径区分 φ100						

【 第 343 号 施工単価表 】 ロケーティングワイヤー (ポリエチレン管布設工 ,) 100 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ロケーティングワイヤー	110	m				
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 ロケーティングワイヤー計上区分 ロケーティングワイヤー計上する						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 344 号 施工単価表 】						
鋼管小口径管布設(人力)据付工 呼び径100mm				10 m 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 9 呼び径区分 呼び径100mm		[B] = 1.000		歩掛補正係数	必要時以外1.0	

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 345 号 施工単価表 】						
鋼管小口径管ねじ込み接合 呼び径100mm						
2 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 9 呼び径区分 呼び径100mm						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 346 号 施工単価表 】						
鋼管小口径管ねじ切り 呼び径100mm						
1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め)		%			参:1	
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 9 呼び径区分 呼び径100mm						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 347 号 施工単価表 】 鋼管小口径管切断 呼び径100mm 1 口 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 9 呼び径区分 呼び径100mm						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 348 号 施工単価表 】						
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形 1号 寸法250mm						1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号上部壁 内寸250 高150	1	個			第 277 号	
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号底版 内寸250 高40	1	個			第 280 号	
計						
単位当たり						
[条件] [K] = 1 施工区分 設置 [I] = 1 調整リク 高さ 高さ50mm [H] = 1.000 個 底版数量			[A] = 1 種類・寸法 円形 1号 寸法250mm [C] = 1.000 個 上部壁数量			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 349 号 A代価表 】 土工						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
流入 (平原系) φ 250	1	式			第 350 号	
流入 (大神系) φ 200	1	式			第 371 号	
流出管 φ 200	1	式			第 373 号	
バイパス管 φ 200	1	式			第 376 号	
越流・排泥管 φ 100	1	式			第 377 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 350 号 A代価表 】						
流入（平原系） φ 250			1 式 当り			
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	24	m			第 231 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ 山積0.28m3	9	m2			第 233 号	
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 タンポトラック4t積級 運搬距離2.6km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	0.4	m3			第 351 号	処
産廃処分費 As殻	1	t				処
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	33	m3			第 352 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	3	m3			第 353 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	13	m3			第 355 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 再生クラッシャーラン RC-40 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	12	m3			第 356 号	
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.15m 再生クラッシャーラン RC-40	9	m2			第 357 号	

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 350 号 A代価表 】 (続 き)						
流入 (平原系) φ250 (,) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.15m 粒度調整碎石 M-30	9	m2			第 358 号	
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚50mm 密粒度再生アスコン(20・13) t≤50mm	9	m2			第 224 号	
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離5.9km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	19	m3			第 359 号	
整地 残土受入れ地での処理	19	m3			第 7 号	
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分) 機械施工 軽量金属製支保工の時 掘削深 2.0m以下	4	m			第 360 号	
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量0.66 t 修理費及び損耗費有り 供用日数2日	1	式			第 365 号	
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分) 機械施工 軽量金属製支保工の時 掘削深 2.5m以下	6	m			第 366 号	
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量1.24 t 修理費及び損耗費有り 供用日数2日	1	式			第 370 号	
計						

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 351 号 施工単価表 】						
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2.6km (DID区間無し ,バックホウ クローラ 山積0.28m3) (				10 m3 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 4t積級 タイヤ損耗状態 良好 損料補正なし		日			第 237 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 運搬機種・規格 ダンプトラック4t積級 [C] = 1 DID区間の有無 DID区間無し [D] = 3 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3 [SB] = 2 処分費属性設定条件:ガイト参照 処分費・投棄料等に該当する			[B] = 2.600 km 片道運搬距離 [a] = 1 タイヤ損耗費 良好 [E] = 2 処理対象区分 As塊・Co塊(無筋)			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 352 号 施工単価表 】						
バックホウ掘削積込 クロー型 山積0.28m3(平積0.2)					100	m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 234 号	
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [A] = 1 バックホウ規格 クロー型 山積0.28m3(平積0.2)			[X] = 3			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 353 号 施工単価表 】						
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 (クローラ型 山積0.28m3 ,埋戻し+締固め)			100 m3 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
埋戻し+締固め		人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 234 号	
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 354 号	
真砂土	3	m3				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 埋戻+締固め [A] = 3.000 m3 埋戻材数量 [DS] = 17 骨材区分 砂 埋戻し用 [B] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)						

日出町

【 第 353 号 施工単価表 】 (続 き)						
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 (クローラ型 山積0.28m3 ,埋戻し+締固め)						
100 m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 354 号 施工単価表 】						
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg					1 日 当 り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
ガソリン レギュラー(スタント渡し)		1				
タンパ(ランマ)賃料 ランマ 重量60～80kg		供用日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 タンパ 及びランマ規格 60～80kg						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 355 号 施工単価表 】						
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 (クローラ型 山積0.28m3 ,埋戻し+締固め)			100 m3 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
埋戻し+締固め		人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 234 号	
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 354 号	
真砂土	13	m3				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 埋戻+締固め [A] = 13.000 m3 埋戻材数量 [DS] = 17 骨材区分 砂 埋戻し用 [B] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)						

日出町

【 第 355 号 施工単価表 】 (続 き)						
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 (クローラ型 山積0.28m3 ,埋戻し+締固め)						
100 m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 356 号 施工単価表 】						
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 再生クラッシャーラン RC-40 (クローラ型 山積0.28m3 ,埋戻し+締固め)				100	m3 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
埋戻し+締固め		人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 234 号	
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 354 号	
再生クラッシャーラン RC-40	12	m3				
諸 雑 費 (丸め)						
	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 埋戻し+締固め [A] = 12.000 m3 埋戻材数量 [DS] = 3 骨材区分 再生クラッシャーラン RC-40 [B] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)						

日出町

【 第 356 号 施工単価表 】 (続 き) 管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 再生クラッシャーレン RC-40 (クローラ型 山積0.28m3 ,埋戻し+締固め) 100 m3 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 357 号 施工単価表 】						
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.15m (再生クラッシャーラン RC-40 ,)						
	100	m2 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン RC-40	19.05	m3				
タンバ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 204 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 1 上層・下層路盤区分 下層路盤 [y1] = 3 路盤材区分 再生クラッシャーラン RC-40		[A] = 0.150 m	仕上り厚			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 358 号 施工単価表 】						
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.15m (粒度調整碎石 M-30 ,)						
	100	m2 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
粒度調整碎石 M-30	19.05	m3				
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 204 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [C] = 2 上層・下層路盤区分 上層路盤 [y1] = 6 路盤材区分 粒度調整碎石 M-30		[A] = 0.150 m	仕上り厚			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 359 号 施工単価表 】						
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離5.9km (DID区間無し , バックホウ クローラ 山積0.28m3)				10	m3 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 4t積級 タイヤ損耗状態 良好 損料補正なし		日			第 237 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 運搬機種・規格 ダンプトラック4t積級 [C] = 1 DID区間の有無 DID区間無し [D] = 3 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3 [SB] = 1 処分費属性設定条件:ガイド参照 処分費・投棄料等に該当しない			[B] = 5.900 km 片道運搬距離 [a] = 1 タイヤ損耗費 良好 [E] = 1 処理対象区分 土砂			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 360 号 施工単価表 】						
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分) 機械施工 軽量金属製支保工の時 (掘削深 2.0m以下 ,)				100	m 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.0m以下	100	m			第 361 号	
軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.0m以下	100	m			第 363 号	
支保工(軽量金属製)設置撤去 1段 2.0m以下 軽量金属 水圧式 ^ハ イ ^グ レ ^ス ト	100	m			第 364 号	
計						
単位当たり						
[条件] [b] = 2 掘削深 2.0m以下 [c] = 5 矢板種別・掘削深度・段数 軽量金属製支保工の時			[A] = 2 支保工区分 軽量金属製支保工 [d] = 3 使用区分 軽量金属製支保工の時			
[g] = 1 設置段数・掘削深 1段 2.0m以下 [i] = 1 切梁材区分 水圧式 ^ハ イ ^グ レ ^ス ト			[h] = 1 腹起し材区分 軽量金属 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 361 号 施工単価表 】						
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.0m以下					100	m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 362 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 バックホウ規格 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) [X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準			[B] = 2 掘削深 2.0m以下			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 362 号 施工単価表 】						
バックホウ運転 クロー型 山積0.28m3(平積0.2)						
(排対型:2次基準 , 損料補正なし)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手(特殊)		人				
軽油 ハトル給油		1				
バックホ(クロー型) [標準型・排対型:2次基準] 標準バケット 山積0.28m3[平積0.2m3]		時間				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [A] = 1 バックホ規格 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) [X] = 3 バックホ規格区分 排対型:2次基準			[GH] = 1 岩石補正 損料補正なし			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 363 号 施工単価表 】 軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.0m以下 100 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 362 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 掘削深 2.0m以下 [C] = 1 バックホウ規格 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			[B] = 2 機械区分 バックホウ運転 [X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 364 号 施工単価表 】						
支保工(軽量金属製)設置撤去 1段 2.0m以下 (軽量金属 , 水圧式パイプサポート)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
腹起し材質料 100m当り	1	式				
切梁材質料 100m当り	1	式				
水圧ポンプ賃料 100m当り	1	式				
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 364 号 施工単価表 】 (続 き)						
支保工(軽量金属製)設置撤去 1段 2.0m以下 (軽量金属 , 水压式ハ イ プ 材)						100 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[条件] [A] = 1 設置段数・掘削深 1段 2.0m以下 [C] = 1 切梁材区分 水压式ハ イ プ 材			[B] = 1 腹起し材 [D] = 3 作業区分	区分 軽量金属 設置撤去		

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 365 号 施工単価表 】						
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量0.66 t (修理費及び損耗費有り , 供用日数2日)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
軽量鋼矢板賃料 90日(3ヵ月)以内	0.66	t				
修理費及び損耗費 鋼矢板 軽量型 2型、3型	0.66	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2.000 日 供用日数 [G] = 2.000 日 総供用日数 [J] = 1 補助工法の有無 補助工法無 [E] = 0.660 t 使用数量			[F] = 1 継続工事の有無 継続工事無 [B] = 2 修理費及び損耗費の有無 修理費及び損耗費有り [D] = 1.000 回 1 現場での使用回数			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 366 号 施工単価表 】						
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分) 機械施工 軽量金属製支保工の時 (掘削深 2.5m以下 ,)				100	m 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.5m以下	100	m			第 367 号	
軽量鋼矢板引抜き工(両側分)機械施工 2.5m以下	100	m			第 368 号	
支保工(軽量金属製)設置撤去 2段 3.5m以下 軽量金属 水圧式ハ イ プ ン ト	100	m			第 369 号	
計						
単位当たり						
[条件]						
[b] = 3 掘削深 2.5m以下 [c] = 5 矢板種別・掘削深度・段数 軽量金属製支保工の時			[A] = 2 支保工区分 軽量金属製支保工 [d] = 3 使用区分 軽量金属製支保工の時			
[g] = 2 設置段数・掘削深 2段 3.5m以下 [i] = 1 切梁材区分 水圧式ハ イ プ ン ト			[h] = 1 腹起し材区分 軽量金属 [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 367 号 施工単価表 】 軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.5m以下 100 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 362 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 バックホウ規格 クロー型 山積0.28m3(平積0.2) [X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準			[B] = 3 掘削深 2.5m以下			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 368 号 施工単価表 】						
軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.5m以下					100	m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 362 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 掘削深 2.5m以下 [C] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) [c1] = 1.000 クレーン賃料補正			[B] = 2 機械区分 バックホウ運転 [X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 369 号 施工単価表 】						
支保工(軽量金属製)設置撤去 2段 3.5m以下 (軽量金属 , 水圧式ハイdraulic)			100 m 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
腹起し材質料 100m当り	1	式				
切梁材質料 100m当り	1	式				
水圧ポンプ賃料 100m当り	1	式				
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 369 号 施工単価表 】 (続 き)						
支保工(軽量金属製)設置撤去 2段 3.5m以下 100 m 当り (軽量金属 , 水压式ハ イ プ 材)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[条件] [A] = 2 設置段数・掘削深 2段 3.5m以下 [C] = 1 切梁材区分 水压式ハ イ プ 材			[B] = 1 腹起し材 [D] = 3 作業区分	区分 軽量金属 設置撤去		

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 370 号 施工単価表 】						
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量1.24 t (修理費及び損耗費有り , 供用日数2日)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
軽量鋼矢板賃料 90日(3ヵ月)以内	1.24	t				
修理費及び損耗費 鋼矢板 軽量型 2型、3型	1.24	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2.000 日 供用日数 [G] = 2.000 日 総供用日数 [J] = 1 補助工法の有無 補助工法無 [E] = 1.240 t 使用数量			[F] = 1 継続工事の有無 継続工事無 [B] = 2 修理費及び損耗費の有無 修理費及び損耗費有り [D] = 1.000 回 1 現場での使用回数			

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 371 号 A代価表 】						
流入（大神系） φ200						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	140	m			第 231 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ 山積0.28m3	43	m2			第 233 号	
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 タンポトラック4t積級 運搬距離2.6km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	2	m3			第 351 号	処
産廃処分費 As殻	5	t				処
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	60	m3			第 352 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	6	m3			第 353 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	27	m3			第 355 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 再生クラッシャーラン RC-40 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	11	m3			第 356 号	
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.15m 再生クラッシャーラン RC-40	43	m2			第 357 号	

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 371 号 A代価表 】 (続 き)						
流入 (大神系) φ200 (,) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.15m 粒度調整碎石 M-30	43	m2			第 358 号	
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚50mm 密粒度再生アスコン(20・13) t≤50mm	43	m2			第 224 号	
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離5.7km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	47	m3			第 372 号	
整地 残土受入れ地での処理	47	m3			第 7 号	
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分) 機械施工 軽量金属製支保工の時 掘削深 2.0m以下	4	m			第 360 号	
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量0.66 t 修理費及び損耗費有り 供用日数2日	1	式			第 365 号	
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分) 機械施工 軽量金属製支保工の時 掘削深 2.5m以下	6	m			第 366 号	
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量1.24 t 修理費及び損耗費有り 供用日数2日	1	式			第 370 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 372 号 施工単価表 】						
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離5.7km (DID区間無し , バックホウ クローラ 山積0.28m3)			10 m3 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 4t積級 タイヤ損耗状態 良好 損料補正なし		日			第 237 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 運搬機種・規格 ダンプトラック4t積級 [C] = 1 DID区間の有無 DID区間無し [D] = 3 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3 [SB] = 1 処分費属性設定条件:ガイド参照 処分費・投棄料等に該当しない			[B] = 5.700 km 片道運搬距離 [a] = 1 タイヤ損耗費 良好 [E] = 1 処理対象区分 土砂			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 373 号 A代価表 】						
流出管 φ 200						
(,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	11	m			第 231 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ 山積0.28m3	3	m2			第 233 号	
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 タンポトラック4t積級 運搬距離2.5km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	0.2	m3			第 238 号	処
産廃処分費 As殻	0.4	t				処
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	29	m3			第 352 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	3	m3			第 353 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	15	m3			第 355 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 再生クラッシャーラン RC-40 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	9	m3			第 356 号	
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.15m 再生クラッシャーラン RC-40	3	m2			第 357 号	

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 373 号 A代価表 】 (続 き) 流出管 φ200 1 式 当り (,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.15m 粒度調整碎石 M-30	3	m2			第 358 号	
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚50mm 密粒度再生アスコン(20・13) t≤50mm	3	m2			第 224 号	
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離8.6km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	20	m3			第 374 号	
整地 残土受入れ地での処理	20	m3			第 7 号	
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分) 機械施工 軽量金属製支保工の時 掘削深 2.5m以下	4	m			第 366 号	
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量0.83 t 修理費及び損耗費有り 供用日数2日	1	式			第 375 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 374 号 施工単価表 】						
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離8.6km (DID区間無し , バックホウ クローラ 山積0.28m3)						
10	m3 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 4t積級 タイヤ損耗状態 良好 損料補正なし		日			第 237 号	
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 運搬機種・規格 ダンプトラック4t積級 [C] = 1 DID区間の有無 DID区間無し [D] = 3 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3 [SB] = 1 処分費属性設定条件:ガイド参照 処分費・投棄料等に該当しない			[B] = 8.600 km 片道運搬距離 [a] = 1 タイヤ損耗費 良好 [E] = 1 処理対象区分 土砂			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 375 号 施工単価表 】						
軽量鋼矢板賃料(継続工事無し) 使用数量0.83 t (修理費及び損耗費有り , 供用日数2日)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
軽量鋼矢板賃料 90日(3ヵ月)以内	0.83	t				
修理費及び損耗費 鋼矢板 軽量型 2型、3型	0.83	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2.000 日 供用日数 [G] = 2.000 日 総供用日数 [J] = 1 補助工法の有無 補助工法無 [E] = 0.830 t 使用数量			[F] = 1 継続工事の有無 継続工事無 [B] = 2 修理費及び損耗費の有無 修理費及び損耗費有り [D] = 1.000 回 1 現場での使用回数			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 376 号 A代価表 】 バイパス管 φ 200 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	13	m3			第 352 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	2	m3			第 353 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	7	m3			第 355 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 再生クラッシャーラン RC-40 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	4	m3			第 356 号	
発生土運搬費 タンクトラック4t積級 運搬距離8.6km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	9	m3			第 374 号	
整地 残土受入れ地での処理	9	m3			第 7 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 377 号 A代価表 】						
越流・排泥管 φ100					1 式 当 り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	15	m3			第 352 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	2	m3			第 353 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 埋戻し用 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	7	m3			第 355 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	5	m3			第 378 号	
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離8.6km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	9	m3			第 374 号	
整地 残土受入れ地での処理	9	m3			第 7 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 378 号 施工単価表 】						
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)				100 m3 当り		
(クローラ型 山積0.28m3 ,埋戻し+締固め)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
埋戻し+締固め		人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間			第 234 号	
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 354 号	
諸 雑 費 (丸め)		式				
計	1					
単位当たり						
[条件] [C] = 1 施工区分 埋戻+締固め [A] = 12.000 m3 埋戻材数量 [X] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準			[DS] = 18 骨材区分 骨材計上なし [B] = 1 バックホウ規格 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 379 号 A代価表 】						
付属施設						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
流量計室工	1	式			第 380 号	
作業土工	1	式			第 384 号	
コンクリート工	1	式			第 385 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 380 号 A代価表 】						
流量計室工					1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
流量計室	1	式			第 381 号	
足掛け金物 W=300	4	個				
コンクリート削孔(電動式コアホーリングマシン) アンカー材径23mm超30mm以下 深500mm以下	1	孔			第 383 号	
人孔蓋 (SUS304) 1200×1800	1	組				
計						

日出町

【 第 381 号 A代価表 】						
流量計室					1 式 当 り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート バックホ (クレーン機能付) 打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25 (20) (高炉) 一般養生	3	m3			第 382 号	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	24	m2			第 115 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 382 号 施工パッケージ 】 コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20) (高炉) (, 一般養生)								1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
バックホウ賃料 クローラ型・クレーン付 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊								
その他(機械)								
【労務】								
特殊作業員								
普通作業員								
土木一般世話役								
運転手(特殊)								
その他(労務)								
【材料】								
生コンクリート 高炉セメントB種 24-12-25(20) 水セメント比55%以下対応品								
軽油 バトロール給油								

日出町

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

[illegible]

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 383 号 施工パッケージ 】 コンクリート削孔(電動式コアローリングマシン) アンカー材径23mm超30mm以下 (深500mm以下 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】							
土木一般世話役							
特殊作業員							
その他(労務)							
【材料】							
ダイヤモンドビット φ 40.0mm スタンダード							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3 アンカー材径 23mmを超え30mm以下 [J3] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 1	削孔深さ 500mm以下			

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 384 号 A代価表 】 作業土工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留無し 障害無し	20	m3			第 189 号	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	15	m3			第 167 号	
基面整正	4	m2			第 11 号	
計						

日出町

【 第 385 号 A代価表 】						
コンクリート工						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート パック材(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40(高炉) 一般養生	0.1	m3			第 286 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	0.5	m2			第 186 号	
基礎碎石工 碎石厚=0.15m 再生クラッシャーラン RC-40	4	m2			第 386 号	
鉄筋工 SD295 D13	0.1	t			第 184 号	
計						

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 386 号 施工単価表 】						
基礎砕石工 砕石厚=0.15m 再生クラッシャーラン RC-40				100 m2 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人			定:1	
特殊作業員		人			定:1	
普通作業員		人			定:1	
再生クラッシャーラン RC-40	16.5	m3				
小型バックホウ運転 クローラ型 山積0.08m3(平積0.06) 排対型:1次基準 損料補正なし		日			第 288 号	
クラムシエル運転 油圧・テレスコピック式0.4m3 損料補正なし		時間			第 289 号	
諸 雑 費 (率+丸め) 労務費の%		%			参:1	
計						
単位当たり						

日出町

【 第 386 号 施工単価表 】 (続 き)						
基礎砕石工 砕石厚=0.15m 再生クラッシャーラン RC-40						100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[条件] [A] = 0.150 m 砕石の厚さ [X] = 2 バックホフ規格区分 排対型:1次基準			[B] = 3 砕石規格 再生クラッシャーラン RC-40 [X2] = 1 クラムシェル規格区分 普通型			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 387 号 A代価表 】 舗装工 (,) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	8	m			第 231 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ 山積0.28m3	266	m2			第 233 号	
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2.6km DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	12	m3			第 351 号	処
産廃処分費 As殻	29	t				処
不陸整正工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 整正厚0.05m 補足材 各種	266	m2			第 388 号	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員3.0m超 フライムコート 締固密度2.35	266	m2			第 389 号	
計						

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 388 号 施工単価表 】						
不陸整正工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 整正厚0.05m (補足材 各種 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
補足材	6.35	m3				
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			第 204 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [y1] = 16 補足材区分 補足材 各種		[A] = 0.050 m	整正厚			

日出町

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 389 号 施工パッケージ 】 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員3.0m超 ,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 締固密度2.35)								1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】								
アスファルトフィニッシャ賃料 ホイール型 舗装幅2.3～6.0m								
タイヤローラ賃料 13～14t								
ロードローラ賃料 マカダム 10～12t								
その他(機械)								
【労務】								
普通作業員								
運転手(特殊)								
特殊作業員								
土木一般世話役								
その他(労務)								
【材料】								

令和 8 ～ 1 0 年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 389 号 施工パッケージ 】 (続 き) 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員3.0m超 , プライムコート 締固密度2.35)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生密粒度アスコン(20・13) アスファルト量5～7%							
アスファルト乳剤 浸透用 P・K3 4							
軽油 パトロール給油							
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 50.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 4	平均幅員 3.0m超			
[A1] = 12 材料 再生密粒度アスコン(13) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 3 [yA] = 1	瀝青材料種類 プライムコート PK-3 アスコン夜間単価区分 夜間単価無し			

日出町

【 第 390 号 A代価表 】 仮設工						
1 式 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
交通誘導警備員 B					第 391 号	
計	194	人日				

【 第 391 号 施工単価表 】						
交通誘導警備員 B						
1 人 日 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
交通誘導警備員 B		人				
諸 雑 費 (丸め)						
	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 2 交通誘導警備員区分 交通誘導警備員B						

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 392 号 施工単価表 】						
重建設機械分解組立+輸送(往復) クロー式杭打機 60超え100t以下						1 回 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ｼﾌﾞ型 60t吊 ﾊﾟﾚｰﾀ 燃料 油脂費含む		日			定:1	
運搬費等 労務費、クレーン運転費の%		%			参:1	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 作業区分 分解組立+輸送(往復) [Xc] = 6 ラフテレーンクレーン規格区分(賃料) 排対型:2014年規制			[B] = 16 機械質量区分 クロー式杭打機 60超え100t以下 [cl] = 1.000 クレーン賃料補正			

令和8～10年度 三尺山高架水槽築造工事

【 第 393 号 施工単価表 】						
重建設機械分解組立+輸送(往復) クロークレーン系 35超え80t吊以下						1 回 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人			定:1	
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ｼﾌﾞ型 25t吊 ﾊﾞﾚｰﾄﾞ 燃料 油脂費含む		日			定:1	
運搬費等 労務費、クレーン運転費の％		％			参:1	
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [A] = 1 作業区分 分解組立+輸送(往復) [Xc] = 6 ラフテレーンクレーン規格区分(賃料) 排対型:2014年規制			[B] = 6 機械質量区分 クロークレーン系 35超え80t吊以下 [cl] = 1.000 クレーン賃料補正			

日出町